

成溪會誌



黒川清氏
(高・30年)

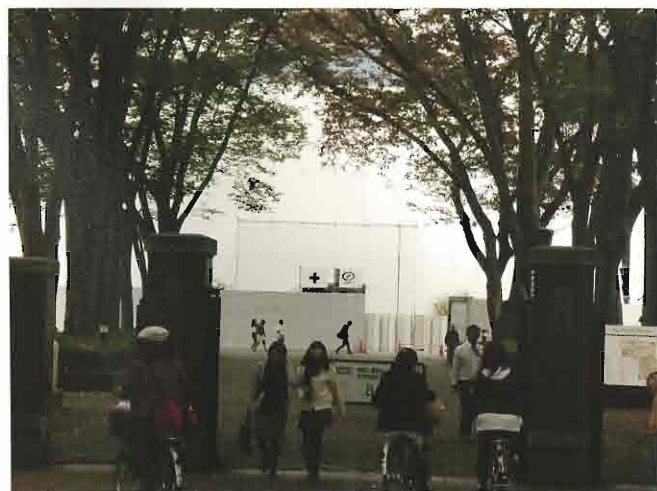
総会講演



→詳しくは
本文6ページへ

↑黒川清氏講演

以下は、講演語録に出てくる学園風景と耐震工事中の本館



随想

雲南省の少数民族と教育

詳しくは
本文18ページへ

育



←小学生に日本からの土産をプレゼントする山根さん（中央左）



←↑雲南省の名勝地

→少数民族毎の衣裳。
それぞれ民族の特長を出してしまれぞれ民

少数民族毎



ホームページのご案内!

成蹊会ホームページ

<http://alumnet.ne.jp/>



社団法人 成蹊会 SEIKEI ALUMNI ASSOCIATION

成蹊会行事詳細

INFORMATION

- お知らせ **NEW**
- 結果報告
- 訃報

CONTACT

- 住所変更届け
- 入会・会費納入
- 成蹊会への寄付申込
- 記事掲載希望
- お問い合わせ

NETWORK

- 同窓会
- 地域成蹊会
- 職域成蹊会
- 各種OB会
- その他の集まり

ASSOCIATION

- 成蹊会沿革
- 組織の説明
- 事業の内容
- 会員について
- 業務・財務資料
- 成蹊関連リンク集
- サイトマップ
- 本サイトのご利用にあたって

What's New

- 10/3 訃報のページを更新いたしました。第27回「三重成蹊会」開催のご案内
- 9/28 訃報のページを更新いたしました。
- 9/26 地域成蹊会のページに八王子成蹊会の連絡先を追加掲載いたしました。
- 9/25 フォトギャラリー成蹊の四季を公開いたしました。「成蹊の秋」を掲載いたしました。

入会・会費納入 **成蹊会への寄付申込**

100周年記念事業募金 **「建学の日」エッセイ・ポスター募集**

いのちのネットワーク A-net

■成蹊会事務局 〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1 TEL 0422-51-2244
E-mail: seikeikai@jim.seikei.ac.jp
本掲載写真及び解説は成蹊学園広報誌の許可を得て掲載しております。

Copyright (C) 2007 Seikei Alumni Association. All Rights Reserved.

応援します! 同窓会

成蹊の歌

校歌の歌詞カードpdf

PC用壁紙・待受画面館

▼以下の2コーナーへのアクセスにはパスワードが必要です。

成蹊写真館

成蹊会掲示板

- 掲示板参加登録
- 会員規約
- 成蹊会の個人情報保護方針
- 各種証明書の申請について(成蹊大学履修課)

成蹊倶楽部

学校法人 成蹊学園

写真館の写真が大きくなりました。

校歌
心力歌
の印刷ができます。

同窓会開催のお手伝いをします。

成蹊学園の歌

- 校歌
- 心力歌

成蹊会/同窓会支援

応援します! 同窓会
同窓会開催支援プログラムのご案内

応援して下さい! 同窓会。組織力、定例活動を支えます。同窓会開催にこそ活躍の場! 同窓会開催一歩先取りします。

定期同窓会支援とは...

定期同窓会とは、卒業10周年に節目に開催されている同窓会のことです。成蹊会事務局では、この定期同窓会を成功裏に開催し、会費を滞りなく徴収し、活動の場を提供しております。また、その活動の場をさらに広げたいという希望をお持ちの方には、「同窓会支援プログラム」を支援しております。詳しくは下の「同窓会支援」をクリックして下さい。

定期同窓会支援の体制

定期同窓会とは、卒業10周年に節目に開催されている同窓会のことです。成蹊会事務局では、この定期同窓会を成功裏に開催し、会費を滞りなく徴収し、活動の場を提供しております。また、その活動の場をさらに広げたいという希望をお持ちの方には、「同窓会支援プログラム」を支援しております。詳しくは下の「同窓会支援」をクリックして下さい。

定期同窓会支援の体制

定期同窓会とは、卒業10周年に節目に開催されている同窓会のことです。成蹊会事務局では、この定期同窓会を成功裏に開催し、会費を滞りなく徴収し、活動の場を提供しております。また、その活動の場をさらに広げたいという希望をお持ちの方には、「同窓会支援プログラム」を支援しております。詳しくは下の「同窓会支援」をクリックして下さい。

定期同窓会支援の体制

定期同窓会とは、卒業10周年に節目に開催されている同窓会のことです。成蹊会事務局では、この定期同窓会を成功裏に開催し、会費を滞りなく徴収し、活動の場を提供しております。また、その活動の場をさらに広げたいという希望をお持ちの方には、「同窓会支援プログラム」を支援しております。詳しくは下の「同窓会支援」をクリックして下さい。

定期同窓会支援の体制

定期同窓会とは、卒業10周年に節目に開催されている同窓会のことです。成蹊会事務局では、この定期同窓会を成功裏に開催し、会費を滞りなく徴収し、活動の場を提供しております。また、その活動の場をさらに広げたいという希望をお持ちの方には、「同窓会支援プログラム」を支援しております。詳しくは下の「同窓会支援」をクリックして下さい。

Copyright (C) 2007 Seikei Alumni Association. All Rights Reserved.

成蹊會誌

2009年1月 第108号

表紙の題字=故上條信山先生
表紙絵=齊藤君子(文・47年)

巻頭 黒川清氏総会講演/雲南省の少数民族と教育

同窓会運営の二つの原点に立って 成蹊会会長 相川一成

第53回 成蹊会通常総会

成蹊、新しい時代を見据えたヴィジョンを 総会講演録 黒川 清

特別寄稿

DNRとMedical Futility 高橋 愛樹/13
ゼロ摩擦への挑戦 ~ナノから省エネルギーに迫る 佐々木成朗/15

随想

雲南省の少数民族と教育 山根 祥利/18
王 維 田頭 信博/22

学校・年次会のつどい/24

プレメ同窓会総会
大学卒業三十周年
高校第3回クラス会
蹊電会
横手長治先生の傘寿を祝う会
浅野ゼミOB会
(蹊ディスコース研究会)
高校卒業20周年
広蹊会(廣野ゼミOB会)
第9回全蹊オープンゴルフ
高校卒業10周年
小学校卒業30周年
大学卒業20周年
大学卒業40周年

体育会・文化会・OB会・

趣味のつどい/30

写蹊会写真展
成蹊ラガークラブ桜祭り
成蹊ラガークラブ
成蹊ラガークラブ現役激励会
少林寺拳法部創部40周年
山岳部OB会(踏高会)
観光事業研究会OB・OG会
体育会バレーボール部
陸友会
写蹊会
彩蹊会
茶道部創部五十周年の集い
コンパルサウンス創部45周年
ギターソサエティーOB/OG会

SGCゴルフ大会
清和会「多摩川水紀行」
バスケットボール部OB会
体育会自動車部

業界・企業のつどい/38

日立グループ桃李会
山武けやき会

地域のつどい/39

オーストラリア・
クィーンズランド成蹊会
宮城成蹊会
秋田成蹊会
茨城成蹊会
福島成蹊会
群馬成蹊会
埼玉成蹊会
千葉支部の近況
千葉支部総会
千葉支部ゴルフの千葉オープン
学術交流団を編成して中国を訪問
渋谷成蹊会
八王子成蹊会
新潟成蹊会
岡山成蹊会
中国支部総会・広島成蹊会
讃岐成蹊会
愛媛成蹊会
九州支部総会

同窓のつどい

成蹊会理事候補者推薦に
係わる公示/3

表紙絵の言葉/12

叙 勲/17

働く成蹊人/23

予 告/48

寮歌祭/49

第40回埼玉寮歌祭

復活第4回東海学士会寮歌祭

第42回 横浜寮歌祭

日本寮歌祭に参加して

卒業生の皆様へ/51

一大学入試願書無料配布のお
知らせ

新聞・雑誌コラム/52

加藤良三氏/清水護氏/山本
千秋氏/武蔵野スポーツ新聞

成蹊ラビリタス/55

会員動静/56

物故会員/66

地域同窓会連絡先一覧/67

特別委員会活動報告/68

成蹊会の母校支援事業に

ご協力を/70

成蹊会活動報告/71

少林寺拳法部創部40周年
山岳部OB会(踏高会)
観光事業研究会OB・OG会

八王子成蹊会
新潟成蹊会
岡山成蹊会

会員動静/56
物故会員/66

同窓会運営の二つの原点に立つて

成蹊会会長 相川一成

平成20年6月21日第53回成蹊会通常総会を開催いたしました。開催場所の本館

講堂は耐震工事を行うため、大幅な改修が行われます。日本館講堂における最後の総会実施となりました。当日は通常総会終了後、講演者に内閣特別顧問の黒川

清さん(高6回)にお越しいただき、成蹊学園に対する熱き思いをご講演いただきました。内容は講演録として本号に掲載をいたしておりますので、ご一読下さい。

本館耐震工事は21年3月末完成を目指して、進行中です。この工事の中には外壁レンガタイルの改修が含まれており、当初、旧来のレンガタイルを磨く計画で卒業生としては、すっかり姿を変えてしまった旧理化館建替えの時とは違って、長年の思い出が残ることに喜んでいました。しかし、改修着手前後の検査で将来的にレンガタイル落下の恐れがあることが判明し、残念ながら全面同質同色のレンガタイルが貼られることとなりました。講堂内部も改修され、同窓会などで飲食・音曲を含む会合に利用できる予定です。



私は新たな講堂が「中村春二記念講堂」と命名されることを提案しています。

さて、成蹊会は2つのことを運営の大きな柱としております。一つは卒業生の各種集まりに対する支援活動です。

同窓会組織である成蹊会では、周年同窓会として高校は卒業10周年から50周年まで、大学はホームカミングとして学園に支援していただく卒業10周年から、今年は大卒卒業50周年を新たに加え、10年毎の同窓会をそれぞれの年に卒業した幹事の方を中心に開催運営をお願いし、幹事は同期生を集めることに集中していただいております。周年同窓会に限らず、ゼミ同窓会、クラブ同窓会に関しても、ご希望があれば、成蹊会が手伝うということ、運営いたしてきました。幹事の皆さんの大変なご苦労があつて周年同窓会が開催されるわけですが、集まりが良くないことに頭を痛めております。若い会員の皆さんは現場の第一線で忙しく、昔を懐かしむには早すぎると云うことでしょうか。周年同窓会は横のつながりです。これが縦につながって行くことが各同窓会ひいては成蹊会の強固な絆をつくらせてゆくことになるのです。会員名簿の整備は成蹊会の大きな役割のひとつです。住所変更ありましたら、必ずご連絡いただきたいと思ひます。

同窓会の活性化には手弁当で粉骨砕身

ご尽力いただいている卒業生の方々が大勢おられます。私から見ても本当に頭が下がります。成蹊会ではその方々の手間を少しでも軽減すべくご支援することが役割と思っております。これからも何なりとお申し出下さい。ご相談にいつでものります。

もう一つの成蹊会の柱は学園への支援です。育英奨学、スポーツ振興、文化振興部、学術・教育助成等の仕組みで現役学生、先生で、向上すべく努力されている方々に少しでも報いたいと資金を提供しております。学生諸君、先生方には大変感謝していただいております。学生諸君へは成蹊会の存在を認識してもらう意味でもこれからはもっと、手厚く支援をしてゆきたいと考えております。

これらの事業はいずれも、会員の皆様からいただいている成蹊会費によって運用されております。現在8万人からの会費を擁してはおりますが、納入率は特に大学4学部でははかばかしくない状況が続いております。この状況に鑑み、高校は今年から、大学も21年度から卒業後の10年分の会費を在学中に納入していただくようになりました。少しでも安定的な同窓会活動が出来るように、そしてより多くの学生支援、同窓会支援が可能になるようにと思ひます。現時点で、必ずしも会員の皆さんへの直接的還元に繋がらず、それが納付率の低さになって現れているのではと思われます。しかしながら我々が現役時代に諸先輩より受けたさまざまな支援に対し、卒業して社会人にな

ご尽力いただいている卒業生の方々が

改装中の本館



り成蹊会会員として、次の世代に返してゆくこともまた、我々の責務と考えます。既存卒業生の会費納入率が悪く、成蹊会の運営が若い新卒者の会費で行われるのは、恥ずかしいことではないでしょうか。既卒者同窓生からの一人でも多く成蹊会費を納入くださることをお願いいたします。さて、10年分会費の納入に伴い、予算規模は1・5倍となります。この機を捉え、従来からの組織・活動を見直すべく現在、活動検討プロジェクト委員会という特別チームを編成し、精力的に検討してもらっています。この12月には私宛に答申がなされます。この答申に基づき、実現可能なものから、次年度の活動に反映させていきます。

いつまでも我々卒業生が誇れる学園であり続けるために、在校生がより良い環境で学業に、スポーツに、学生生活をエンジョイできるように、成蹊会は活動してゆきたいと思ひます。成蹊会活動に一段のご協力をお願いいたします。

(政経・37年)

いいたし

平成20年12月1日

成蹊会理事候補者推薦に係わる公示

社団法人 成 蹊 会

成蹊会理事候補者を推薦して下さい。

社団法人成蹊会には、理事会が組織されています。
成蹊会の理事は、評議員会において選任されており、次期成蹊会理事の改選は平成21年6月に行なわれます。

このため、成蹊会でのより活発な活動と母校への貢献を目指して、新鮮な企画力、判断力に満ちた理事を求めています。是非「この人」と思う方をご推薦下さい。
ご自分を推薦されても差し支えありません。

- (※) 成蹊会理事会は、事業計画、収支予算・決算、財産の状況、剰余金処分、その他組織・人事・諸規則など会の運営についての諸事項を審議し、議決する機関です。
なお、成蹊会理事に選任された方の中から、理事会において成蹊会会長、副会長、常務理事が選任されます。

これらの重要な役割を認識いただき、成蹊会の運営に直接貢献しうる人材を自薦・他薦していただければ幸いです。

▶推薦方法

- 所定の推薦状を使用してください。
(推薦状の用紙は成蹊会事務局まで、電話又はメールにてご請求下さい)
電話 0422-51-2244 メール seikeikai@jim.seikei.ac.jp
- 推薦人は個人2名(1名可)までとします。(自薦の方は本人を記入)
- 推薦状には必要事項を全てご記入願います。

▶推薦状の締切日・送付先

- 郵送にて受け付けます。
平成21年3月31日(土) 必着<期日は厳守願います。>
- 送付先 〒180-8633
武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
社団法人成蹊会事務局気付 推薦委員会委員長 宛

▶理事の定員・任期等

- 理事定員数は20名以上30名以内(定款第13条第1号)
- 任期は2年(平成21年7月1日から平成23年6月30日まで)。
再任を妨げませんが「連続」10年を限度とします(池袋・女学校各同窓会を除く)。
- 原則無報酬です。理事会の出席に際し交通費・日当は支給されません。

▶理事の定員・任期等

- 理事定員数は20名以上30名以内(定款第13条第1号)

第53回 成蹊会通常総会



相川会長、総会での初めての挨拶



原案通り承認



岸曉学園理事長ご挨拶



第48回謝恩顕彰

第53回成蹊会通常総会が平成20年6月21日に学園で開催されました。本年は黒川清氏による講演会が催され、懇親パーティーでは第48回謝恩顕彰が行なわれました。

第一部 成蹊会通常総会

総会は140名が出席、成蹊会事務局の長岡敏郎氏（経済3回）の司会進行により、まず相川一成会長（政経11回）より挨拶がありました。相川会長からは、現在、成蹊会では同窓会の原点に立ち返りながら、今後の事業活動の在り方を、「活動検討プロジェクト委員会」を設置して検討しており、『成蹊会のあるべき姿』を来年度からの活動に活かしていきたいと決意が表明されました。また平成24年に向けて学園が展開している創立100周年記念事業に対し、会員の積極的な募金への協力をお願いしたいとの話があり、成蹊会として全面的な協力体制で臨んでいるとお話がありました。

続いて議事に入り

- 議案1 平成19年度事業報告および決算報告ならびに剰余金処分案承認の件
- 議案2 平成20年度事業計画および収支予算案承認の件
- 議案3 社団法人成蹊会同窓会規程の一部改正の件

が審議され、原案通り承認されました。同窓会規程の改正により、工学部同窓会が理工学部同窓会に名称変更されました。

第二部 講演会

成蹊会学術賞と隔年で催されている今回の講演会は、政策研究大学院大学教授で内閣特別顧問の黒川清氏（高校6回）に「母校、成蹊に望むこと」というテーマでご講演をいただきました。世界の変化の過程とそこから成蹊の現在と今後の課題を話された黒川氏のご講演の中で、これまでの成蹊学園の足跡から、成蹊のコアバリューとしての小学校から高等学校までの教育の大切さと、また学園全体としての成蹊の強みとは何なのかを改めて確認し、強いところを強くすることによって、成蹊教育を差別化してそのバリューを上げていくということが成蹊にとって必要とお話は、一つの方角性を示されたものとして、大変示唆に富んだ内容だと感じました。

第三部 第48回成蹊会謝恩顕彰、懇親会

大学10号館12階ホールに場所を移し岸曉理事長、橋本竹夫専務理事、栗田恵輔大学長、谷正紀中学・高等学校長、金納善明小学校長を来賓としてお迎えして、今年大学卒業30周年を迎えた磯野総一氏（経済9回）、丸山景子氏（文10回）の司会で開催しました。

まず、相川一成成蹊会会長の開会挨拶に続き、ご来賓を代表して岸曉成蹊学園理事長からご挨拶をいただきました。その後、第48回謝恩顕彰が行なわれました。今年は9名の教職員の方々が顕彰され、うち2名のご出席を賜りました。相川会長からご功績に対する謝意が表され、記念品が贈られました。顕彰された水野誠様並びに乾法子様からはお礼のご挨拶をいただきました。本年の顕彰を受けられたのは次の方々でした。

- 乾 法子様（養護教諭）
- 大垣内昭雄様（中学・高等学校）
- 小野寺信一様（職員）
- 桐沢 潔様（工学部）
- 傳田 忠雄様（職員）
- 橋詰 孝子様（養護教諭）
- 原田 清美様（職員）
- 松永 泰典様（中学・高等学校）
- 水野 誠様（職員）

懇親会は、新たに小学校同窓会の会長になられた根岸孝昌氏（政経16回）の乾杯のご発声で始まりました。和やかに時間が流れ、途中この3月に大学を卒業して新たに成蹊会会員になられた出席者の紹介があると、会場は温かな拍手に包まれました。懇親会の最後には、グリークラブOBのリードで、成蹊の校歌を参加者全員で合唱し、総会を終了いたしました。

本会の運営に関して、成蹊会事務局のご協力と、総会実行委員としてご尽力いただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

高橋章建（法・60年）

総会実行委員

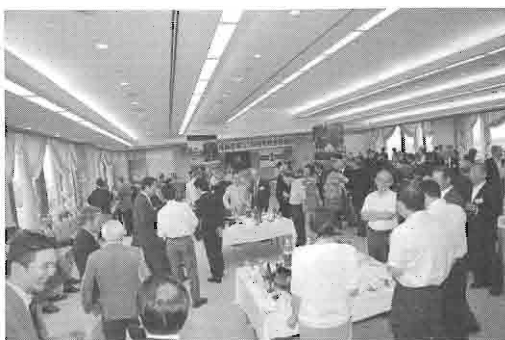
小学校	水田 照 (52回)	村田 美香 (69回)
中学・高等学校	江橋 治郎 (26回)	森 一憲 (37回)
政治経済	角原 勲 (17回)	大竹 茂 (17回)
経済	磯野 総一 (9回)	酒井 優子 (9回)
工学	鳥越美恵子 (13回)	浅田 嘉助 (13回)
文学	丸山 景子 (10回)	高杉真知子 (10回)
法学	三浦 理恵 (10回)	服部 圭宏 (9回)
	一木 淳 (9回)	

成蹊会本部

清水 和久（経24回） 高橋 章建（法16回）



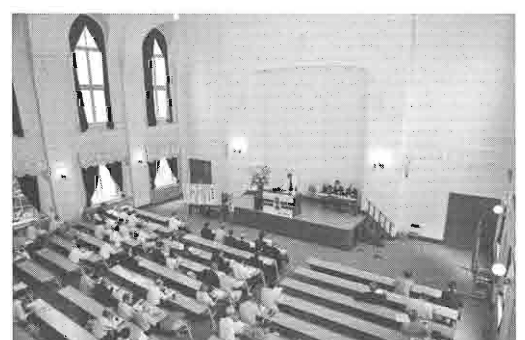
総会初出席の本年卒業生の方々



懇親会



黒川清氏（高6）講演



旧来本館講堂での最後の総会風景

成蹊、新しい時代を見据えた ヴィジジョンを

くろかわ きよし
黒川 清

本稿は平成20年6月21日開催の通常総会で行われた講演を抄録したものです

今日は、このような機会に呼んでいただきましてありがとうございます。懐かしい講堂、懐かしいキャンパス。ご紹介がありましたように、私は現在内閣の特別顧問を相変わらずやっております。

成蹊は、あと四年すると百周年ということですが、「成蹊は何か」ということをお話しさせていただいて、「成蹊の課題」という話を持っていければいいかと思っています。

お手元に差し上げました『イノベーション思考法』という本は、今年の三月に出たものです。これを読んで、面白いと思ったら、周りの人にお薦めいただければと思います。「はじめに」と「おわりに」というところを見てい



ただくと、私の気持ち、考え方が大體おわかりいただけると思います。

六十数年前に第二次大戦が終わって、皆さんの中にも、そのころこの学園におられ、戦時中に学生だった人たちがいると思いますが、この六十年、一体何が変わったのでしょうか。

今、ちょうど平成二十年ですから、二十年前から比べてみると、世界がどう動いて、日本がどうなったかということを考えてみましょう。そうすると、これから十年先とか二十年先にどういうことが起こり得るかということが、ある程度予測できます。

なぜかというところ、歴史を勉強することは、過去に起こった実際のことを多面的にいろいろ分析してみる、検証するということが可能にすることです。その過去から現在を見る、さらに、その現在の窓から将来を見据える、予想するという過程が大事なのです。

日本の歴史の勉強というのは非常に片手落ちで、特に日本の中学校、高等学校で教える「日本の歴史」というのは、基本的に大学の入試に出ることしか教えないわけです。出ないことは教えないという大體はかけた教育ですが、

さらに大学に入ってから、歴史など勉強した記憶がないわけですから、日本の近代史の実際、特に日本にとって都合の悪いこと、これは本当は学ぶべきこと、そして生かすべきことなどですが、全く知らないわけです。

・平成に入ってからの変革

平成元年に何が起こったかということ、大きなことが起こります。一つは、中国で天安門事件が起こった。実を言うと天安門事件のインパクトは、情報技術が進み、広がっていたので、テレビのニュースなどで世界に見えてしまっただというところですね。隠せなくなりました。つまり、情報が広がるといふことは、それまでの社会のいろいろなシステムで、権力がある、責任がある立場の人たち、社会制度にして、企業にして、大学にして、政治にして、いろいろな制度、活動のトップのほうにいた人たちにとってはものすごい脅威なわけです。より広い範囲の人たちが知ってしまうので隠せない、事実を知りたくなる。「権威」に対して疑問を持ち出す、ということが起こるのです。それが世界に広がるようになってきたのです。

もう一つは、ベルリンの壁が落ちた。これは冷戦構造の終止。あのときは、東ドイツの人をハンガリーの国境からウィーンのほうに逃がしてあげるといふハンガリー政府の大英断があつて、一気に東の人が西に行き出しちゃった

ということがすごい力になって、ベルリンの壁が落ちることになるわけですが、その二年後に冷戦が終わる。

日本はどうだったか。そのころは歴史に残る、日経が三万九千円という一番高値をつけた年です。次の年には日経の平均が二万円になっているのですが、なぜか、やっぱり変わらないのですよね。三十五年も右肩上がり経済成長していると、すべての社会制度、人々の価値観、慣習などが。それまでの日本の「政産官の鉄のトライアングル」、お上意識というのが非常にうまくいっていたので変えられないという社会制度、社会的価値観になって、これはある程度当然なのですが、変化に対応できないのです。変化への対応が遅い、当時のリーダーたちはある意味で甘い世界、閉ざされた内向きの社会構造で出世してきたのです。

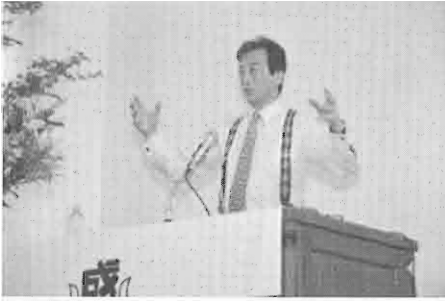
そこで数年たち、平成六年の一九九五年、これが進行する世界の大変化と日本の真相を象徴することが起こります。一月に神戸大震災が起こる。その一年前にロサンゼルスで地震があつて、高速道路がバタバタ倒れたのをテレビで見た。日本の土建技術は世界でも確かにいいのですが、「あんな地震でひっくり返るぐらいやわな高速道路をつくらせているからだ」などと、結構えらそうに言っていたのですが、次の年に神戸で起こると、これは直下型とか、マグニチュードが違うから倒れるのはしかたないとしても、問題は倒れた高

さういふ力
ること
に冷戦
つたか
が三万
年です
円にな
つぱり
年も右
、すべ
慣習な
産官の鉄
というの
で変え
る価値
然なの
ですね
リーダー
閉ざさ
てきた
ち、平
行する
象徴する
大震災
ゼルス
バタバ
土建技
が、こ
いやわ
んだ」な
たので
、これ
が違
ても、

速道路の橋桁からたくさんの手抜き工事がバレてしまったのです。

要するに、今までの政産官の鉄のトライアングル、技術は素晴らしいと言っていたのが、実はそこに巨大な闇と闇と、国民の知らないいろいろなことがある、当事者たちは知っていたわけですが。新聞も本質を突いた報道をしてこなかったわけです。その後、J R西日本のトンネルの落石事故など起こる。さらに東海原子力、雪印、三菱自動車とか、大企業の実に程度が低いというか、みっともないごまかしがゴロゴロ、実に数多く出てくるわけです。それが九五年の一月です。

九五年の三月に何が起ったかという、オウムのサリン事件。私は、サリン事件のときは東大にいました。私の教え子の一人が当事者としていろいろ新聞を賑わしたのです。あのオウム事件では結構優秀なお医者さんがたくさんいました。なぜでしょう。



日本の大学で教えていると、実に学生の質はいい。しかしそんなに勉強しなくていいというシステムになってるので、彼らの優秀な頭脳を刺激するような大学になっていないのです。もともと日本の大学は入るまで、あとは勉強しなくていいシステムだったのです。

長いアメリカ生活から帰って、日本の教育はいかんなと感じた。しかも医者になって卒業して十年もすると、魚の腐ったような目をしている人も多い。つまり、社会制度の欠陥です。それで、いろいろ私なりに選択コースをつくり、教育にいろいろなことをやった。そのころから教授会でも、教育がまずいよ、教育の崩壊が起っているのだという趣旨の発言をたくさんしていました。

その九五年は、今考えてみると、日本のバブル経済でずっと成長していたところの中にあるゆがみ、その支えていた変なところが現れてきているのですが、その中にどっぷり浸かっていた人たちが、なかなかそれがわからないのか、わかっても認めたくないという人が多かったと思います。終身雇用、年功序列、横には動けないという、それが常識だと思っていたわけですから。そしてこのような価値観が、時代を牽引する経済、産業構造にうまくマッチしていたのです。ところが、この価値観は日本の江戸時代以来の価値観とピッチリ合うのです。「私は金沢藩の者でござる」とか、生まれた家(明治以

後は、基本的には入った大学で、に変わっただけ)で士農工商と分かれていて一生変わらない、どこにも動けないというのが常識だと思っていましたから。それがピッチリ合っていたというだけの話です。オウム事件は教育の崩壊を示すことで、今、教育が大騒ぎされているけれども、あのときに明らかにサインが出ていたのです。

この年の秋には「住専」問題で大騒ぎしましたが、その後の日本の金融の有様、多額の国の借金の現在への始まりを象徴的にあぶりだしていたのです。そして、もうひとつ、この年に「野茂」がメジャーへ行ったのです。「おきて破りをして」の上です。日本の野球とメジャーの違いはテレビのおかげで広く国民、社会に知られてしまい、優秀な若者への選択肢が増えたのです。これは、野球だけではなく、サッカー他のスポーツも、大学も、ビジネスでも同じことがおこり、もつと広がるでしょう。このグローバル化の流れは始まったのです。この流れに抵抗する人、企業、大学は世界の負け組になっていくのです。

・世界を変えたパソコンとネットワーク

冷戦が終わり、世界が一つの市場経済になり、八〇年代からみんなコンピュータを使い始めました。コンピュータは、八十年代のはじめにアップルが「アップルII」という卓上のものを

出てきてから急に小さくなり始め、インテルがチップに特化して、チップはどんどん速く、高性能で、安くなってくる。

実を言うと、一つひとつのコンピュータをつくるというのは日本人が得意なのです。ラップトップをつくる、これは最初たぶん東芝がやったと思います。「小さく・軽く」というのは日本人が好き、得意なのです。技術を駆使して、なるべく小さく、軽くしようというのが日本人の大好き、得意なところ。

その後、コンピュータは広がったのですが、お互いにつながっていない。それが突然つながり出したのが、九二年に「WWW (World Wide Web)」が出てきて、ドメインとか、いろいろな話がワーツと広がるのです。

だから、冷戦終結の九一年に市場経済になって、それとほとんど時を同じくして九二年にインターネット、つまりみんなが使っていたコンピュータをつなぐというインフラができた。まったく新しいビジネスが出てくる。これがすっかり世の中を変えたけれども、世界が「フラット」になり始めた。日本でインターネットが広がっていったのはごく最近です。つながっているのですが、なかなか一般には普及というか、使いにくかった。使用料が高い。なぜかといえば、郵政省とNTTの出来レースで、安くしない。

ところが、二〇〇一年にIT基本法

急に小さく
に特化
高性能

一つひとつの
コンピュータ
というの
は日本人
が得意
なのです
技術を
駆使して
なるべく
小さく
軽くし
ようが
日本人
の大好き
得意な
ところ

その後、
コンピ
ュータ
は広が
ったが
お互い
につな
がって
いない
それが
突然つ
ながり
出した
のが、
九二年
に「WWW
(World
Wide
Web)」
が出て
きて、
ドメイ
ンとか
、いろ
いろな
話がワ
ーツと
広がる
のです

だから、
冷戦終
結の九
一年に
市場経
済にな
って、
それと
ほとん
ど時を
同じく
して九
二年に
インタ
ネット
、つま
りみな
んが使
っていた
コンピ
ュータ
をつな
ぐとい
うイン
フラが
できた
。つま
り全く
新しい
ビジネ
スが出
てくる
。これ
がすつ
かり世
の中を
変えた
けれど
も、世
界が「
フラッ
ト」に
なり始
めた。日
本でイ
ンター
ネット
が広が
ってい
ったの
はごく
最近で
す。つ
ながっ
ている
のが、
なか
なかに
一般に
は普及
という
か、使
いにく
かった
。使用
料が高
い。な
ぜか
といえ
ば、郵
政省と
NTTの
出来レ
ースで
、安く
しない

二〇〇一

ができて、堺屋太一さんが大臣だったから、何をやらばいいかわかっていたので、ディレギュレーション（規制緩和）になって、ヤフーBBというのがインターネットつなぎつ放しで一カ月三千円以下というサービスを出した。それで一気に普通の人も使えるようになってきた。

インフラのファイバーケーブルだ、いろいろな話は郵政省なり国がやるのですが、それをまた利権にするというのはものすごくまずいですね。下品です。これは国民の税金のサービスですから、あとは自由にやってちょうだいとやらなければまずい。九二年にWWWが出てから一体何が起ったかというのと、今皆さんが使っているようなヤフーとかアマゾンとか、みんなこのシステムで何をやるかということを考える「クレイジー」な若者たちから新しいビジネスが出てくる。それがみんな九四年ごろに出ているわけです。

九四年にもう一つできたのは、サーチェンジンがどんどん出てきて、そのうちたくさん失敗もするのですが、まず抜け出したのがヤフーです。ヤフーもマイクロソフトにTOBをかけられて、今、サバイバルゲームをしています。今、そういう新しいデジタルエイジに考えるような人というのは、大体ハッカーみたいな、ちよつとクレイジーな人たちで、いろいろまったく新しいビジネスをつくる、それにお金を投資して、どんどんビジネスにしちやうと

いう、ベンチャー・キャピタリストとか、そういうカルチャーがなければなかなかやりにくいのですが、そういうのが出てきた。それが九二年から始まって、九四年にネットスケープというすごいサーチェンジンが出てきて、すぐにWindows95というのをマイクロソフトが出して、インターネットのドメインをどんどん制覇していく、誰でも使えるようにするということが起つてきます。

これはいわゆる世界がつながっているのですが、日本はなかなかアクセス料金が高いという話があったのが、二〇〇一年の基本法からみんなが使えようになつた。例えば、皆さんは日常的にメールを使うと思います。そして、今では携帯電話を持っているけれども、十年前は使つてなかつたでしょう。ほとんどが車の電話とテレフォンカードです。しかし、みんなが使うようになって、これが世界中に広がる。一日にどれぐらい世界で売れているか、知っていますか？三百万個です。毎日、三百万個売れているのですが、この携帯電話を見ると、日本の強さと弱さがよくわかる。

携帯電話の世界マーケットの四〇％はノキアです。二番目がモトローラで一四％ぐらい、三番目がサムスンで一三％。日本がようやく名前が出て、九％を取っている四番目、ソニー・エリクソンとLGです。日本は十社ぐらいあるのですが、世界のマーケットの四

％ぐらいしか取れません。

なぜかという、日本の中でまあまあサイズのマーケットがあるから、役所とくつついてビジネスとしてそこそこ成り立つ、キャリアというか、NTTドコモなどの注文、指示を受けてやっただけの話ですが、明らかにこれが日本の弱さです。大きく世界を見据え、理解し、考えるのは苦手。つい「官」に従う、反抗しない。

では、日本の強さはどこにあるかという、世界の携帯電話の部品の六五％はメイド・イン・ジャパンなのです。これは日本の強さですね。だから、自分の強さと弱さを考えて、強さを、どうやって世界につなげて、それを活かすかということを考えてないと、新しいビジネスは出てこない、そして伸びないということ。確かに、日本の強さは「ものづくり」かもしれませんが、これでは「部品屋」です。お客様の心をつかむ「ものがたり」があつてはじめて優れた部品が生きているのです。これがビジネスになるのです。六十年代のソニーの盛田さん、ホンダの本田宗一郎さんのようなビジネスリーダーです。

例えば、グーグルを皆さんよく使っていると思うのですが、これはスタンフォード大学の大学院の二人の学生が、いろいろ考えてちよつと遊んでいたのでしょうけど、ちよつと十年前ですね、大学を休学して会社をやるうというの

で二人で始めたわけ。十年でもう二十兆です。世界中の人がグーグルをどんどん使う、というようなビジネスモデルをつくる。こんな新しいビジネスを出す、「変わっている人」たちというのがなかなか出てこないのが日本の弱みです。教育でも企業でも均一性を重視しているのです。どんどん「フラット」になる世界、その中で拡張していくマーケットを意識した新しいビジネスモデルはなかなか出せない、これが日本の、弱み、悩みです。

日本人だけで何かを考えているということが大きな足かせになって、発想が貧弱なのです。日本の常識が世界の非常識になっていることに気がつかない。多様性、違うことの価値を、本質的に、直感的に心の奥深いところで認識できない、あるいは認めたくないのです。日本の強さ、弱さというのをちゃんと認識してビジネスをしないと負けてしまうでしょう。

・「成蹊」としての「アバリュウ」は？

学校も同じです。「成蹊の強さは何か」ということを考えて欲しい、そしてそこを伸ばすことを考える他との差別化の大事さを「同窓会誌」に書いたのです。どこの学校でも、特に私立学校には創設者のビジョンと、それぞれの歴史があります。それは当然だと思えます。そのビジョンというのは、意外に時代が変わってもそれほど変わらない、人間の本性に触れる普遍的な、

にわけ
世界中の
という
。こん
。わつて
はか出て
教育でも
ののです
。世界、
。トを意
はなかな
。弱み、悩
。何かを
は足かせ
。日本
。いるこ
。燐うこと
。心の奥
。るいは
。強さ、弱
。ビジネス
。しょう。
ての「ア
。です。中
。を考え
。ことを
。同窓
。学校で
。ビジョ
。す。そ
。ビジョ
。つても
。質に触

基本的なバリュー、特に教育ではそうですね。福沢諭吉もそうですね。

中村春二先生は何をしたかったかというところ、あの例外的な方だったのでしょうか。東京帝国大学を卒業して「教育だ」なんて、友達にカネを出してもらって成蹊をつくるのです。何をしたかというところ、イギリスのパブリックスクールと言われるようなものをぜひつくりたい！と言ってやるわけです。これが基本的な一番の成蹊のコアバリューです。

これをどうやって活かすかというのが成蹊の課題です。僕は、アメリカから帰ってきていろいろな方と話をしたときに、成蹊はそれが強みなのだと。五十年代から大学進学率が高くなりだして、それ以来、成蹊でも大学が一番でかくなっています。しかし、成蹊のコアバリューは、大学ができる前から綿々と続く小学校、中学校、高等学校の「成蹊」、ここにこそ成蹊というバ



リュー、そのコアバリューがあるので。

例えば外から見ていると、日本国内ではほかの大学とどうしても比べられません。みんな同じようなヒエラルキー（ピラミッド構造）の日本社会に慣れていると、成蹊大学は何が違うのかということを確認に社会に示す、うち出さない限り、なかなか難しい。官尊民卑の日本人、そして文科省に従う文化があるから、成蹊大学が国立やもつと古い大学に比べて日本という中では認められる、飛び抜けることはなかなか難しい。しかし、成蹊の建学の精神、コアバリューが一番宿っているのは、大学に入る前です。日本の大学は一九五五年以来急に進学率が増えますが、これはヨーロッパでも同じことなのです。ヨーロッパも実は一九六〇年は、フランスも、ドイツも、イギリスも大学進学率は五〜七%しかないのです。今は四十五%です。

それは主要産業構造が一次産業から工業化へとシフトし変わってきたからです。大学を出てから社会に出てきても遅くないよということ、それまでは一次産業、農産業が圧倒的に強いのですから、義務教育が終わったら早く仕事しないとだめだという世界になっていただけの話です。

そうすると、成蹊のコアバリューを、日本の社会から見ると、世界から見ると、何があるか。中村春二先生がもともと目指していたようなカルチャー

が脈々とあるのは何かということ、イギリスのパブリックスクールみたいな、リベラルな、しかし「概念」をやらせるような「規律」、何か染みついていられるものがある。そのバリューを生かし、それで差別化する。日本の成蹊は何だということ、これを日本社会に、世界にアピールできるような、これがコアバリューだ。

このコアバリューというのは、何かと言っても、そう簡単にはできてこないのです。やっぱりこれが伝統の重み。ここ成蹊のキャンパスに来ると一番みんながホッとするのは、大きな樹、サクラとケヤキの樹がたくさんあることだと思えますね。あの樹があそこまで来るのに何年かかると思いませんか。そんなことは付け焼き刃でやったってできるものじゃないのですよ。それが成蹊のコアバリューです。

私が成蹊にお願いしたいことは、何が成蹊が他と差別できるユニークなバリューか？ 中学、高校でラグビーやったり、テニスをやったり、今でも馬術部があるとか、プールがあるなんていうのは、ほかのことをやらなくても、その価値に共感する、参加したい、子供たちを学ばせたい人はぜひいらっしやいと、アピールし、話をして、差別化する、このような価値を認識する人たちとの連携を深める、同窓生などがその大事なセクターです。これこそがこれからの成蹊にとっても大事なお客さん、支援層のほうです。

さらに日本を超えてグローバル世界に差別化を見せるということから言うと、もう一つは、僕らの世代が高等学校にいたころの何年前から始まったプログラムです。最初が三菱商事の榎原さんですが、アメリカのセントポール高校に二年に一人、留学させる。セントポールに行く、プレップスクール（大学進学準備学校）ですから大体ハーバードへ行く人が多いけど、ああいうのをぜひ毎年、できれば二人、三人を送れるようにしたいとか。榎原さん、入江さん、有馬さんあたりが、日本社会で世界の信用とネットワークをもった窓口として、日本に対してのバリューをこのような一人の人がつくっている価値はものすごく大きなものになっているのです。

これを外に向かつて戦略的に、しかもさり気なく、日常的に発信する、知らせることがすごく大事です。特に日本の社会なり、いろいろな人たちに、成蹊というのはああいう学校なんだ、あそこはユニークだねということ、みんながユニークである必要はないのですが、ユニークであるのをいかに差別化するかというものはものすごく大事なことです。これがグローバルに価値が出てくる世界になったのです。そういう人が毎年五人いるだけで、十年先、二十年先というのは、成蹊の世界の中でのバリューというものがものすごく違ってくるだろうと思います。

もう一つは、オーストラリア、ケン

ブリッジとの交換留学、交流をやっていますね。これもものすごく大事なことです。お金で買えるものではありません。

・これからの大学の方向性

近年、途上国や後進国からアメリカやヨーロッパの大学へ行ってしまおうと人材がそれつきり帰ってこないというのが、問題視されていますね。中国やインドは今戻り始めていますし、また戻そうという政策も推進しています。しかし、彼らは本当に戻るわけではなくて、グローバルな経済の中につながる両方をまたぐ人材拠点として、ものすごいパワーになっているのです。両方で仕事をするわけだから。

そういう人たちが日本にあまりにも少ないですね。入江先生はずっとハーバード大学で教えている、有馬さんは外務省に途中から呼ばれて仕事しているといつても、グローバル世界での日本への社会的価値、バリューになっている。大学の同窓生のネットワークも広がっている、たくさんいるということ、海外でも最初からものすごく信用があるわけです。

日本は本当に海外留学する人は減っています。文部科学省にはだいたいぶ突っ込んで留学生交換などやらせたいと思っているのです。大学生も一年間どこかに行かせる。提携大学があると思うのですが、向こうからも来させる。そういうことを一年でもやると、何もい

きっぱなしになるわけ（たまにはそういう人もいるのもいいのですが）ではないので、例えばアフリカでも、ヨーロッパでも、アジアでも、一年交換すると、そのときの友達というのはたくさんグローバルに広がるネットワークをつくり出すわけです。今はメールでも何でもありませんからね。

それが将来ものすごい力になる。またインドの人はこんなことを考えると、全然常識が違うとか、たくさんあるわけですね。イスラムもそうだし。大学は学部の間で半年から一年でもいから、とにかく一対一で交換させよう。授業料は両方取っているのだから別に要らない。それで増やそうかなと思っているのです。

福田さんが、留学生三十万人なんて、そんな来るわけじゃないですよ。日本の大学は魅力ないもの。しかも今、世界の共通言語は英語だから、英語で授業をやつてなかつたら、日本の大学には留学生は来ないに決まっている。

成蹊は、小さいスケールですが、交換留学を実際にやっていましたから、ぜひそれを広げる。今、アジアの学生なども、大勢の学生がアメリカやイギリス、オーストラリアに行きますね。日本人にはさっぱり行かないというのは、ますます引きこもり症候群になっちゃうわけです。日本でどんどん出ていくのは女性だけです。AFSみたいにアメリカの高等学校に一年行かせるといのが、今やどんどん日本から

は応募者が減って、しかも七五％は女性になってしまった。

なぜ女性が多いかという点、日本の女性は魅力があるというのが一つあるのかもしれないけれども、日本社会は女性に差別的で、あまり先行きの希望が持てないと思っっていますから、有能な女性ほど、どんどん留学しちゃうんです。そうすると、残った男はますます引きこもり症候群になっちゃう。非常によくない、悪循環だと思います。

そういう意味では、ぜひ成蹊は、イギリスのパブリックスクールのカルチャーでもともとつくられていたわけだからこれを生かす。皆さんも、教育関係者も結構読んでいるのではないかと思います。慶応大学の先生が『自由と規律』（岩波新書）という本を出しています。あの先生は、高等学校からイギリスのパブリックスクールに行つて、それからケンブリッジへ行つて、ドイツで勉強されて、その後、慶応で教えておられたのですが、『自由と規律』を読むと、パブリックスクールと言われるのは、「公的な学校」という意味じゃないんですね。いわゆるパブリックという、社会に貢献するようなりーダーをつくるというフィロソフィーがあるので、あれを読むと、「あ、そういうことを中村先生は考えていたのか」というのがよくわかります。そういうようなところがあるような学校にしていくこと。つまり、今は、

いかにほかに比べて差別化をするかというところが、そのインスティテューション（組織）の価値を生むところだし、その特徴的なローカルな価値というのは必ずある。そのローカルな価値の合うところ同士で、グローバルにいろいろなネットワークをつくるというのが、ものすごくやさしくなっていく。それにはこれからの教育の場面、つまり将来を担う若者たちが自分のネットワークをつくって（これは大学院ではないのです）、将来は政治家になるとか、ビジネスをやるとか、学者になるとか、いろいろな人たちがいてこそいいわけなので、国境を越えてそういう人たちが、そういう価値観に基いた経験を共有することによって、カルチャーの違いとか文化の違いとかを認識しながら、グローバルの世界で、国境を越えたいいろいろなチャレンジにみんなが挑戦していく人たちが一人でも多く出ることこそが、成蹊の価値であり、日本での成蹊の価値であり、グローバル世界での成蹊の価値であり、日本を変えていく力になるのではないかと思います。

日本は、大学はいつまでたっても閉鎖性だという話をよくするのですが、そういう意味では、今、世界中の一流の大学と任じているところは、世界中の将来のリーダーになるような若者を引っ張ろうと思つて、いろいろな工夫をしています。例えばMITの教材は全部ウェブで、無料で見られますから

比べて差
てのイン
りの価値
的なロー
る。その
回士で、
トワーク
こくやさ
からの教
右者たち
つて（こ
将来は
をやると
うな人た
国境を
ついう価
ことによ
文化の違
ーバルの
うなチャ
く人たち
か、成蹊
の価値で
の価値
になるの
子はいつ
つ話をよ
じは、今
している
ラーにな
心つて、
例えば
無料で

ね。それだけ自信があるから、どんなみんないらいしゃい、使ってくださいということを示している。大学はそういうところでなきゃいけないのです。そういう意味では、日本でそんな大学があるかというと、もともとここに近いICUはそういうことを伝統的にやっていますが、今、それを売りにしてやっている大学が二つあります。

一つは、大分にある立命館アジアパシフィック・ユニバーシティです。これは準備を五年ぐらいやって、今は学部学生だけで五千ぐらいいます。そのうち半分は日本人ではありません。日本語でやる授業もあるけれども、半分は英語でやっています。スリランカとか、イスラムとか、いろいろな子がいて、あそこのセミナー、授業は楽しいです。

地元、大分の町はどうなっているかというと、非常に活性化している。そういう留学生たちが下宿をするとか、



アルバイトに来るとか、いろいろなこともありますし、そういう人たちがスリランカナイトとか、いろいろなイベントを企画するわけです。自分たちの文化を紹介する。だから町も非常に活性化しているし、うちの子供が行っているからといって、アジアでも少しづつ中産階級が増えてくると、家族も、温泉に行こうなんて時々遊びに来たりして、非常に活性化しているというのが一つですね。

それから、スイスのサンガレンという、ビジネスでは有名な大学があります。このサンガレン大学では学生たちが、三十八年前から自分たちが主催して、ヨーロッパが中心でしたが、今は世界の学生に二百人ぐらい来てもらって、ビジネスのリーダーを四百人ぐらい集めて、毎年セミナーをやる。私は去年と今年招かれて行ったのですが、三十年やっていけると、学生が主体なのです。いろいろな人たちが参加して素晴らしい会になっています。

日本からも英語のエッセーをもとに選考して、十五人ぐらいけるのですが、日本人の学生というのは比較的少なく、半分も行かないですね。エッセーを書いたりするのが苦手なのかもしれないけれども、今年はアジアパシフィック・ユニバーシティの学生が六人も選ばれて参加しています。そういうことがこれからは大事なのです。

もう一つは、三年前から始まった、

秋田に国際教養大学というのがあります。これは非常に新しい大学のあり方をよくあらわしていると思うのですが、一学年二百人で、全部リベラルアーツ(教養科目)ですね。一年目は全員寮に住んでいるわけですが、全部英語の授業。日本語を取りたかつたらこれもありますが、基本的に授業は全部英語で、一学年二百人のうちの百三十人が日本人で、七十人が外国人。その日本人の百三十人の入学生は、今年目なのですが、なんと、偏差値なんて一つのパラメーターだからあんまり信用しなくていいのですが、河合塾、代々木ゼミナールというところを見ると、国立大学はほとんど勝てなくなっていますね。今年入学した生徒たち、去年もそうですが、偏差値が東大の文Ⅲぐらい、八〇を超えている。だからそういうニーズはすごくあると思いますよ。

いろいろな連携校があつて、日本の学生は、外国にある連携校に一年必ず行かなくちゃならない。この大学はあまり宣伝はしていないかもしれないけれども、非常に人気が出てきています。そういうニーズは明らかにあるのだと思います。そのうち活躍する卒業生が何人も出てくるでしょう。

・再び「成蹊」のコアバリューは?

つまり、大学もそうですが、この学校が一体何をして、どういう目的を持って人を育てているのか、これが学校の財産。成蹊はそういう意味では非常

に国際性が高くて、英国のパブリックスクールのような価値観、イメージがある。ここへどうやって転換していくかというのが大事です。これを生かしている生徒やコースはまだまだ数は少ないけれども、そういう選択肢というのは、特にグローバル時代を迎えて成蹊の一番の魅力です。海外から来た学生さんも、中学・高校など特にそうだと思いますが、このキャンパスに来て、入り口の大きな樹を見ただけで、全然気分が違う、何かを感じとるだろうと思います。

新聞広告などをしなくても、今はウェブサイトがある。キーワードを入れておいて、誰かがグーグルでサーチしたときに、成蹊のサイトをどう上にあげるか、という工夫が大事。ウェブサイトのつくり方がとても大事なエレメントです。そういう意味では、たまたま「成蹊」というところで何か当たると、次々とクリックしたくなるようなウェブサイトのつくり方をしない限り、お客さんを引っ張れないということがあります。ぜひその辺も工夫されるというか、そういうプロたちといろいろ相談することも大事です。

それと実際には、中学とか高校とか大学の間に、一年間のブレイン・サーキュレーション(※1)するということ。これはものすごい価値を、将来になってその配当金がばかでかくなる可能性が非常にたかい。ぜひそれが成蹊の「売り」だということを戦略的に推進

て、英
な価値
とうやっ
人事です
コースで
も、そう
グローバル
魅力です
中学・高
か、この
大きな樹
つ、何か
とをしな
ある。キ
かがグー
蹊のサイ
う工夫が
万がとて
いう意
いうとこ
リンクレ
のつくり
つ張れな
ひその切
いうプロ
も大事で
には、中
一年間の
ン(※1)
ごい価値
がばかで
い。ぜひ
いうこと

していくのが、今までの伝統と実績にピッタリ合う成蹊のコアバリューになつていく、これを伸ばすことだと思ひます。

そういう意味では、僕らが卒業したころも、オリンピックの馬術に出た影山さんとか、いろいろな人がいたし、そういう変わった人が出てくるのがすごく大事なカルチャーですね。ほかのところも真似しようとしてもなかなかできないだろうと思ひます。

成長してくるアジアの若い人たちはどんどん外国で勉強しようとする人たちがたくさんいますし、日本の若者がなせもつと行かないのか。青年は荒野を目指すなどとは遠い昔話でしょうか。今は北京大学、東京大学等々いろいろなところで、むしろ学生同士がどんなネットワークをつくり始めているということが起きています。ぜひそういう動きをさらにエンカレッジ(後押し)していくのが大事と思ひます。

・「成蹊」とは

お手元のレジュメに書いてあることの一部だけ話させていただきました。雑駁な話で誠に申し訳なかったのですが、やはり成蹊の場合には、今日も来てみると、あんなに大きな樹がこんなにたくさんある大学なんてそう多くはないと思ひますね。入ってから大きなケヤキがブラツとあつて、校庭の中をちよつと行くと、太い桜の樹がブラツとある。こんなことは時間がかかる、

とてもお金では買えない、素晴らしいバリューですね。

これは口先だけで付け焼き刃のようなことを言っているのではない、本当の価値だということを感じさせる、思わせる、感動的でさえある、すごいものだと思うのです。ぜひ成蹊を、私も少しでも役立てることがあれば、外からも中からもいろいろ応援したいのです。成蹊のいいところを強くする、強いところをさらに強くする、というのが一番大事です。

普通の人は普通でいい。でも強いところを強くすることによって、全体のバリューを上げていくということを、戦略的としてぜひ考え、実践してほしいと思ひます。それが成蹊の伝統であるし、今度の百周年というところに向けても、それがもうちよつと見えるようになってくると、やはり成蹊というのは違うという、この感性、価値観を共有する若者、ほかの価値観とは違った学生さんを集めるというのがすごく大事なのです。偏差値で東大にたくさん入ったからここがいい、なんて学校とは全然違うんだという世界にこれらのグローバルな時代はなつてくるし、そういう人たちに、成蹊はこういう人をつくりたいんだというメッセージをどう伝えるかというのが、大事な課題であり、今日の私の一番のお願いであり、皆様同窓の方々へのメッセージにしたいと思ひます。

最後に、私はいろいろなところで発

信していますが、ぜひ私のウェブサイトを訪ねてください。『グーグルする』とすぐに出てきます。

ご清聴ありがとうございます。

※1 ブレイン・サーキュレーション

ン(頭脳循環)海外への頭脳流出ではなく、戻つて来ること)

政策研究大学院大学(高・30年)

略歴

東京生まれ。

成蹊中学・高等学校を経て、東京大学医学部卒業、同大学院医学研究科終了(医学博士)。

1979年 カリフォルニア大学

ロサンゼルス校(UC LA)内科教授に就任。

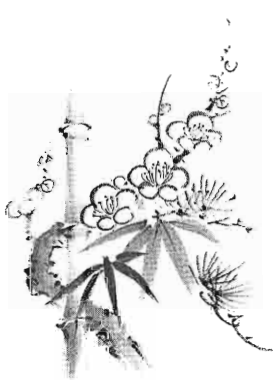
1989年 東京大学医学部第一内科教授

1996年 東海大学医学部部長

1997年 東京大学名誉教授

2003年 日本学術会議会長などを歴任

政策研究大学院大学教授、内閣特別顧問を務める。



表紙絵の言葉

心の故郷煉瓦色の本館

武蔵野の面影が残る樺並木を通り抜けると、煉瓦色の本館が目飛び込んできた。大正十三年に建てられた本館は、戦火で焼かれることもなく、八十四年間、卒業生そして在校生を穏やかに優しく見守っているように思えた。それと共に成蹊で過ごした青春の日々が懐しく思い出された。校内はいつも温かく優しい風が流れていて、学ぶ喜び、そして友情と信頼、生きていく上で大切なものを与えてくれた。

大学に入って初めて覚えた卓球は、今でも私の楽しみの一つになっている。懐かしくなつて左に本館を見ながら、昔の卓球場へ向かう道を歩き始め、ふと足を止めスケッチを始めた。私の心を和らげてくれる青い空と煉瓦色の本館と緑の芝生。ゆつたりと建つ本館は私の心の故郷のように思えた。

趣味である絵と卓球、そして成蹊を通しての人とのつながりをこれからもますます大切にしていきたいと思つた。

齊藤君子(文・47年)

祇絵の

煉瓦

影が残る煉瓦の本館は、大正十三年、戦火で焼かれ、卒業生、そして在校生を優しく見守る。懐かしくも温かく学ぶ喜び、生きていくために初めて覚えた卓球は、今でも私の楽しみの一つになっている。懐かしくなつて左に本館を見ながら、昔の卓球場へ向かう道を歩き始め、ふと足を止めスケッチを始め、私の心を和らげてくれる青い空と煉瓦色の本館と緑の芝生。ゆつたりと建つ本館は私の心の故郷のように思えた。

齊藤君子

DNR Medical Futility

たかはしよしき
高橋愛樹

ご紹介いただきました高橋でございます。

私はこれまで約四十年間、外科医として消化器外科や救急医療に携わり、また茨城県にある介護老人保健施設の施設長として、病に倒れた患者さんの治療に当たってまいりました。患者さんにはなんとか病を克服していただき、健康を取り戻してもらいたいと努力を重ねてきたわけですが、中にはいくら手を尽くしても助かる見込みのない患者さんも数多くおりました。とくに介護老人保健施設は高齢の方が中心なだけに、その思いを強くしております。しかし第二次大戦後、医療は驚くほど進歩を遂げてきています。昔ならとても助からないと思われた患者さんでも、人工透析とか人工臓器などによる治療はもとより、生命維持装置、補助装置によって蘇生される限界がどんど



ん拡大してきております。その結果、救命センターなどの集中治療室ではベッドに横たわっている患者さんの体经管が何本も挿入され、いわゆるスパゲティシンドロームの光景が当たり前のように見られるようになりました。

もちろんその先、リカバリーできればそれに越したことはありませんが、終末期を迎え、回復の道が絶たれる人にとって本当に必要な医療とは何なのか。ただ延命だけを目的にした医療に果たして意味があるのか論議があるところです。今日はこの無意味な蘇生努力をしないDNR (Do Not Resuscitate) と Medical Futility と考えられる患者にとって益のない医療について考えてみたいと思います。

・ Medical Futilityとは

死への道筋は急死とか進行悪化死、緩解・悪化死、遷延死などいろいろあるわけですが、いずれにしても人は死を避けて通れない。生きる者は生きる、死ぬ者は死ぬ。基本的に、助かる可能性のある者には積極的に対処することは当然であるが、どんなに手を尽くしても助からない者に対する蘇生努

力は意義ある生を意味しないから無益であるという考え方が Medical Futility の思想なのです。

Futility はラテン語の「漏れる」が語源です。自分の娘に、娘の夫を殺害させ、神々の怒りを買い穴の空いた桶で水くみを神に命じられます。しかし穴が空いた桶では水はくみません。穴の空いた桶による水くみは無益な作業ということ、futile という英語が生まれたのですが、やるのが無駄だということを言い表した意味であることには間違いありません。

アメリカで最も権威のある医学雑誌『JAMA』にそもそも「Medical Futility」という言葉が初めて載るようになったのは一九九二年のことです。から、そんなに古い考え方ではありません。もちろん当時の日本の医学雑誌には、まったく見当たりませんでした。もともと一九七四年『JAMA』に「死が予測される不可逆性疾病の末期では、CPR (心肺蘇生法) の適応はない」という考え方が示されたのが、Medical Futility の始まりといっているでしょう。これ以後、世界でさまざまなガイドラインが作られるようになりました。

日本では二十年も遅れた一九九四年あたりから論議され出しまして、翌九五年には、日本救命医療学会で Medical Futility をめぐるシンポジウムが開かれております。同じ年には日本救急医学会で心肺停止に心肺蘇生を行わ

ないという「DNR指示」に関しての検討も行われ、災害現場での Medical Futility の考え方として、トリアージタグについても討議されました。

トリアージタグは、人材や資源の制約が著しい災害現場では重傷者を緊急性によって分別し、治療の優先度を決めていくことを指します。そのため四色のマーカー付カードで、黒色は死亡または救命不可能な人に用いられ、経験から承認された世界的原則として認められていますが、冷酷と受け止められかねない面があり、日本では認識度低いと推測されていたが阪神淡路の大震災の時には意外と受け入れられていたようです。

・終末期医療について

災害現場に限らず終末期医療においても、DNR の考え方は重要になってきます。植物状態になった人に人工呼吸器をつけますと、確かに延命効果はありますが、この医療は患者の Quality of Life とはまったく関係ありません。寝たきり状態で重大な身体合併症を併発している痴呆の高齢者、九十歳を超えた認知症で人工透析を受け、その上糖尿病でインスリンを打っている患者さんなども、よく見受けられるところではあります。

認知症については皆さんもよくご存じのところだと思いますけれど、認知症になった人が長く生きるといいうケースは極めてまれです。もちろん、いない

DNR指
災害理
え方とし
も討議さ
タグは、
害現場で
別し、治
を指しま
付カー
不可能な
された世
ますが、
面があり
されてい
は意外と
、

いては皆
思います
長く生き
です。も

わけではありませんが、アルツハイマー型の中重度以上という病状では、平均余命は非常に短い。昔はあまり積極的な治療はされませんでしたので、栄養失調のような形で亡くなった方が多かったのかもしれない。

とくに終末期ともなると摂食不能、つまり食事を食べられなくなるという事態が生じます。こういうときに日本では胃瘻を作ったり、鼻から胃管を入れて栄養を補給するようなことを病院などでは必ずやります。こういう医療は今のところ日本だけで、欧米に行くとか余計なことではないのが、ごく当たり前になっているようです。

終末期における治療は、病院なり、担当科ではあらかじめ指針を作っておくこと、患者さん側にセカンドオピニオンをもらうことなどが大事で、これにより法的な免責を受けるケース



が最近、非常に多くなってきています。無駄な治療をしないで、患者さんが静かに息を引き取る上で大事なことは患者さん本人や家族の意思が前もって意思表示されていればスムーズに事は運びます。終末期の迎え方について本人が遺書でもいいですし、エンディングノートなどに自分の意思をはっきりと示してあげればいい。もちろん書いたものが無くても、患者さんに意識があり自分の意思をはっきり伝えられればいいのですが、意識がない場合はどう対処するかが問題になります。

家族の意思イコール本人の意志でないことも常に考えておかないと、後々訴訟問題に発展する可能性もあります。女房というのはしよせん他人なんだという考え方があります。子どもなら家族として認められるというのですが、女房は夫が病院に通い出したら生命保険に入ったなどというケースを私も見えています。夫婦というのとはもともと他人なのです。ですから終末期医療を考える上で、この辺のことも頭に入れておく必要があるというわけです。

アメリカでは、DNRの前もって意思表示がなければDNRの指示を実行することができるというガイドラインがしっかり決められており、Medical Futilityの環境は整っており、日本ではまだそこまではいっていないのが実情です。患者さんのためにどうしたらいいのか、昔は「あうん」の呼吸で家族とも話し合えたのですが、近

頃はそうもいかない。延命処置というのは、いったん始めてしまうとなかなかやめられません。やるのか、やらないのかは事前にはっきりさせておくことが非常に大事です。

不幸にして植物状態になったときに延命処置を希望するかどうかで、アンケートを取った調査があります。調査対象者自身に聞いた答えて、延命を希望するのはわずかに八・四%しかおりません。ところが、自分の配偶者のことになると二七・四%が延命を希望している。さらに自分の親については二五%が延命を望んでいる。本人の場合と本人以外の身内の場合では、相当開きがあることも、この問題を考える上で複雑なものにしていることがお分かりいただけると思います。



療については患者さん本人の意志、家族の思い、医者の判断など三者の気持ちがあつかりとかみ合わないとなかなか難しいとは思いますが、そのときにやはりMedical Futilityを考えるとということ、患者さんが生きていることの中身がどうなのかということを真剣に考えなくてはいけないということではないでしょうか。

後でいろいろな紛争の種を残さないためにも、生あるうちに終末期医療は何もしないでほしいなどと、意思表示をすべきだろうと思います。なにより、死ぬ瞬間まで意義ある生を送っていくことが大切なのではないでしょうか。

高橋胃腸科外科 (ブレメ・35年入)

略歴

- 昭和35年4月 成蹊大学医学部進学課程入学
- 昭和41年3月 昭和大学医学部卒業
- 昭和46年3月 昭和大学大学院医学研究科修了 学位記授与
- 昭和48年12月 昭和大学助手 外科
- 昭和60年4月 昭和大学助教授 救命救急センター
- 平成3年9月 昭和大学教授 藤が丘病院 救急医学科
- 平成18年12月 昭和大学名誉教授
- 日本臨床救急医学会評議員
- 日本救急医学会指導医
- 日本外科学会指導医
- 日本集中治療医学会専門医

患者さん
首の判断
とかみ合
思います
al Futi
首さんが
なのかと
はいけな
つか。

うな紛争
めるうち
ほしいな
つと思
息義ある
りではな
外科 (ブ

- 成蹊大学
- 昭和大学
- 昭和大学
- 修了 学
- 昭和大学
- 昭和大学
- 昭和大学
- 救急医学
- 昭和大学
- 学会評議
- 指導医
- 導医
- 学会専門

ゼロ摩擦への挑戦 ／ナノから省エネルギーに迫る

さき きなるお
佐々木成朗

本稿は平成20年4月23日開催の成蹊高等学校(旧制)同一窓会委員会(於ニュートールキョー桃杏楼)で行われた講演を要約したものです。

・はじめに
ただ今ご紹介にあずかりました成蹊大学理工学部の佐々木成朗(さききなるお)です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は二〇〇二年に本学理工学部の教員公募に応募して、運良くナノテクノロジーの専任教員として採用されて以来、本学に御世話になっております。

大学を取り巻く状況はここ数年で大きく変わっています。私が採用された時期は、工学部を理工学部にするという大改革が検討されておりました。私の最初の仕事は、日本全国の大学のトレンド、例えば環境、バイオ、ナノと言った売れ筋の学科を調べて新学科向けのカリキュラムを作成することでした。それ以来、学部・大学院の改革業務に携わっております。



カリキュラム関連では、教務委員にも長く携わりました。最近では学生気質が変わり、個々の対応にとまどう事ばかりです。また御父兄の皆様のご要望に対してどこまで対処すべきか判断が難しいケースも多くなってきました。社会と共に大学の役割も大きく変化しているということなのでしょう。

余談になりました。聴衆の皆さんにはあまり馴染みがないかもしれませんが、今日は、摩擦ゼロを目指す研究を紹介させて頂きます。

・ナノの世界

私は本学でナノサイエンスの立場から摩擦を極限まで小さくする研究を進めています。

ナノといってもピンと来ないと思います。一ナノメートルは十億分の一メートルの事です。原子の半径が〇・一ナノメートルぐらいですから、ナノメートルは原子サイズの長さの単位ということになります。もつとイメージが湧くように、人間を地球の大きさに拡大しても、原子はたかだか約一・六ミリにしかなりません。(人間の身長を一六〇センチ、地球の直径を一万二千八〇〇キロメートルとして、原子の直

径〇・二ナノメートルを拡大計算しました。)つまり、人間にとつての原子の大きさは、地球にとつての小さな虫程度の大きさにしかならないのです。このようにナノの世界はとてつもなく小さいことが分かります。

そんな極微の世界について、最近ではかなり研究が進み、いろいろな加工や制御が出来るようになってきています。同時に、ナノの世界で摩擦を制御する研究が必要とされています。

・摩擦研究の必要性

カーボンナノチューブという炭素原子で出来た筒状の物質があります。このカーボンナノチューブを表面から引き剥がす計算をしました。カーボンナノチューブと表面の間にはのりが付いているわけでもないのにねばねばして、なかなかはがれません。このねばねばがナノの世界の特徴なのです。極微の世界では、物体に大きな影響を与える力はもはや重力ではありません。質量が軽いため、露出している表面と表面の間に働く力のほうが強くなってしまうのです。したがって、ナノの世界でスムーズに物を動かすには、表面に働く力、つまり摩擦力や凝着力をきちっと評価してそれらを制御しなければなりません。このようにナノの世界で摩擦を低減する事が極めて重要な問題となります。これが摩擦研究の必要性の第一の理由です。

もう一つの理由は、経済問題です。摩擦を放置すると部品がすり減ったり、

ひびが入ったりして機械の故障の原因になります。ある機関の試算によると、機械の保全や部品交換に必要な費用を計算すると数兆円に上るのだそうです。故障を放置すると波及損失として更に二・五兆円かかってしまいます。結局全部合計すると約十一兆円、つまりGNP(国民総生産)の約三%に達するのだそうです。これは二十年前ぐらいの試算なので、同じ試算をするといまならもつと大きくなるでしょう。

以上述べましたように、摩擦を小さくする研究が必要な理由の一つは、ナノテクがものを小さくし過ぎたために微小な機械が摩擦で(ねばねばで)動けなくなるのを防ぐ工夫が必要だということ。もう一つは、機械を稼働する際、摩擦による無駄なエネルギー消費を防ぐ工夫が必要だということです。

・摩擦ゼロへの挑戦

ではナノテクノロジーの立場からどうやって摩擦を小さくすれば良いのでしょうか? 私たちは極めて簡単なコンセプトを考えました。床の上にはばまかれたパチンコ玉の上で物を滑らせること、滑りがよくなります。私たちはこれと同じシステムをナノサイズで実現しようと考えて、ナノサイズのボールをナノサイズのシートで挟んで滑らせてみました。その結果、このシステムが極めてスムーズに滑ること、つまり超潤滑性を有することが分かったのです。

戸の立て付けが悪いときに油を差し

りして機
ある機
部品交換
兆円に上
と波及し
かってし
と約十一
生産の
これは二
同じ試
きくなる
したよう
必要な
を小さく
摩擦で
を防ぐ工
一つは、
る無駄な
必要だと

の挑戦
クノロジ
を小さく
たちは極
ました。
コ玉のト
くなりま
テムをナ
て、ナノ
のシート
その結果
ーズに滑
すること
けが悪い

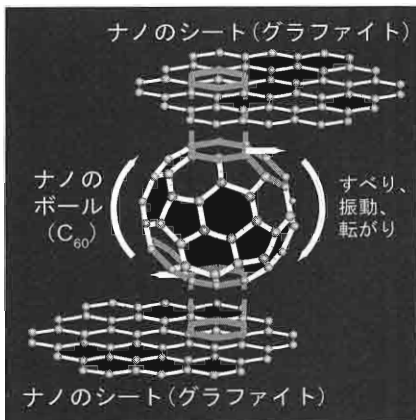


図1 ナノのシートでナノのボールを挟んでボールが転がるようにした構造の概念図

ます。この油は液体の潤滑剤ですが、これに対してシートでボールを挟んだシステムは固体潤滑剤として使うことが出来ます。具体的には時計の歯車や自動車のエンジンなど色々な機械部品の潤滑剤に適用できます。現在、大手各社が本システム(材料)を実用化する方向で話が進んでいます。

・超潤滑分子ベアリング

私たちの開発したシステム(材料)についてもう少し具体的にお話ししましょう。球の転がりを利用して摩擦を制御するボールベアリングの考え方を共同研究者とナノの世界に持ち込んだのは、私が成隊に赴任する一年以上前のことでした。

先ずカーボン(炭素)材料に注目しました。炭素は結合の仕方によってシート、ボール、パイプなど様々な形状の同素体を形成します。そこでこの中からシートとボールを組み合わせて、ボールが転がるような構造を作ったのです(図1)。

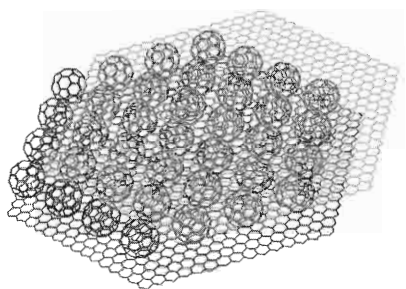


図2 グラファイトの上に配置させたフラーレンの上からグラファイトを載せたシステム

ナノのシートにはグラファイト(黒鉛)を用います。グラファイトは、頂点に炭素原子が一個ずつ配置した正六角形で出来た二次元のシートです。鉛筆の芯などに広く利用されています。鉛筆で字を書くとき、鉛筆を紙に押しつけて引きずって字を書きます。鉛筆の芯の構造は、ナノレベルに拡大するとシートが重なった積層構造です。従って鉛筆の芯を紙に押しつけて引きずると、紙に近い部分のシートが滑って剥がれて紙の上に残ります。これが文字です。「積層シートが滑りやすい。」という性質をうまく使えないだろうかと思いました。

ナノのボールには、炭素原子が六〇個つながってできたフラーレンを用います。サッカーボールを思い浮かべてください。サッカーボールは、一つの五角形の周りに六角形が五個つながった構造が周期的につながって閉じた曲面を形成して、球体になります。全く同じように炭素の五角形と六角形が組み合わさって世界最小のサッカーボールを形成します。このフラーレンを発売したクロトーとスモリーはノーベル化学賞を受賞しています。

次に、グラファイト(ナノのシート)の上にフラーレン(ナノのボール)を配置させてその上からグラファイトを載せたり、グラファイトのシートの上にフラーレンを入れたりしました。そうすれば、グラファイトのシートをずらすのに、ほんのちよつと力を加えるだけで済むはず(図2)。

・仮説から実現へ

最初は好奇心から始まったアイデアでしたが、共同研究者が実際に物を作って、上層のグラファイトをずらすのに必要な摩擦力を繰り返し測定したところ、紆余曲折を経て、最大静止摩擦係数・動摩擦係数が、共に測れないぐらい小さくなるシステム(材料)の開発に成功しました。つまり摩擦力を測定する装置の最小の目盛りよりも、小さな力になったという意味です。このように、本システム(材料)は、今のところ世界で一番低い摩擦しか生じない固体超潤滑システムである可能性が高いのです。

・実用化に向けて

潤滑剤は全ての機械に使用できますので、様々な業種の会社が実用化の打診をしています。例えば時計は長時間正確に時を刻まなければいけません。針が一秒一秒を正確に刻み続けるかどうかは、部品間の摩擦・摩擦の程度に

ルを形成します。このフラーレンを発売したクロトーとスモリーはノーベル化学賞を受賞しています。

次に、グラファイト(ナノのシート)の上にフラーレン(ナノのボール)を配置させてその上からグラファイトを載せたり、グラファイトのシートの上にフラーレンを入れたりしました。そうすれば、グラファイトのシートをずらすのに、ほんのちよつと力を加えるだけで済むはず(図2)。

・仮説から実現へ

最初は好奇心から始まったアイデアでしたが、共同研究者が実際に物を作って、上層のグラファイトをずらすのに必要な摩擦力を繰り返し測定したところ、紆余曲折を経て、最大静止摩擦係数・動摩擦係数が、共に測れないぐらい小さくなるシステム(材料)の開発に成功しました。つまり摩擦力を測定する装置の最小の目盛りよりも、小さな力になったという意味です。このように、本システム(材料)は、今のところ世界で一番低い摩擦しか生じない固体超潤滑システムである可能性が高いのです。

・実用化に向けて

潤滑剤は全ての機械に使用できますので、様々な業種の会社が実用化の打診をしています。例えば時計は長時間正確に時を刻まなければいけません。針が一秒一秒を正確に刻み続けるかどうかは、部品間の摩擦・摩擦の程度に

大きく関わってきますが、摩擦に大きくさらされる箇所に私たちの開発したシステムをメッキやフィルムとして使えないかという話もあります。きわめて長時間にわたって、安定した精密稼働が可能なシステムを提供できるのが、私たちの開発した材料の強みであり、結局このメリットから部品交換を最小限に抑えることが可能になるからです。その意味で、本研究は長期的には環境に優しいゼロエミッション技術に適用出来る可能性があります。

本材料のレジヤール向けの応用としてはワックスに添加する使用方法があります。最近では冬のオリンピックピックで、日本のスキーマスターが元気がありません。スキー板のワックスを扱っているワックス会社の社長さんがいらして、本材料を混ぜてみたいとのこと。ちよつと混ぜると結構滑りが良さそう。「うまくいった暁には、このワックスで日本の選手にメダルを獲ってほしい」と学生に話したら、「ナノを使ってメダルを獲るなんてズルイ。」と言われたりもしましたが、自分に全く無縁だと思っていたオリンピックピックにこんな形でも関わる可能性があるのなら、ワクワクします。

本材料は、カテーテルや内視鏡のような医療器具へのコーティング材料としても使えると思います。皆さんも内視鏡を飲まれたことがあると思います。が、のどの辺りで引っかかるのかなりつらいですよ。もし私たちの開発した材料でコーティングすれば、もつと

大きく関わってきますが、摩擦に大きくさらされる箇所に私たちの開発したシステムをメッキやフィルムとして使えないかという話もあります。きわめて長時間にわたって、安定した精密稼働が可能なシステムを提供できるのが、私たちの開発した材料の強みであり、結局このメリットから部品交換を最小限に抑えることが可能になるからです。その意味で、本研究は長期的には環境に優しいゼロエミッション技術に適用出来る可能性があります。

本材料のレジヤール向けの応用としてはワックスに添加する使用方法があります。最近では冬のオリンピックピックで、日本のスキーマスターが元気がありません。スキー板のワックスを扱っているワックス会社の社長さんがいらして、本材料を混ぜてみたいとのこと。ちよつと混ぜると結構滑りが良さそう。「うまくいった暁には、このワックスで日本の選手にメダルを獲ってほしい」と学生に話したら、「ナノを使ってメダルを獲るなんてズルイ。」と言われたりもしましたが、自分に全く無縁だと思っていたオリンピックピックにこんな形でも関わる可能性があるのなら、ワクワクします。

本材料は、カテーテルや内視鏡のような医療器具へのコーティング材料としても使えると思います。皆さんも内視鏡を飲まれたことがあると思います。が、のどの辺りで引っかかるのかなりつらいですよ。もし私たちの開発した材料でコーティングすれば、もつと

てきます箇所に私ツキやフ話もあたつて、システムをした材料からツトからが可能な本研究はユミッシンありまシャール向添加するのオリンまり元気がんがいのこのワが良さこのワを獲つて「ナノを住ルイ。」、自分に全ックに全があるの

てきます箇所に私ツキやフ話もあたつて、システムをした材料からツトからが可能な本研究はユミッシンありまシャール向添加するのオリンまり元気がんがいのこのワが良さこのワを獲つて「ナノを住ルイ。」、自分に全ックに全があるの



簡単に出入り出来るかもしれませんが、もちろん人体に与える影響の評価をクリアした上での実用化になりますので、長期的な視野での開発が必要になるでしょう。

・おわりに

以上お話ししてきましたように、私は炭素材料をベースにゼロに近い摩擦を達成するメカニズムの研究を進めています。このように応用を目標としつつも基礎的・理学的な側面を持つ研究は、大学にいてこそ遂行可能であり、本学で自由に研究させて頂ける環境に感謝しております。

一方、組織や教育の改革はまだまだ先が見えません。学生たちもどんどん変化しています。そうした日々のあれこれに気が遠くなることもしばしばですが、それもまた人生なのでしょう。

今日はそんな日常の合間に取り組んでいる研究の一部を紹介させていただきました。

ご清聴ありがとうございました。

成蹊大学 理工学部教授

プロフィール

成蹊大学理工学部 物質生命理工学
科 教授

1997年東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。

同年日本学術振興会特別研究員

2000年科学技術振興機構(JST)

—CREST研究員。

2001年JST—さがけ専任研究者を経て、2002年成蹊大学工

学部物理情報工学科専任講師に就任。

2003年から同助教授。2005

年から理工学部物質生命理工学科助

教授。2006年より現職。専門は

物性理論(表面物理学)、トライボ

ロジー、計算物質科学、「ナノメー

トル力学」の理論研究に従事。

05年文科省若手科学者賞、成蹊学学

術賞。06年UBSスペシャルアワー

ド、日本表面科学会論文賞。07年ト

ライボロジー学会論文賞など受賞多

数。

2007年には「International Scien-

tist of the Year 2007」に選出される。

平成二十年度(秋) 叙勲受章者

(敬称略)

瑞宝大綬章

有馬 龍夫(高28年) 元駐独大使

旭日重光章

本林 徹(高31年) 元日弁連会長

旭日中綬章

山田 宏(高31年) 下松商工会議所会頭

(本会調べに漏れがある場合には、お知らせ頂ければ幸いに存じます)

成蹊の秋



随想

成蹊会誌用箋

雲南省の少数民族と教育

やまね よしかず
山根祥利

1 中国との関わり

平成8年正月、当時大学2年の長男が、1年間の予定で北京第二外国語学院に留学していたので、その様子を見るため中国に行きました。長男はすっかり中国人になりきっている様子で、中国が身近に感じられたことを覚えています。その時出会った中国人学生の1人とその後長男は学生結婚をし、嫁の家族との交流も始まり、徐々に中国に親しむことになりました。しかし、今思えばその時決断しておけばと反省している中国語の勉強を始める訳でもなく、中国を深く知ろうとすることも

ありませんでした。それでも中国でビジネスを展開している友人が居て、その内の1人が上海の森ビルに日本人医師による日本人のための森茂診療所を苦勞して開設していたこともあり、一昨年には蘇州に同様の診療所を作ることに企画もしました。

また、私は東京たまがわロータリークラブの会員ですが、蘇州の東京事務所勤務する雲南省出身の丁さんがロータリークラブのメンバーになり、丁さんの紹介で雲南省出身で日本人と結婚し、日本雲南聯誼協会の理事長をしている初鹿野惠蘭女史を知ることな

りました。初鹿野女史は、雲南省の少数民族の出身であり、少数民族が置かれている中国社会の実情から少数民族の教育に情熱を燃やしている人であることが分かりました。

2 雲南省について

雲南省は中国の南西部、有名な国際河川であるメコン川の中流に位置します。国境線は4060km、南はベトナム、ラオス、ミャンマーと国境を接し、タイ、カンボジア、インド、バングラデッシュなどの国と隣接し、中国から東南アジア、南アジアに出る重要な通路になっています。総面積は、ほぼ日本と同じで38万km²あり、平均海拔は2500〜3000mで、16の自治州・市を管轄しており、人口は4176万人で、中国全土に居る少数民族55の内25の少数民族が雲南省に居住しており、そのうち14民族は雲南省だけに居住しています。

珍しい土地であり、北は雄大で美しい雪山・氷河があり、南は広い熱帯雨林と稀少な動植物があり、西は勢いよく流れていく三江並流の奇観があり、東は壮観なカルスト地形があり、中央部は高原湖と年中春のように温かい観光都市昆明があります。このように多

様な自然景観に恵まれ、西北部のシャングリラ、大理石で有名な大理など、美しい観光資源を持つところでは、

高地が多いため、気候は多様で、立体的に分布しており、省都昆明を代表する海拔1800〜2000mの地区は、冬は暖かく、夏は涼しい平均気温15度という中国の軽井沢のような高級観光地としての一面を有しています。

昆明市の人口は、608万人で、中国の有名な歴史文化都市の1つであり、国際航空路と国内航空路を持つ都市です。

雲南には早くから漢族が入っていましたが、13世紀モンゴルが雲南を征服してから以降、元、明、清各時代を通じて漢族、モンゴル族、回族、満族などが移り住んだという歴史を持っています。歴史的に民族分布は入り交じっているのが特徴です。古い時代、中国西南から東南アジアにかけては、モン・クメール系の人々が住み、その少し北にずれて重なるように農耕文化を持つカム・タイ系の祖先が川沿いに住んでいました。そこに北からチベット・ビルマ系の祖先が山伝いに南下し、比較的新しくはミャオ・ヤオ系の人々が移り住んだという歴史を持ち、それぞれの民族が持つ歴史に裏付けられ、

に恵まれ
瑛石で有
際を持つ
ため、気
おおり、
0〜2
、夏は
山の軽井
の一面を
は、6
史文化都
内航空
から漢
れモンゴ
元、明
ンゴル族
にという
に民族分
嶽です。
アジアに
不の人々
異なるよ
1系の祖
。そこに
の祖先が
はミャオ
こいう歴
持つ歴史



少数民族が入り組みながら独立した形で居住し、相互に長い時間をかけて影響しあいながら共生して今日に至っています。

3 少数民族の生活

雲南省の少数民族は、民族本来の適正に応じて海拔による住み分けが行われていきます。都市に住んでいる人達は別として、各部族の地域に住んでいる人達の多くは、山と谷と川、狭い平地という地域に閉鎖された形で長い歴史を刻んでいます。1000年前に祖先がここに来たとまるで昨日ことのように祖先のことを日常的に話している人達なのです。言語は民族語であり、象形文字がまだ使用されているという地域さえあります。ここでは、中国でありながら、中国語が通じません。その地形の厳しさから現在でも小学校さえ

ない地域が相当数あり、小学校があるところでも通えない子供達が多くいます。通えないというのは、金銭的なことと共に物理的に学校まで7〜8時間も10時間もかかるという制約からなのです。いわば現代のロストワールドなのです。民族の文化は様々であり、未だに通い婚で、父親が誰か分からないという民族もあります。

4 少数民族の小学校視察

4月中旬に初鹿野女史と共にロータリークラブのメンバー9名(私だけは妻を同伴)が蘇州に帰国していた丁寧にを加え、また中国語の通訳のためにその頃香港のイギリス系の法律事務所に研修生として勤務していた長男を呼んで昆明市から車で4時間の老木壩小学校を視察しました。この小学校は、5つの村と10の村民組合の6年制義務教育を担っています。この地域は、総人口1197人、年間平均収入は612元、貧困寒冷の山岳村です。この小学校は村委員会が唯一の完全小学校で、教職員8名(男5名、女2名)、炊事担当1名です。学校は6クラス124名(男児69名、女児55名)の児童が学んでおり、寄宿生は86名です。全員がリス族とイ族で、煉瓦と木造で出来た

校舎とコンクリート造の教職員宿舎1棟、煉瓦と木構造の生徒寄宿舎1棟で1994年に造られたが、1995年と2000年に地震があつて校舎が国家D級の危険建築物になり、先生と生徒の勉強と生活に危険性がある状況でした。私達は昆明から車で学校に向かいましたが、最近道路整備が進み、学校の入り口付近まで舗装されています。学校に着くと全員の小学生が校門まで両脇に並び歓迎の言葉を投げかけながら迎えてくれました。

早速教室を視察しました。1クラスは14・15名〜20名といったところですが、天井は雨漏りの後が歴然としており、裸電球1個、粗末な黒板、木製の机、椅子くらいしかなく、教科書の端はめくれ上がっていて、長い間使い回された様子が歴然としていました。学用品も明らかに不足している状況で、正にあれば屋というべき教室は日本の小学校から見ると比較することすら出来ない現状でした。

しかし子供達は、日本の小学校では教えないような難しい漢字の書き取りをきれいな字でしているのに驚きました。子供達の真剣な勉強の姿勢と真剣な眼差しからまず中国語を身に付けたという切実な姿勢を感じました。小

学校の先生は当然の事ながら民族語と中国語の両方が話せる人でなければならず、両方が出来る先生の人材不足があることを伝えられました。校長先生は33歳で、長男と同年代ですが、劣悪な状況で極めて一生懸命に頑張っている様子が分かりました。

視察にはつきものの雲南省政府の教育関係のNo.2をはじめ、関係する役所の役人と村長さんがずらっと同席するという状況でした。しかしお役人も視察や質疑応答について内容の制限は一切せず、我々の視察を歓迎している様子はつきり分かりました。そのためロータリークラブのメンバーであった丁さんと長男の通訳で直接子供達や先生達との質疑応答について全く自由なやり取りがなされました。

5 ロータリークラブとの関わり

ロータリークラブは、アメリカのカブで発祥した国際的な奉仕団体として世界でよく知られている存在です。

私は東京たまがわロータリークラブで奉仕プロジェクト委員会の委員長をしていることから、東京の地域の小学校と雲南省の少数民族の小学校との子供達と先生達の相互交流を通じて、日本の小学生の国際感覚を確かなものに

当然の事が話せる出来る先えられま男と同年て一生懸命になりました。そののののをはじめさんがついた。しについての視察を分かりまクラブのメの通訳で応答につされまし

クラブは国際的知られたまがわロエクト委から、東少数民族の相互交流の国際感覚



雲南省にて、筆者後列右端

することを考えました。中国は北京オリンピックの開催を契機に世界にその存在を強くアピールしました。日本の将来を担う子供たちには必然的に大きく関わらざるを得ない中国を考える人となって欲しいという願いからです。

そのため、雲南省と東京の小学校間で教育委員会承認の下、フレンドシップ協定を結び、継続的に相互交流をすることを企画、実行中です。

私の居住する泊江市の市立小学校の校長先生やPTAの人達とも既に話し合いを始めました。ロータリークラブが、このような足元からの国際交流を手始めに、雲南省の少数民族の小学生を通じて民族や人間の尊厳、教育全般

について深い理解と配慮をしながらささやかなものであっても、将来につながるボランティアの奉仕活動が出来れば良いと考えています。

6 成蹊教育との関わり

成蹊の少数教育、人と人との関わりを大切にする教育は、家庭教育と共に教育の原点であると考えます。教えることは、自主的に学ぶことの出来る人を創ることにあります。教育の原点であると考えます。そのためには、単に知識を習得することを目的とするのでは明らかに不足しています。まず事実を正確にありのままに観察する力を養うことから始めるべきであり、そこでの問題点や優れた点を発見し、それらの解決やその利用を促進し、人間社会に役立つ具体的な行動や更なる研究活動に活かすことが出来る人を育てることにあると考えています。

江戸時代既に日本人の識字率は当時の世界水準を超えていたと言われており、それが明治維新以降西洋の先進諸国に追いつくことを目標に自分が今日なまければ日本の進歩が1日遅れるという程の強い情熱を持って勉学に励み、これを支援する教育がなされた時代がありました。

中村春二先生の100年前の成蹊建学の熱い想いも、当時の日本の現状と将来を考えてのやむにやまれぬものだったことに想いを致すとき、教育立国として歴史を刻んできた日本人の学力の低下が指摘され、世界の評価がとみに低下し、日本の教育に警鐘が鳴らされて今、何かを始めなければならぬという想いがあります。

私は政治経済学部15回生ですが、当時の成蹊大学の教育内容を振り返って見ると、まず教授と学生の緊密なふれあいがあったことです。1年生の英語のクラスの旅行が春に設定されていたことが、友人関係の初めでした。私が所属していたCクラスの結末は、卒業30周年の式典で威力を發揮し、還暦を過ぎてもクラスの付き合いが続いており、恵まれた関係を作ることが出来ました。

ゼミナールは、3〜4年必須であり、私は、後に学長をされた瀬元先生のゼミに入り、学生は4名、聴講生1名の5名でした。ゼミ旅行、ゼミ合宿は毎年行っており、先輩、後輩との付き合いも極めて緊密なものでした。私が司法試験を志し、合格することが出来たのも一期上の康本健守さんというゼミの先輩がいたお陰です。その先輩は、

現在、東京、香港、シドニーでビジネスを展開しており、昨年は香港中文大学に康本スカラシップを開設し、また日本でも東南アジア、高校生を中心とする交流のためのかめのり財団を設立し、私もその一員として参加させて頂いているなど、一生の付き合いとなつていきます。私は学生時代全く不勉強でしたが、そこで得た学生同士、また学生と教授の緊密な関係こそが成蹊教育の原点であると感じています。大学からの付き合いであったにもかかわらず、小中高どこかで成蹊教育の洗礼を受けていることの意味が一生を通じてのバックボーンになつていっていることは間違いというのが現在の実感です。

7 成蹊法科大学院の教育

法科大学院は、司法改革の一貫として多様な人材を法曹界に送るための新しい教育機関として2004年に全国で開校されました。

成蹊大学法科大学院は社会人学生を積極的に入学させる学校として都内では有数の評価を受けており、社会人学生の割合は、約40%に及んでおり、会社勤めをしながら法科大学院に通い、司法試験に合格する人が多数いるのが特徴です。1学年50人定員、専任教授18名

香港、シ
おり、昨
フーシッ
南アジア
にめのか
の一員と
、一生
私は学生
で得た
系密な関
ると感じ
いであつ
こかで成
この意味
になつ
が現在の
大学院の
は、司法
を法曹界
として2
した。
科大学院
させる学
を受けて
40%に及
つ法科大
る人が
50人定員



で少数教育を実施し、新司法試験の合格者は2006年度11名、2007年度16名、2008年度17名の実績です。2008年度の合格率は平均を上回る38%で、早稲田大学を抜いて私大5位となり、多様な法曹を養成する法科大学院の設置目的に沿う未習者の合格者が、9名という実績を上げ全国74法科大学院の中でも高い評価を受けています。私も法科大学院の実務家教員として、開設から3年間刑事訴訟法Ⅰ、刑事法総合、刑事実務基礎、法曹倫理を担当し、4年目から現在まで法曹倫理とエクスターンシップを担当しています。その中で感ずることは、社会人を多く含む法科大学院生の中には、小学校か

らの受験勉強の弊害とも言える知識の多寡や単純に正解を求める者が相当数いることです。法律の実務は、何が正しいかではなく、解決のための選択肢としてよりふさわしいものは何かですか、ケースバイケースなものに、正解は何かを求めめるのです。

法科大学院は、法律の実務家としての適性を育み、必要な法律知識を身に付けさせると共にそれを創造的に応用して、複数の問題解決方法を考え、事案に応じた適切な方法の選択をする能力を身に付けさせることが求められます。つまり先入観なく実態を正確に把握し、分析し、そこから解決のための方針を立て、それに向かって実行するということです。このような教育をしようとするときには、個々の学生の資質、性格、バックグラウンドなどを十分に知らなければ適切な教育をすることは出来ません。

成蹊法科大学院では、学生1人1人に定まった机が与えられ、日曜祭日でも利用出来るという勉強する環境としては他の法科大学院と比べても恵まれた状況にあります。必須ゼミのようなシステムはないものの、少人数の講座で多い場合でも30名程度であり、1クラス20数名、演習であれば4〜5名と

いう授業を受けることが可能です。また自主的にゼミを組織し、演習室を利用して空き時間にはいつでも利用出来るという体制を取っています。質問についても教授が研究室に在室している限りは、オフィスアワーを設けることもなく自由に質問することが出来、教授もそれに応えています。

個人情報保護の観点から以前のように学生の出身校、家庭、家族構成、職歴などについてデータとして提供されることはなくなつたものの、個別に話している中で学生のバックグラウンドが徐々に見えて来ます。メールでのやり取りは、日常的となっており、その中で質問を受け、答えることなども科目によつてはなされています。

課題についてのレポートや法文書などについては、多くの教授が採点するだけではなく、具体的にコメントを手書きで書き加えるなどしてそのコピーを学生に返還して内容についての指導をしています。

そのような中で、学生は、司法試験に合格するための実力を付けることにとどまらず、社会人経験のない学生と社会人学生とが入り交じって議論したり、共同作業したりすることによって、より深い人間関係と人間に対する深い

洞察を得ることが出来る環境にあります。そのような環境の中で力を付け、単位を取得して羽ばたいて行く学生は、当然と言えば当然の結果を出していると思います。また、不幸にして直ぐに合格出来ない卒業生に対しても、わずかの利用料で自習室を提供し、卒業後についても熱いケアをしているところも成蹊法科大学院の特色と言えます。このような人間関係の下での教育こそが、本来の成蹊教育の原点に沿うものと考えています。そして成蹊教育を受けた1人として後輩達にその真髓を伝えて行くことが使命ではないかと考えている次第です。

雲南の小学校の見学をきっかけに、劣悪な環境の中で、先生と生徒の相当数が文字通り寝食を共にしながらの教育の実態を知りあらためて教育の原点を考えさせられました。ここでは、設備や教材の不足を遥かに超える全人格的な教育そのものがありました。

雲南の小学生に対するささやかな援助を進めると共にあらためて教育の原点に立ち返つて、成蹊法科大学院での教育について可能な工夫を積み重ねて行きたいものだと考えているこの頃です。

山根法律総合事務所(政経・41年)

が出来ることが出来る環境の羽ばたき、当然の結果、また、不卒業生に自習室をいケアを子院の特別な人間関係の成蹊教育として後ことが使弟です。

校の見学中で、先侵食を共りあらたれました。足を遥かものがあ生に對共には、成蹊可能な工たと考え

台事務所

王維

たがしらのぶひろ
田頭信博

王維という盛唐の詩人がいる。李白より二歳、杜甫より十三歳の年長という。

高校の頃、王維好きの漢文の先生に教わったので今でもいくつか暗唱できる。嫌々覚えた王維の詩が、五十歳を過ぎた頃から妙になつかしく貴く思えてきた。一人で王維の詩を口ずさむ時間もいえぬ心の安らぎと幸福感を覚える。私だけではないらしい。友人の中にも王維好きの人が何人かいる。

この詩人について少し調べてみた。詩仙李白、詩聖杜甫に比べ少し陰が薄い大関クラスの詩人かと思っていた。どうしてどうして、二人と同格の大横



綱なのである。唐代の評価は李白・杜甫を凌ぐ。明代に編纂された『唐詩選』には百二十八人の詩人、合計四百六十五首が選ばれている。その中で杜甫の五十一首、李白の三十三首、王維の三十一首が群を抜いている。

名門の出身である。弟の王縉おしんを含め何人も唐代の宰相が一族から出ている。本人も十九歳で科挙試験に首席で合格したエリート官僚である。それでいて人柄が優しく、人に親切なのである。役所に務めながら田園生活を愛し、絵画もよくした。人を押しつけて出世しようというタイプではなく、欲少なく淡々とした清らかさは誰からも好かれた。それでいて実力があるので皆が一目置く。

王維の人柄の良さを物語る逸話は数多い。

同年齢の異国からの留学生で、役人としては後輩の阿倍仲麻呂が自分より出世しても全然嫉妬しない。仲良くつきあっている。十歳年長で四十歳まで

山に隠り詩作していた孟浩然が長安にやってくる。貧乏で乞食姿のこの人物の詩才と人柄に感激した王維は、彼を兄と慕い官途につけるよう骨をおる。酒や米などの経済的援助までした気配がある。

安祿山の乱で捕虜となり、たとえ強迫されたにせよ、賊の官職についてののは反逆罪で死刑になっても仕方ない失態だった。それがわずかに官位を下げられただけで済んだのは、人々に好かれていた証拠である。この時後年宰相となる弟の王縉は、兄を助けるため自分の官職を捨てている。兄弟仲も良かった。

漱石は『草枕』の中で王維の詩を次のように紹介している。
ひとり坐す幽篁の裏 琴を弾じ復た長嘯しやうす

深林人知らず 明月来つて相照らす
ただ二十字のうちに優に別乾坤を建立りゆうしている。この乾坤の功德は「不如帰ほとけ」や「金色夜叉こんじきやしゃ」の功德ではない。汽船、汽車、権利、義務、道徳、礼義で疲れはてた後、すべてを忘却してぐっすり寝込むような功德である。

私は金融ヘッドハンターという職業柄、この二十一年間で一万余千人の金融界の人々とお会いした。多くの人が一

流と言われる日本、米英の大学を卒業されている。成蹊学園出身の人にも数多くお会いした。生き馬の目を抜くような金融界にもこの王維タイプの人が時にいる。このタイプの人に出会うとなんだか心が安らぐ。各大学にはそれぞれ校風がある。どういう訳か成蹊出身者の中にこの王維タイプの人が多い。なぜだろう、と長い間考えていた。

もしかしたら……！と。最近になって私は大発見をした考古学者のような胸のたかぶりを覚えた。もしかしたら中村春二先生は、この王維のような人物を育てたいと思ひ成蹊学園を創立されたのではあるまいか。文学、絵画に造詣の深い中村春二は「人物教育」を志した。先生が具体的に「理想とした人物」とは、実はこの王維だったのであるまいか。

そう考えるとなんの不思議もない。中村春二先生の教育精神を百年間脈々と受けついでいる成蹊学園から、王維のような人物が続々と世に出ているのは、まったく自然であり、あたりまえのことなのである。私はそう納得した。

(経・47年)

日本、米
成蹊学園
ハ。生き
もこの王
タイプ
々らぐ。
る。ど
この王維
、と長
……！
とした考
覚えた
は、この
し思い成
まいか
春二は
具体的に
はこの
こなんの
教育精
る成蹊
が続々と
自然であ
る。私

人 成 蹊 働 く

私が日本語教師になつた出会いと縁

水本 桂子



現在、私の名刺の肩書きは「日本語教師・各種セミナー講師」です。主な仕事の内容は日本語を母語としない人に日本語と日本の習慣などを教えることで、留学生に対して就職活動に必要な言葉遣い、履歴書の書き方、面接の方法、服装、電話での問合せ方法さらにはお辞儀の仕方などを教え、企業の外国人社員に対しては一般常識や生活習慣に関するあらゆる事、新入社員研修、ビジネスマナー研修などを行っています。私のように20年以上の企業勤務経験があり更に企業での管理職経験があるというのは同世代の日本語教師としては珍しく、その上企業内での社員教育の経験があることに加えて日本語教師として実際の教授経験があるという経歴を認めて頂き、現在は定期的に複数の私立と国立大学で留学生対象の就職セミナーの講師、企業に於いて

は海外から日本企業に就職した社員を対象とした研修の講師をし、不定期には企業内で来日間もない社員に日本語を教えています。

卒業後に入社した会社からの要請でアナウンサー養成学校へ通い人前で話すことを学び、社内の社員教育の仕事を担当し、その後転職した会社では企画の責任者と営業を任せられ、更に次の会社では毎週国内外の出張をこなしながら医療関係の営業や社員教育の責任者をしていました。日本語教師の資格は、約20年前に仕事の合間に夜間の日本人教師養成講座へ通い資格を取得したのですが、資格取得後に会社勤務と平行して卒業校の夜間のクラスに数年間勤務することにより日本語教師としての経験を積むことができたのです。

ところで、教授法などを学ばなくても日本人なら誰でも日本語を教えることが出来ると思われがちですが、「コーヒーが飲みたい」「雨が降る」というふたつの文章の助詞の「が」を「を」に変えると、「コーヒーを飲みたい」は意味が通じますが「雨を降る」は日本語として正しくありません。この理由を例文とルールを示して文法的に説明するのが「日本語教師の仕事」です。また、生徒さんが言葉を理解して使えるようになる様に実生活で良く遣う膨大な量の言葉を想定した例文を用意するので、講義の前にはかなりの準備を要します。更に、その為には通常の会

社内でどんな職種の人がどんな言葉を使っているのかを把握していることが強く求められます。

私が日本語教師になつた理由のひとつに、取引先のイギリス人社員の日本語学校の宿題を手伝った際に、日本語教師になることを強く勧められたことがあります。その他の理由としてオーストラリアのカウラ高校から成蹊高校への交換留学生の存在があります。

私が高校2年生のときに幼馴染のお宅に交換留学生のヘザーがホームステイをしたのですが、親同士が親しく、ホストファミリーに女の子がいなかったため、ヘザーと過ごす時間や様々な所へ一緒に行く機会が多々ありました。3ヶ月の滞在予定で来日したヘザーですが、日本語を勉強することを希望して交換留学生としては初めて日本語を学び1年間の留学生生活を送りました。そのヘザーに日本語を教えたのが成蹊で英語を教えていた父だったのです。その後、縁があつて次の交換留学生のジェニファーを急遽私の家で預かることになり、約1年間一緒に暮らすことになったのです。今考えれば両親は全く文化の違う国から来た言葉も判らない子供を突然預かることになったのですから心配や苦労もあつたと思います。しかし、これらのことが私にとっては大変良い経験となり、現在の私の仕事にも大いに役立っています。

さて、ヘザーが家族と来日した際に



は一緒に京都観光を楽しむなど彼女達との交流は今も続いています。私が会社を退職してからはヘザーの家に滞在する機会があり、その間にカウラへ行きジェニファー達に会うこともできました。滞在中、歯科医のヘザーの出勤日には私が夕食の支度をしたのですが、帰宅後には夕食の支度をしている私に話しかけて言い回しや発音を直してくれるなど、30年前の留学生とホストファミリーとしてのふたりの体験が大いに役立つて有意義で楽しい時間を過ごすことができました。その後もヘザーのお嬢さん達がシドニーの夏休み(12〜1月)を利用してそれぞれ私の家に滞在したり、シドニーで夏のクリスマスと一緒に過ごすなどお互いに行き来しています。今年もヘザーが友人と共に来日して私の家に泊まり、3人で国内旅行を楽しみました。この様に嬉しいことに30年前の成蹊での出会いが今も尚続いています。

(文・57年)



光を楽しみながらヘザー達に会う。その間、歯科医のヘザーの支度をの支度を回しや発前の留学のふたり義で楽しした。その後もヘザーシドニーでそれぞれお泊り年へは家に泊まりました。の成蹊です。

学校・年次会

のしごひ

プレメ同窓会 総会



去る4月27日(日)午後1時より平成20年度のプレメ同窓会総会を吉祥寺第一ホテル7階の「春日の間」に於いて開催致しました。

山内則子副会長の開会の辞に始まり磯部茂会長の挨拶の後、



会長が議長となり議事進行となりました。

報告事項として平成19年度の「決算」と同窓会の現状について報告し、承認されました。

次に成蹊会会長の相川一成様から成蹊会の現況等、ご挨拶を頂きました。

協議事項と致しましては、医歯学進学課程(プレメ)同窓会の今後の動向について討議され成蹊会との組織の中では特異な存在ではあるが、従来通り協力し、親睦と情報交換を深めようということになりました。

次に学校法人成蹊学園の百周年記念寄付として、同窓会会計から50万円を一括寄付することから決定致しました。

総会終了後直ちにプレメ12回の昭和大学名誉教授の高橋愛樹先生に「DNR&Medical Futility」という演題で恒例の講演をお願いし大変感慨深く拝聴致しました。

先生のご略歴や講演の内容については成蹊会誌の月号に掲載されております。

3時半頃より顧問の山本龍二先生の乾杯で懇親会に入りました。

早速故松尾名誉教授夫人の倭文字様よりご挨拶を頂き、出席者一同80才が過ぎてもかくしゃくとしたお姿に驚きと同時になつかしさを感じました。しばし歓談の後出席者16名全員に、自己紹介を兼ね近況報告を頂き弥が上にも会は盛り上りました。プレメ会員は年々減少しているわけですので旧交を温めるべく次回からは多数のご参加を期待しております。

なお懇親会には成蹊医会の方野村幸史先生のご参加を頂き有難うございました。

最後に、成蹊会の田上尚道常務理事と高橋道哉事務局長には大変お世話になり誠に有難うございました。

磯部 茂 (プレメ・29年入)



大学卒業 三十周年



平成二十年五月二十四日(日)午後三時半より、品川の開東閣において、昭和五十三年成蹊大学卒業の全学部合同「大学卒業三十周年記念同窓会」が、参加者一九八名と来賓八名を迎え開催されました。当日の天気予報は「晴れのち雨」という、絶対に雨は覚悟しなければならぬ状況でしたが、幸い良いお天気の中、受付、開場ができました。

一般には公開していない開東閣のバラ園の散策も事前にご案内してあったため、受付の出足も早く、庭園で満開のバラをバックにスナップ写真を撮ったりする優雅な時間を過ごしている中、予定通り三時半に、全員メインホールに集合し、司会の岡村知典さん(工)の進行で会は始まりました。代表幹事の磯部総一さん(経)の開会の挨拶に続き、橋本竹夫成蹊学園専務理事、相川一成成蹊会会長のご祝辞を賜り、栗田恵輔成蹊大学長



の乾杯のご発声と共に開宴となりました。メインルームとサブルームに分かれ、おいしいお料理と飲み物片手にあちこちに輪ができて、あの大切な四年間を同じキャンパスで過ごしたという親近感を感じ、盛り上がりを見せた歓談タイムでした。最後に再度メインルームに集合し、清水利剛さん(経)のリードの下、校歌斉唱でお開きとなりました。終了間際に降ってきた雨の中、グランドプリンスホテル新高輪へ移動し、二次会も盛会の中、終了することができました。

今回は写真撮影ナシとしましたが、志磨克彦さん(工)と鳥越美恵子さん(工)にご尽力頂き、個人で撮った写真をネット上で共有できるシステムを利用して、各自で好きな写真を手に



竹のご発声した。メインルームに分かれ、飲み物片手、あの大切な四年間を同じキャンパスで過ごしたという親近感を感じ、歓談タイムに集合し、清水利剛さん(経)のリードの下、校歌斉唱でお開きとなりました。終了間際に降ってきた雨の中、グランドプリンスホテル新高輪へ移動し、二次会も盛会の中、終了することができました。

今回は写真撮影ナシとしましたが、志磨克彦さん(工)と鳥越美恵子さん(工)にご尽力頂き、個人で撮った写真をネット上で共有できるシステムを利用して、各自で好きな写真を手に

入れることができる様にしました。個々にアルバムを増やすことができ記念になったことと思えます。



この会の幹事をお引き受けして、幹事二十八名が、それぞれの能力を発揮し、自分の担当に責任を持って当たれば、全体がきちんとまとまることに感激しました。さすがに社会に出て、三十年も生き抜いてきただけのことはあると思える頼もしい同期の集まりでした。この会を無事に終えることができ、その一役を担えて良かったと実感しています。そしてバックアップして頂いた成蹊会の長岡敏郎様・高橋道哉様に感謝しております。この会をきっかけに、同期の絆が深まり、また多くの皆様にお目にかかる機会がありますことを祈りながら、ご報告とさせていただきます。

西村方子 (文・53年)

高校第3回 クラス会



30年以上にわたり毎年集う高校第3回クラス会。平成19年は卒業55周年に当たるので母校の10号館12階ホールにおいて6月17日(日)に開催した。この際



会場の手配・物品の提供・会場のパネルの作成(写真参照)等、成蹊会事務局に多大のご支援を頂いた。また、全員に身边雑記、人生論、体調、趣味、自慢話等何でもありのコメントを依頼したところ大多数から寄稿されたが期待されたお惚気が皆無だったのは残念であった。コメント集は当日配布(欠席者のうち希望者には郵送)したが席上では語り尽くせないお互いの近況も知ることができた。当日は過去最高の53名の出席があり、久しぶりの母校の現況を目の当たりにして話が弾んだ。

平成20年は6月20日(金)、日立目白クラブで開催した。今回は初めての平日昼間の会のことで、未だ各方面で活躍中の者もあり出席者は37名であった。会は冒頭、前回以降に物故された青山博次郎先生(中学3年時A組担任)と尾島護悦君の霊に黙禱を奉げた後、久しぶりの出席者から御無沙汰の弁を兼ねた近況報告、療養中のクラスメートの病状報告、いつもの一言居士の発言等々、話は尽きずアットという間に二時間余は過ぎ来年の再会を約して散会した。以上、二年分まとめて報告いたします。

阪田悌郎 (高・27年)

蹊電会



平成20年6月28日(土)、恒例の蹊電会特別講演会、および総会・懇親会が、それぞれ学園史料館および大学10号館12階ホールで開催されました。当日、13:30~14:45は特別講演で、講師は富山県立高岡工

芸高等学校校長の林恵彰氏(5回卒)、演題は「工業高校におけるものづくり教育」です。昨今の若者の「工学離れ」が叫ばれる中、同校では基礎的な実習を重視してものづくり教育を実践していること、また、「工学離れ」の原因などが述べられました。講演後の質問時間でも活発な質問が相次ぎ工学教育の改善への関心の高さが偲ばれました。

その後、15:00~17:00に総会並びに懇親会が10号館12階ホールで開かれました。

冒頭に、平成20年1月8日ご逝去された川島章弘先生に全員で黙禱を捧げました。また、平成17年1月10日にご逝去された鳳誠三郎先生(旧制成蹊高校理科甲類六回)の墓参会ならびに故先生を偲ぶ会が、平成19年5月26日、銀座八丁目「銀座天国」にて開催されたことの報告がありました。さらに、新しく評議員に就任した41回生の成田昌平さん、43回生の福嶋純一さんの紹介がありました。議事として、理工学部への改組に伴う蹊電会の対応策としての新会則の説明が1回生の前田則一さんからあり、電気電子工

寺学校校、演題は「ものづくり教育」です。昨今の若者の「工学離れ」が叫ばれる中、同校では基礎的な実習を重視してものづくり教育を実践していること、また、「工学離れ」の原因などが述べられました。講演後の質問が相関の関心の高さが偲ばれました。その後、15:00~17:00に総会並びに懇親会が10号館12階ホールで開かれました。冒頭に、平成20年1月8日ご逝去された川島章弘先生に全員で黙禱を捧げました。また、平成17年1月10日にご逝去された鳳誠三郎先生(旧制成蹊高校理科甲類六回)の墓参会ならびに故先生を偲ぶ会が、平成19年5月26日、銀座八丁目「銀座天国」にて開催されました。さらに、新しく評議員に就任した41回生の成田昌平さん、43回生の福嶋純一さんの紹介がありました。議事として、理工学部への改組に伴う蹊電会則の説明が1回生の前田則一さんからあり、電気電子工



学科の廃止後も電気電子系研究室卒業生を中心に会員を募集して行くことが承認されました。引き続き、懇親会に移り、萩原会長の挨拶、桐澤先生の音頭による乾杯、電気電子工学科齋藤主任教授の挨拶、出席された桐澤、齋藤の両先生の挨拶、4回生の青木真徳さん、5回生の印牧さん等の近況報告等があり、和やかに進行して午後5時に記念撮影の後にお開きとなりました。

なお、当日の出席者は、以下の通りです。

恩師の先生..

桐澤潔先生、齋藤洋司先生
卒業生：明山哲（1）、石郷岡猛（1）、前田則一（1）、森山善弘（1）、大島庸元（2）、大久保泰之（3）、風間誠（3）、青木真徳（4）、印牧泰治（5）、小島康史（5）、林恵彰（5）、津田野栄一（6）、松野信夫（6）、瓜生芳久（8）、菊池武彦（9）、島田寿正（11）、江幡真（19）、萩原秀治（19）、濱田裕久（22）、佐藤昌代（32）、川田宣仁（40）、成田昌平（41）、川嶋忍（42）、近藤祐一（42）、樋口涼馬（42）、前島洋子（42）、福嶋純一（43）

石郷岡猛（工・41年）

横手長治先生の 傘寿を祝う会

去る八月三十日、ゲリラ雷雨等天候不安の中、「横手長治先生の傘寿を祝う会」を開催致しました。先生は中学校で四回、高校で一回、計五回担任をなさいましたが、最後に受け持たれたのが、戦後のベビーブーマー世代で、成蹊始まって以来の前代未聞のI組というクラスでし

た。そのI組生徒も昨年還暦を迎え、先生と一緒に祝いをお願いし、又I組だけでは寂しいとの声で同学年の中学F組、更に二十九年、三十二年、三十五年中学卒業の諸先輩方にも声をかけ、先生のお嬢様お二人を含め六十一名参加の盛大な会となりました。

根岸孝彰先輩の祝辞、礎本勘二先輩の乾杯で会は始まりました。問題児？だった故に、先生のお世話になったという思い出話が多く、生徒の悪戯にシニカルな弁舌を以って、泰然と対処されていた姿を思い出しました。

お嬢様二人を従えた先生は大変お元気で、現在はシェイクスピアと源氏物語を読み返しているらしいとのこと、読書の次



20年卒の先輩方と先生

に好きなゴルフは百を切ることを目指していらつしやるのと、一番好きなお酒は益々強くなっていらつしやる等、ユーモア・格言を交えてお話になりました。先生の脳細胞の若さに感心致しました。お手本になるような奈生のお暮らし方に、改めて素晴らしい先生に学んだものだと思います。

各世代思い思いに旧交を暖め、和やかで楽しい会となりました。又、会場となった自由ヶ丘のレストラン、パール・デイ・ヴィノは同級生山崎哲三さん経営、オーナー自ら手作りの鴨鍋が供され好評でした。

お洒落な先生に薄紫色のカシミアセーターをプレゼントし、参加者はオリジナルロゴ入り特注ワインをお土産に散会となりました。次回は米寿のお祝い、再会を約束して...

松永いく子（高・41年）



浅野ゼミOB会 (蹊ディスコース研究会)

野ゼミ ディス

この研究会は、一九九七年に文学部英米文学科の浅野雅巳先生によって発足され、英字新聞・雑誌・広告という英語マスメディアの言語表現を分析することによって、マスメディアのディスコース(言説)がいかに密接に私たちの日常生活に関連づけられているかについて読み取り、話し合う研究会です。単なるテキスト分析にとどまらず、言語使用は「行動」であるという観点から、マスメディアの言語表現の具体的な影響力についても話し合われ、研究会の参加者は多くの刺激を与えられています。現在は、浅野ゼミOBが中心となり、毎年2回、主に3月と8月に成蹊大学の教室を借りて開催しています。研究会では、浅野先生のディスコース分析についての講演とそれについての話し合いの後、研究発表、実践報告、英語教育法の工夫、海外研修報告など参加者による

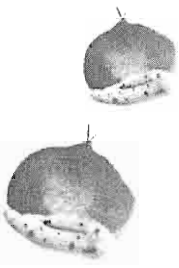
研究会は、英米文化によって発せられた言語の分析によって、ディスコースに私たちの生活がどのように関わっているのかについて話し合う。現在は、毎月、成蹊大学に開催している。浅野先生のディスコース分析についての話し合いの後、実践報告、海外研修報告など参加者による



自由な発表が行なわれます。浅野ゼミOBの交流の場にもなり、研究会後の懇親会では、色々な分野で活躍しているOB、また学生時代に培われた社会や研究に対する関心を持ちつづけているOBが再会し、心を開いて話し合う楽しく貴重な機会となっています。

連絡先
rike@arion.ocn.ne.jp

渡部敬子(文・57年)



高校卒業20周年



平成20年9月20日(土)、ホテルオークラ東京別館「メイプルルーム」にて、成蹊高等学校第39期卒業20周年同窓会を開催致しました。強い勢力を有した台風13号が、東日本の南海上に進路を取っていたため、無事に開催ができるのか、不安を抱えながら当日を迎えましたが、参加者全員の日頃の行いが良かったのでしよう、天候は朝から快晴に恵まれ、卒業20周年同窓会に相応しい一日となりました(我々幹事一同は、「ほっ」と胸を撫で下ろしながらの会場入りとなりました)。

うな形で貢献できるのか、改めて考える大変良い機会となりました。また、本同窓会の開催に当たっては、例年通り、高等学校卒業当時の担任の先生方もご招待申し上げ、青柳先生、桑本先生、齋藤先生、武井先生、平岡先生の5名の先生方にご参加いただきました。中学校入学時より6年間担任を務めていただいた桑本先生より、先生方を代表してお言葉を頂戴しました。お話を伺いながら、卒業後20年間に自分が成長できた部分に誇らしさを感じると同時に、お言葉の最後に我々卒業生に対する応援のメッセージを頂いた時には、改めて先生方の「偉大な背中」に触れ、今後も自己鍛錬を積み重ね、人間として成長していくことの重要性を強く認識しました。その後、成蹊中学・高等学校同窓会大場副会長に乾杯のご発声を頂き、歓談へと移りました。久々に会えた多くの友人達・先生方へ近況報告をし、クラス毎の写真撮影に時間を追われている内に、あつという間に閉会の時間を迎え、全体の集合写真を撮影していたというのが正直な感想で、思い出話をゆつくりとする暇もありませんでしたが、成蹊という母体をベースとして、こうして多くの同窓生が集える幸せを噛み締めることができました。



今後とも、同窓生間で切磋琢磨し、絆・ネットワークをより強固なものとしてゆき、成蹊学園全体の発展に貢献できるように努力していきたいと思えます。最後になりますが、今回の同窓会を開催するにあたり、成蹊学園・成蹊会よりご支援を賜りましたことに、改めてこの場をお借りして、御礼申し上げます。

第39期 代表幹事一同

広蹊会 (廣野ゼミOB会)



総会・廣野先生夫妻金婚式のお祝い
9月20日(土) 有楽町・ニュートーキョー本店9階ラ・ステラにて平成20年度広蹊会総会を開催いたしました。今年度は廣野先生夫妻の金婚式の年にあたりそのお祝いの場も兼ねました。広蹊会はこの数年毎年欠かさず総会を行っており、懇親会中心の「パーティー形式」と学生時代そのままにテーマに基づく勉強会としての「ゼミ形式」を

併せて開催する「パーティー形式」と学生時代そのままにテーマに基づく勉強会としての「ゼミ形式」を



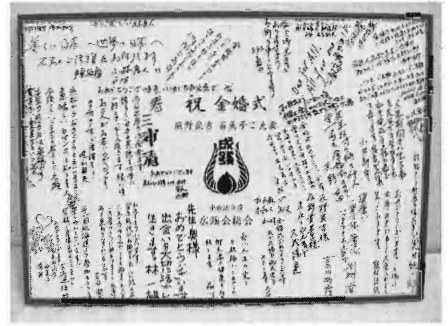
蹊会 廣野ゼミ



・廣野先生
9月20日(土) 有楽町・ニュートーキョー本店9階ラ・ステラにて平成20年度広蹊会総会を開催いたしました。

併せて開催する「パーティー形式」と学生時代そのままにテーマに基づく勉強会としての「ゼミ形式」を





交互に行なっており、今回はパーティー形式でした。当日は、56名のゼミOBが集まり、パーティーで歓談しつつ、各年代が順番に先生ご夫妻のテーブルを囲むなど、様々なかたちで旧交を温めることができました。

また、会のメインイベントとして、先生ご夫妻の結婚50周年を祝い、花束と旅行券が贈られました。旅行券は現在も頻繁に海外出張されている廣野先生の活躍を支えてきたのは奥様であり、奥様とゆつくり旅行を楽しんでいただきたいと思います。当日の気持ちからでした。また、当日参加者で金婚式のお祝いのメッセージを「寄せ書き」して、額に入れプレゼントしました。

更に今年は、OB会の活性化をねらった新企画として、初の

会報誌「ゆめ吉くらぶ」を制作し第一号として総会の案内状とともに全会員へ送付しました。

「ゆめ吉くらぶ」のタイトルは、先生の「吉」の一字と、全員のこれからの可能性を表す「ドリーム」夢、交流を表す「集まりくらぶ」の3語を合わせてネーミングしました。

「会長挨拶」「廣野先生からのメッセージ」「ゼミの思い出」「幹事会より」と盛りだくさんの内容に加えて、金婚式のお祝いを兼ねて「先生と奥様のお二人のロマンス」という学生時代に聞くことができなかったエピソードなども記事にしました。今後毎年1回のペースで発行する計画です。

清水和久(経・平5年)

第9回全蹊オープンゴルフ



この大会は、昭和41年高校卒団塊世代のゴルフ好きがクラス持ち回りで年一回開催をします。今年の幹事はD組。千葉の鳳琳CCで10月2日に行われ

ました。台風15号の接近で前日までやきもきさせられましたが、メンバーの日頃の行いの良さが天に届いたようで、当日は絶好のゴルフ日和となりました。

総勢38名。各クラスの参加人数はばらばらでしたが、クラスの誇りをかけて皆大いに張り切ったようです。参加人数の関係でクラス対抗の順位は、上位4名の平均スコアで決めました。結果は、優勝は平均スコア75・6のG組で、個人優勝もG組の山田正彰君でした。そして、準優勝は毎年最も参加メンバーが多いI組で平均ストローク76・1でした。BGは、I組の



東淳一君でした。

80歳になられたI組担任の横手先生も毎年お元気に参加をされています。「まだ、20年はゴルフが皆さんできますよ」とお話になっておられました。われわれの良き人生のお手本を示してくれています。感謝の気持ちでいつまでもご一緒させていただきたいです。

さて、幹事D組は、いまだ優勝経験がありません。ゴルフ幹事は当初優勝クラスが担当していましたが、偏ってきたのでいつしか持ち回りになってしまいました。今年のD組は力強いメンバーがそろったのですが、入賞を逃しました。来年は大いに期待したいと思います。皆様の参加もお待ちしております。友と楽しくプレーできた一日でした。

鈴木亨(高・41年)

高校卒業10周年



去る10月11日(土)午後2時より午後4時30分まで、成蹊高



等学校第49期卒業10周年同窓会を大学10号館12階ホールに於いて開催いたしましたので、ご報告いたします。高校卒業生126名、担任の先生方を含むご来賓10名の計136名の方々にお集まり頂きました。

- 式次第は以下の通りです。
- 司会：関根英介 (D組)
- 祝辞：橋本竹夫成蹊学園専務理事・相川一成成蹊校友会会長
- 乾杯：成田洋二 49期学年主任 (A組)
- ビンゴ大会：岩田理恵 (F組) 田中佳輔 (A組)
- 先生方から一言：各クラス担任の先生方より
- スライドショー「高校時代の思い出」：原周太郎 (C組)
- 校歌斉唱



- 第49期卒業10号館12階ホールにて開催いたしました。
- 担任の先生方を含むご来賓10名の計136名の方々にお集まり頂きました。
- 式次第は以下の通りです。
- 司会：関根英介 (D組)
- 祝辞：橋本竹夫成蹊学園専務理事・相川一成成蹊校友会会長
- 乾杯：成田洋二 49期学年主任 (A組)
- ビンゴ大会：岩田理恵 (F組) 田中佳輔 (A組)
- 先生方から一言：各クラス担任の先生方より
- スライドショー「高校時代の思い出」：原周太郎 (C組)
- 校歌斉唱

閉会挨拶・跡部清成 成蹊中学教頭 (D組) (敬称略)

同窓会終了後、午後6時より午後8時まで、吉祥寺駅北口「HUB」において2次会を開催いたしました。2次会からの参加者も多数おり、1000名を越える盛大なものとなりました。現在、同窓会スナップ写真約250枚をヤフーフोटにて掲載中です。

それでは、またお会い出来る事を楽しみにしております。
*当日の集写真真を成蹊写真館に掲載しています。合わせてご覧下さい。(成蹊会掲示板・写真館参加申込)
関根英介 (高・平10年)

小学校卒業 30周年

春ごろのある飲み会の席だったと思う。誰かが「そろそろ同窓会やらないな」とつぶやいた事から始まった。同窓会というのとはそんなに楽しもうが、その一言がこんなにも楽しい時間をつくるきっかけになったとは。

10月25日第2学生食堂にて全クラスの同窓会を行った。

今回は小学校の新校舎が出来た!というのもあって会が始まる前に新校舎見学ツアーを行った。我々が6年間過ごした校舎がなくなつたのは少し寂しいものの素晴らしい校舎を見て感激。理科室もなくなつてカエルの卵が一杯だった六角池もない。トンネル山だけは健在で一同ほつとした。

星野先生、清水先生、神林先生、大塚先生、亀村先生、田植先生をお迎えして、澤登君の乾杯で始まり浜口君リードの校歌斉唱で会は終わった。
たった2時間だったが最高の



時間だった。先生が一人ずつお話になると、40歳を過ぎたオジサン、オバサンは小学生にもどり、食い入るように目を光らせて話を聞いていた。

先生方の話し方はしぐさ、目つき、手の動き、30年前とまったく変わらぬ。もう1回授業を受けてみたいと思った。

即席の企画だったが約60名が集まり全ての先生方もお越しいただき、大変盛り上がった。
お越し頂いた先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。
森 一恵 (小・55年)

大学卒業20周年

昭和63年3月卒業生の大学卒業20周年4学部合同の同窓会が11月1日、母校成蹊大学10号館12階ホールにて開催されました。司会を麻生薫子さん(文学部)に、開会の辞を佐藤正博さん(工学部)にお願いし、ご来賓としてお迎えした橋本竹夫成蹊



文学部



工学部



法学部



経済学部

学園専務理事並びに相川一成 成蹊会会長から祝辞を頂戴し、栗田恵輔成蹊大学長の乾杯のご発声で開会されました。
約90名の同窓生が集い、懐かしい仲間との再会に会場のあちこちで楽しい歓声があがり充実した時を過ごすことができました。最後は、校歌を声高らかに歌い、代表幹事の佐藤淳之

さん(工学部)より挨拶をいただき、会を締めくくりました。開催の準備は口コミでの情報収集が大半で、細心の注意を払っていました。至らない事も多々ありましたが、多くの方より参加してよかったという言葉をいただき、頑張った甲斐がありました。
次回は10年後の30周年ですが、

(工学部) 会の準備が大半で、ありがとうございました。また、頑張りました。次回は10年



今回の出席者は勿論、今回は参加が叶わなかった同窓生にも再会できることを楽しみにしています。

幹事一同

大学卒業40周年



去る11月3日、政治経済、工学部合同「大学卒業40周年同窓会」が大学10号館12階ホールで開催された。開宴前に学内見学ツアーが行われ、当日は大学授業日であり現役の学生に紛れ新設された情報図書館を始め、大学・学園を歩く中、その変貌ぶりに驚きの声があがった。工学

部は当日の授業参観も行い、夫々40年前の学生に戻る体験が行われた。

パーティーは齋藤悠・田辺素子君の司会のもと、別所聰平幹事長より卒業総数588名、参加者170名を超え3割となったこと、この日のために遠方から駆けつけた林昭一、高橋義郎、濱谷和男、千葉芳繁、小熊勇三、竹内正、木村明、森本信彦、三浦秀敏、草葉まもる君が紹介され、盛大な拍手で迎えられた。ご来賓は政経学部で「ゼミ」を担当された、新井益太郎先生、針生誠吉先生、肥後和夫先生、廣野良吉先生、別府祐弘先生、増地昭男先生、工学部からは飯田芳雄先生、池田正徳先生、黒田道雄先生がご臨席され、恩師に同窓生が駆け寄る姿が印象的であった。大学からは栗田恵輔学長が挨拶され大学設備はほぼ整備された、成蹊大学では特に「英語」を重視している点が強調されました。成蹊会からは相川一成会長、政治経済学部同窓会吉野雅晴会長が参加され、相川会長の乾杯で開宴したが、63歳年金満額支給の年齢にしては食欲旺盛、すぐに完食したことは幹事一同ドキドキ・ハラハ



ラするとともに、まだまだ若いを実感した次第です。

その後、思い出写真投影、学園の歴史投影、大竹茂君(写真)・脇昌彦君(絵画)による趣味紹介、小尾幹男君による海外で活躍している相沢、大野、中村君の紹介等々盛り沢山であったが、グリークラブ・混声合唱団のリードによる校歌斉唱、田上尚道君による終了挨拶まであつという間のひとときであった。

最後に幹事の皆様方の熱意溢れる努力並びに成蹊会のご支援・ご協力に深く感謝いたします。5年後またお会いいたしましょう。

別所聰平(政経・43年)

体育会・文化会・OB会 趣味のつどい

写蹊会写真展



昨年は桜祭の起源から指折30年、有志の方々が立ち上げた写真展も桜祭と共に歩み、節目となる年の催しを盛大に盛り上げようと会員一同全力を注ぎましたが、休む間もなく、今年は写蹊会が組織されてから10周年目に当たり、昨年を上回る結果を出さねばならないと、会員一同総力を挙げて作品造りに打ち込みました。

当日は散り行く花の風情を求め、多くの方が来訪されたこともあり、会場が終日盛会だったことは、訪展された大凡30名のお客様のうち、例年の約2倍に当たる11名の方々が、受付の奔走の功もあって記帳をされたこ

とが物語っております。

一方作品数も過去最高の97点を数え、内容的にも風景描写の中に動的画像が描かれ、このアクセントで画面が活性化される作品が昨年と共に増加の傾向にあり、表現力の多彩化が伺われました。この他スナップや鳥類の割合が増加し、動作の一瞬が象徴的に捉えられたり、作者の表現したい意図と温かい心情が描かれ、作品の前で暫し立ち止まってお客様もかなり居られた様で



物語っております。

この他、内容の多彩化が伺われ、昨年と共に表現力の多彩化が伺われ、この他スナップや鳥類の割合が増加し、動作の一瞬が象徴的に捉えられたり、作者の表現したい意図と温かい心情が描かれ、作品の前で暫し立ち止まってお客様もかなり居られた様で



す。

冒頭に97点出展と述べましたが、この内4点は前日の会場造りや、当日会場整備と搬出にご協力頂いた大学写真部有志の作品で、これからも写真を媒体に相互交流を深めて行きたいと思えます。

この度の写真展運営にお力添え頂きました。学園の皆様によく感謝申し上げます。

写実会世話人一同

成蹊ラグビークラブ 桜祭り



好天気の平成20年4月29日(火) 昭和の日。毎年恒例の『成蹊ラグビークラブ桜祭り』が、新緑に囲まれた学園グラウンドで行われた。

当日は、従来から、親交、交流があった学習院大学チームを迎えて、小、中、大学チームの選手、監督、OB、先生方、ご家族など、参加者が200名ほどにもなり、懇親、旧交を温める場となった。

今回は、OB戦3ゲームと、

現役大学チーム1ゲームの、対

4ゲームが行われた。成蹊オーバー40OB対学習院同では14対29で学習院、オーバー30OBでは36対0で成蹊、オーバー20OBでは22対0で学習院の勝ちという結果で終り、いずれのゲームも熱戦が展開された。

小学生チームとオーバー50OBの親睦ゲームのあと、メインマッチである大学現役のゲームが行われ、成蹊チームが関東大学対抗戦Aグループの実力を発揮し、前半12対0、後半33対0計45対0のスコアで勝利を収めた。

尚、正午には、メモリアル(物故者記念慰霊碑)前に集まり、物故された方々を偲び黙とう、相川一成成蹊会会長(政経



11回)をはじめ、ご遺族らによる献花、又昨シーズン活躍した優秀選手へ「キャップ」の授与更には、今シーズンより新たに戦力となる新入部員の自己紹介と続いた。

最後に、参加者一同がグラウンドに出て、大学チームキャプテン藤巻洋平君(法4年)のリードで部歌を合唱、小、中、高大学チームと連がり、一体感のある成蹊ラグビーならではの催しもお開きとなった。

原 一郎(政経・28年)



成蹊ラグビークラブ ラグビーフェスティバルで健闘

従来より、スポーツ振興に重点をおいている武蔵野市の、武蔵野市ラグビー協会(姫田明利会長・政経10回)は、地元企業の横河電機株式会社と共催で、同市教育委員会の後援により、梅雨の間の平成20年6月21日(土)、三鷹の横河電機グラウンドで「ラグビーフェスティバルinむさしの」を開催した。

今年7回目となったこの催しに、成蹊ラグビークラブは若手OBがチームを編成し参加した。

対戦相手は、地元社会人チームの吉祥寺ワイルドターキー、武蔵野市役所ラグビー部、マイクロスポートRFC、横河電機OBチームで、ゲームはセブンス(7人制ラグビー)ながら、いづれも迫力ある展開で行われた。成蹊チームは、現役が関東大学対抗戦Aグループにいることもあり、これにおとらぬ活躍で、結果は、2勝1敗1分けで3位に終わったが、多数の地元のラグ



ビーファンに、その健闘ぶりを披露した。

尚、当日は、横河電機と日本IBMの試合、地元の中学生のゲーム、あるいはラグビースクールの子供達への技術指導などの行事があり、盛會裡に終了した。

原 一郎(政経・28年)



ファンに

、当日はMの試合ム、あるの子供達事があり

原 一

成蹊ラグビークラブ 現役激励会



雷が鳴り、夕立が降った平成20年9月7日(日)、大学10号館12階ホールにおいて、OB、現役メンバー80名ほどが集り行われた。

これは、大学ラグビーチームが、早慶明大など強豪8チームよりなる関東大学対抗戦Aグループに昇格、2年目のシーズンを迎え、皮切りの明治大戦のゲームを、9月13日(土)にひかえ、これを激励することをねらいとして催されたものである。

会は、関東ラグビー協会の副会長でもある貴島健治ラグビークラブ会長(政経12回)より、このシーズンそれぞれがベストを尽くして戦ってほしいとの激励の挨拶で始まり、同ラグビークラブ副会長立花馨三氏(政経10回)の音頭で一同乾杯、交流懇談の場となった。

今年度、チームを率いる池田智監督(高33回)より、昨シーズンは青山学院に勝ち1勝6敗



という結果で終わった。今シーズンは是非2勝したい。OBを始め皆様方に応援をお願いしたい旨の挨拶があった。

現役メンバーそれぞれより自己紹介、決意表明があり又、チームの蔭の力となる女子マネージャーの紹介と続いた。同じくクラブの副会長である石河信一氏(高13回)より、初戦の明治大とのゲームは、良い思い出と

なるようなゲーム展開で善戦健闘することを期待するとの言葉が述べられた。

終りに桐陰学園出身、ポジションはスタンドオフのキャプテン藤巻洋平君(法4年)のリードで、一同部歌を合唱し、盛り上った雰囲気の中でお開きとなった。

原 一郎(政経・28年)

少林寺拳法部 創部40周年



平成20年5月24日成蹊大学10号館12階ホールにおいて、成蹊大学少林寺拳法部の創部40周年式典が、同部OB約60名、他校からの来賓45名の参席で盛大に執り行われました。

式典のイベントにはグリークラブOBによる合唱、応援指導部による校歌斉唱、チアリーダー部の演技披露をお願いし、グリークラブの皆様には来賓の受け入れとしてのハミングでの合唱などいただき、どのイベントも来賓の方にも大変好評でした。

少林寺拳法部は1968年中



村学先輩により愛好会として発足し、1974年に同好会、翌1975年に部に昇格。現在、現役部員20名、OB会員180名強の団体となっています。また、少林寺拳法部OB会は創部年から「六八会」と呼称し、毎年釋祭に定例のOB総会を開催しています。

当日は遠方からお越しの諸先輩、ご多忙で総会への参加が途絶えていた諸先輩方もご参集いただき、昔話などしながら、

い大人”がまるで学生のようになり、昔ながらの先輩後輩の関係で記念式典の1日を過ごしました。

最後に他校からの来賓の方々も部歌を斉唱し、和やかで賑わしい雰囲気の中、約3時間の式典の閉会を迎えました。

最後に開催にあたり成蹊会のかたがたには一方ならぬご尽力を頂いたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

管 省吾(経・55年)

山岳部OB会 (踏高会)



2008年6月8日(日)、毎年恒例のOB総会が大学2号館410会議室にて開催されました。旧制の成蹊高校旅行部以来80年以上の伝統を持つクラブですが、現在は大学山岳部が廃部となり、20代の若手OBがならず、今回のOB総会も30代・40代が3名、あとは最高齢93歳を筆頭に60代・70代中心の元気高齢者集団の集まりです。(20名参加)

”がま

昔なが

記念式典

後に他校

歌を斉唱

分団気の

団会を迎

夜に開催

かたには

いたこと

を御礼申

管 省

2008年

例のOB

10会議

旧制の

以上の

、現在

り、20

今回の

3名、

に60代

集団の

名参加



今年の議題の中心は、久しぶりに成蹊高校に山岳部が復活、成蹊中高山岳部顧問和田先生にも出席していただき、OB会がこの若い芽をどのようにフォロワーして行けば良いか、いろいろな意見が出されました。中学・高校の活動方針に沿って、OB会として出来る限りの協力をしていくことを、全員で了承。(数少ない若手OBによる中高山岳部支援委員会がお手伝いします)

希望を抱かせてくれたOB総会でした。
午後からは場所をお馴染みの尾張屋さんの2階に移し飲み会が行われ昔日の山登りや、近況の山登りなどの話に花を咲かせ、10月24・25日(76周年虹芝寮祭)我らが谷川岳虹芝寮での再会を約し散会しました。
成蹊会会員の皆さんへ谷川岳虹芝寮利用のお誘い
谷川岳虹芝寮は建立以来76年、お掃除に始まりお掃除に終わる、自然との融合、木の温もり、心の絆 等々今こそ最も大切なものが満載です。
申し込みは成蹊学園管財課へ
川田 詔(経・50年)

観光事業研究会 OB・OG会

大学卒業後20数年経って、思い出深き観光事業研究会の卒業生同志の交流が全くないことに気がきました。共に青春を謳歌した方々と一生お会いできないのかと思うといたたまれず、考えるより先に体が行動してい

ました。大学時代から仲がよく卒業後も交流のあった同期の69年次生十数人と連絡を取り、69年次生が中心となって観研OB会づくりに着手しました。男性はOBに、女性はOGに連絡をとり、できる限りの情報収集に努めました。働き盛りで、公私共に忙しい年齢でしたので、週末か夜間にしか電話がつながらず、作成作業は困難を極めました。しかし、先輩も後輩も突然の電話にも拘らず、私共の趣旨に賛同してくれ、数ヵ月後には64年次生から72年次生までの120名の名簿を完成させることができました。これが1994年の春でした。

1994年秋に新生第1回観研OB・OG会を、有楽町ニュートーキョービル内の桃杏楼にて80名以上の出席者を集め、開催することができました。その後2年毎に、そして現在は4年毎の、オリンピッククイヤーに開催しております。

今年6月14日渋谷セルリアンタワー東急ホテルにて、34名の出席の下で、開催いたしました。おいしいお料理と楽しい会話の中、ただおしゃべりし、笑い合っていただけのような、あ



つという間の2時間でした。会社の中、また家庭の中では、こんなに笑っていないかった、と思える程気持ちよく談笑し合っていました。全員が当時そのまま学生時代の自分に戻ってしまったのでしよう。2次会も、気付いたらいつの間にか終わってしまいました。次回は4年間も待てない、という声が多く結局次回からは2年毎の開催に決定した次第です。

1963年以前卒業の先輩、そして73年以降卒業の観研OB・OGの方々自稱事務局まで

ご一報ください。
連絡先・中山真理
電話&FAX
03-3331-9888
中山真理(文・48年)

体育会 バレーボール部

創部60周年記念祝賀会
体育会バレーボール部は本年創部60周年を迎え、7月12日(土)午後2時より、大学10号館12階ホールでOB・OG会「けやき倶楽部」が主体となり、ご来賓の亀村五郎先生、バレーボール部長/大久保洋子先生、男子部監督/伊藤良太氏、女子部監督/小島和行氏を招聘して、記念祝賀会を開催致しました。大久保先生に於かれては、昭和44年にバレーボール部長に就任されて以来、39年の永きに亘り現役部員の指導育成に携われ、奇しくも来年3月末を以って成蹊学園をご退官されることから、今回そのお祝いも兼ねさせて戴きました。当日は炎帝到来を彷彿とさせる猛暑の中、石戸純一

報ください
館先・中山真理
電話&FAX
33331
中山

育会 レー

60周年記念祝賀会
育会バレーボール部は本年創部60周年を迎え、7月12日(土)午後2時より、大学10号館12階ホールでOB・OG会「けやき倶楽部」が主体となり、ご来賓の亀村五郎先生、バレーボール部長/大久保洋子先生、男子部監督/伊藤良太氏、女子部監督/小島和行氏を招聘して、記念祝賀会を開催致しました。大久保先生に於かれては、昭和44年にバレーボール部長に就任されて以来、39年の永きに亘り現役部員の指導育成に携われ、奇しくも来年3月末を以って成蹊学園をご退官されることから、今回そのお祝いも兼ねさせて戴きました。当日は炎帝到来を彷彿とさせる猛暑の中、石戸純一



顧問（昭和24年卒）を筆頭に現役部員までの108名が集い、西川泰会長（昭和32年卒）のご挨拶を以って記念式典が開会となりました。

懇談中には、スライド形式での懐かしい写真の上映、有志が持ち寄った思い出深い資料やアルバムに歓声が上がリ、学生時代にタイムスリップしたかの如くに思いを馳せ、和気藹々とした雰囲気で大変盛り上がりました。世代を超えて一堂に会したOB・OGが共通して持つ意識は「成蹊の良さ」であり、また厳しい練習や合宿を通じて得た勝利の喜び、敗退の悲哀、大学

を代表してプレーする誇りでした。こうして伝統として残る「成蹊の良さ」の担い手となる現役部員を出来得る限り支援することが、「げやき倶楽部」の使命であると改めて感じる祝賀会となりました。この稿をお借りして、「げやき倶楽部」会員の皆様を引き続いてのご支援・ご協力をお願いする次第です。最後に、木村明彦事務局長（昭和44年卒）による中締めの後、現役男子部主将／渡辺和弥君によるエールと共に校歌を高らかに斉唱し、現役の益々の活躍を祈念しつつ、閉会となりました。

井上大五（工・52年）



創部82年の歴史を誇る成蹊大学陸上競技部では、陸友会という名称でOB／OG会を組織しており、会員数は旧制高校・新制高校・新制大学卒業、合計で430名になります。陸友会は現役選手の指導・応援・サポー

ト、さらにOB同士の親睦をその活動目的とし、練習や競技会への応援参加、各種備品類の寄贈を通して、物質面・精神面のサポートを強化するよう努めています。

陸友会の恒例行事として、OB総会・OB戦（OBと現役の合同競技会）を毎年8月後半に実施しています。

今年8月31日にそのOB総会・OB戦が実施されました。

前日までの大雨がうそのように晴れ渡った400mトラックでは朝10時には約40名のOBと現役が集合、OB戦が開会。100m走、1500m走、400mリレーが行われ、現役は夏の練習の総仕上げ、OBはなつかしいトラックで清々しい汗を流しながら、OB・現役の交流が図られました。

100m走では、旧制高校卒の83歳の山崎先輩が、マスターズ陸上の優勝者の賞禄で16秒9で走り、現役を圧倒しておりました。

OB戦のあとのOB総会ではこの春に卒業した19名の新会員が承認され、さらなる陸友会の活動強化が確認されました。

OB戦OB総会後の合同懇



親会では、陸友会より寄贈された、新横断幕が披露され、今後の成蹊大学陸上競技部のさらなる活躍を誓いエールが送られました。

現在の現役部員は総勢50名を越え、今シーズンは5月の関東インカレ（2部）100m優勝、9月の四大戦での三連勝、関東新人大会400mリレーでは1部校の強豪を相手に4位入賞、そして来る10月18日の箱根駅伝予選会への4年連続の出場権確保と、例年以上の好成績を上げ盛り上がりを見せております。

塚原 敦（工・58年）

写蹊会

9月13日に第10回写蹊会総会が開催され、「我々の会合は雨に見舞われ集まりが思わしくない…」との声をよく聞きますが、振り返ると過去10年間1回の総会時に「お湿り」は未だ無く、常に30名内外の方々が出席され、写真と言う同好趣旨の基に会し、説を論じ交友を温められることは、偏に会員皆様の情熱があればこそ感じる次第です。

今回は久々に10号館12階ホールで開催され、29名の方々が参加されました。

この度の講演は、岸孝氏（旧制高校16回）による「スコットランド撮影紀行」で、氏が写されたVTRによる風景を中心とした撮影ポイントを鑑賞しましたが、宛も画面から近衛兵が奏でるバッグパイプの音が聞こえて来る様な錯覚に陥るほど、美しいもので、シャッターチャンス選択を学ぶのに絶好の機会だ

写蹊

13日に開催され、「われ集まり」との声をよく聞きますが、振り返ると過去10年間1回の総会時に「お湿り」は未だ無く、常に30名内外の方々が出席され、写真と言う同好趣旨の基に会し、説を論じ交友を温められることは、偏に会員皆様の情熱があればこそ感じる次第です。

と思いました。この他、年間活動の報告やプロジェクトを用い、有志が持ち寄った作品の解説と改善点の指摘や添削が行われました。

また、成蹊会と山本亨介氏(政経3回)のお骨折りにより、成蹊会のホームページ上に掲載されている『成蹊の四季』の夏季編から、この欄に写蹊会がレギュラーで投稿することとなり、時期的要因もあつて総会の承認を待たず実践に移した事の賛同を得ると共に、この欄作成にご協力頂く様お願いしました。

今回は卒業年度順から4名の先輩に撮影をお願いしましたが、是を先陣に卒業年代順に秋、冬、春と全員参画で取り組む計画で



す。

今後の目標として、桜祭写真展をはじめ、撮影会、作品鑑賞会などをより活性化させ、作者の心情が画面に迸り、見る人の心を豊かにする作品造りと写真術の向上を目指し発展させたいと思います。

(写真提供(Ayache氏))

写蹊会世話人一同



さる9月19日ニュートーキョーレストラン、ラ・ステラにおいて、彩蹊会の第34回画展成功を期しての懇親会が開かれました。来春1月12日から18日まで恒例により銀座地球堂において開催されます。近藤和夫会長のご挨拶に始まり、前会長柴田承二さんの93歳にもなられまだまだカクシヤクターの乾杯のご先導により宴は始まりました。今年から新たに入会されました根岸孝彰さん、藤井和江さん、水原宏さんも紹介され、和気あいあいのうち宴は進み、そこかしこ



で絵画作成の喜びなどについての交歓が行われた次第です。今年のちよつとしたうれしい悩みは、会員も増え出展者も多くなつてきましたので、従来充分であつた場所が手狭になつてきたことで、一人あたりの持スペースを小さくして対応しようということでした。お互いに切磋琢磨して、おいでいただく人すべてに大いに感銘を与えるような優れた作品を作成することを改めて祈念し、深まりゆく初秋の銀座の夜は楽しく過ぎていった次第です。多くの皆様方にご覧頂けることをたのしみにいたしております。

小山忠男(政経・31年)

茶道部創部五十周年の集い

十月十二日(日)、成蹊大学茶道部創部五十周年記念パーティーを大学十号館十二階ホールで開催いたしました。

創部以来毎年春合宿でお世話になつている小田原の曹洞宗東泉禅院の岸達志老師ご夫妻、茶道部現宗匠で宗徧流正伝庵家元の岩田宗龍ご夫妻をはじめ、成蹊会相川一成会長、成蹊女学校時代に茶人でもあつた奥田正造校長から奥田流茶道を仕込まれた成蹊やよい会の島田喜久子会長、茶道部創始者大久保宗碩(捨蔵)先生のご親族並びにゆかりの方々にご臨席いただき、OB・現役員を合わせ総勢百四十名で盛大に催されました。恒例により第一部は、大久保宗碩先生以下物故者十二名の法要が岸達志老師により執り行われ、続いて参加者全員で唱和する般若心経がホール一杯に響きわたりました。読経の後物故者への献茶が行われ、全員による



記念写真の撮影の後、第二部のパーティーに移りました。

ご来賓のご挨拶等から若い人達も五十年の歴史の重みを実感できた素晴らしい集いとなりました。

なお当日は五十周年記念行事の一つとして学園史料館で開催されている特別展示「大久保宗碩(捨蔵)と成蹊大学茶道部五十年」展を、日曜日にもかかわらず開館していただきました。お陰で大勢の関係者が大久保先生の書や篆刻、写真などで先生の遺徳を偲び、併せて茶道部五



字真の撮り、木實のごご、五十年の歴史、素晴ら、お当日は、つとして学、いる特、捨蔵)と、展を、「一展を、閉館して、大勢の関、書や篆刻、偲を偲び、

十周年の歴史を懐かしむことができました。

新島 健 (政経・37年)

コンパルサウンズ 創部45周年



平成20年10月18日(土)、成蹊大学第2学生食堂にて「成蹊大学コンパル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ創部45周年記念パーティー」が開催されました。

コンパル・サウンズは、17人編成のビッグバンド(トランペット4人、トロンボーン4人、サクソス5人、ピアノ、ギター、ベース、ドラム)のクラブで、現役員は51名。当日はOB、現役総勢130余名が集まり、演奏も楽しみながらの歓談に多に盛り上がりました。

会は岩城悟OB会会長(経・49年)の挨拶と乾杯で始まり、バンド演奏がスタートしました。トップは木場悠太氏(工・平17年)率いる卒業5年目までの若手OBバンドで、まとまりのある力強い演奏が披露されました。

次いで司会の鏡勇貴氏(工・平11年)が呼びかけ卒業4年目以上のOBによるバンドの演奏が行われました。リハーサルなし、メンバーも入れ替わり立ち替わりのぶっつけ本番でしたが、誰もが現役時代に一度は演奏したことがあるカウント・ベイシーの曲で、ひとつになりました。音楽は世代と時間を越えることを実感したひとときでした。

続いて現役1、2年生によるジュニアバンドの演奏、そして3、4年生中心のレギュラーバンドが今年の8月に出場した「山野ビッグバンドコンテスト」(大学ビッグバンドの甲子園)での曲を披露しました。OBからは「感動!」「うまくなった」

「参加して良かった」等の声が聞かれました。最後は全参加者からのピックアップメンバーによる演奏でした。「エイプリル・イン・パリ」ではトロンボーンの森永勝浩氏(工・61年)の派手な振り付きソロもあり、何回もの「ワンモア」のかけ声とともに演奏はフィナーレを迎えました。

その後の歓談タイムでは、参加OB最年長の坂上多津夫氏(法・45年)のスピーチ、初代OB会会長(コンパル創始者のひとり)の谷口勝洋氏(工・42年)からのメッセージを菅沼威OB会副会長(工・平10年)が代読、などが行われました。先輩方からコンパル創生期の貴重な話や幾多の苦難を乗り越え今があることをお聴きすることができ、今後クラブのスピリットを後輩達に引き継いでいく大切さを感じました。

OBバンドは毎年度成蹊校祭で演奏しています。往年のスイングガール、スイングボーイを是非聴きにきて下さい。

堀越祐子(文・平17年)



ギターソサエ ティー OB/OG会

「OB/OG、現役に負けじとがんばる!」

10月18日土曜日、第8回ギターソサエティー(ギターソ)OB/OG会を開催しました。

第一部(大学2号館で開催)の現役とOB/OG合同ギター発表会では、OB/OG有志10名による小合奏演奏(レスピーギ「シチリアーナ」)「イタリアーナ」がありました。昨年の会で今年の会での演奏宣言をし、このために一年間準備し、練習を重ねてきたOB/OG達のギターソへの思いが演奏として窺い知ることができました。

第二部のOB/OG会定期総会では、議案、現役活動状況報告、OB/OGおよび現役からの要望などについて活発な意見交換がなされました。

第三部は10号館12階ホールに移り、現役とOB/OGの活発な交流、各自の自己紹介のほか、今年からギター顧問となった理



工学部の里川重夫教授からご挨拶をいただくなど、たいそうな盛り上がりを見せました。

ただ、OB/OGの参加が、昭和50年代以降の出席者よりも昭和40年代の出席者が多いことで、今後は出席の少ない代の出席率を上げる為の方策を立てなければならぬと感じています。

恒例の会、もつとにぎやかに皆で大学に集い、ギターとともに楽しく過ごしたいものです。

高瀬正弘(経・62年)



の里川重夫教授からご挨拶をいただくなど、たいそうな盛り上がりを見せました。

ただ、OB/OGの参加が、昭和50年代以降の出席者よりも昭和40年代の出席者が多いことで、今後は出席の少ない代の出席率を上げる為の方策を立てなければならぬと感じています。

恒例の会、もつとにぎやかに皆で大学に集い、ギターとともに楽しく過ごしたいものです。

高瀬正弘

SGCゴルフ大会



10月22日(水) 鳴沢ゴルフ倶楽部に於いて、第11回SGCゴルフ大会が開催されました。従来は日曜日に、40チーム、160人によってコース貸切で開催されてきましたが、今回はじめて平日開催になりました。そのため28チーム、111人の参加でしたが、好天に恵まれ、難コースを見事なスコアでホールアウトする参加者が目立ちました。

団体戦、3連覇を狙ったアメリカンフットボール部は、惜しくも3位に甘んじましたが、B



チームで参加した会長の金さんが8番ホールで見事にホールインワンを達成しました。これは第9回大会の本橋さんに続く快挙です。団体戦はスキー部が初優勝を飾りました。

なお懇親会、並びに成績発表は、クラブ別にテーブルを囲んで行い、好評でした。詳しい成績は左記の通りです。

(団体)

優勝 スキー部(306・2) 初

準優勝 水泳部(306・4)

ベスグロ ラグビー部(356)

(個人)

優勝 三浦正博(N70・0G82)

準優勝 木村直人(N71・0G89)

ベスグロ 三浦正博 82

西川 廣(政経・44年)

清和会 「多摩川水紀行」



清和会では多摩川遊歩道「たまりバー50キロ」が完成したこの機会に河口から奥多摩むかし道を通って奥多摩湖までを第一目標に一年超のロング計画で本



水紀行を計画した。最終は水源地である笠取山山頂踏破をめざし10月22日第一回「河口水準拠標から六郷土手」まで約8・5kmを塩谷リーダー(第11回)の歩いた。

多摩川は近年自然環境が急速に改善し、多数の水鳥、野鳥、更には釣人のハゼ、ハヤを観察しながらのノンビリウォークであった。

本会恒例の反省会は蒲田駅近くの居酒屋で流した汗以上のアルコール補給となった次第です。1月21日(水)は多摩川の支流であるハケの道(野川沿)を歩く予定です。参加ご希望の方は、ご連絡下さい。

高垣欣史(政経・41年)

(理工)バスケット ボール部OB会



10月25日(土)に恒例のOB会を開催いたしました。

第1部は大学体育館において現役とOBとの交流試合。40代前半のOBはまだまだ体力的に元気があり、現役に負けず劣らず走り回っていました。

第2部のOB総会に引き続き第3部の懇親会は第一学生食堂にて滞りなく行われました。

懇親会では現役28名が全員、黒のスーツ姿で現れOB一同圧倒されました。

先輩に対する敬意と解し、



益々の責任を新たにす次第でした。私達は現役へ物心双方の支援を掲げて日々、活動しております。毎年、厳しい財政ながら現役の活動資金の援助をするに供に微力ながらも就職の相談などにも応じております。OBと現役が相互に信頼をもって歩むことを目標に、より良きOB会を目指しています。

アトラクションのビンゴゲームはハイライトです。参加したOBは22名と人数では現役に負けてしまいましたが来年はもっと多くの参加者を迎えられるような魅力的な会にするよう努めて参ります。開催に当たって成蹊会の高橋事務局長には、たいへんお世話になり、ありがとうございます。

尾日向多津子(文・49年)

体育会 自動車部



毎年10月はOB/OGにとつて、昔懐かしの友に会える楽しい機会ですが、今年のOB総会は三連休と重なったりして、

責任を私達は掲げて、毎年、OBの活動に微力ながらも応じております。OBと現役が相互に信頼をもって歩むことを目標に、より良きOB会を目指しています。

アトラクションのビンゴゲームはハイライトです。参加したOBは22名と人数では現役に負けてしまいましたが来年はもっと多くの参加者を迎えられるような魅力的な会にするよう努めて参ります。開催に当たって成蹊会の高橋事務局長には、たいへんお世話になりました。

尾日向多津子(文・49年)

体育会 自動車部



毎年10月はOB/OGにとつて、昔懐かしの友に会える楽しい機会ですが、今年のOB総会は三連休



参加者が例年より少なくなり、出席者よりの「ご忠告」で始まりました。

併し新役員人事、OB会規約改正、会長・新幹事長・現役主将の挨拶等と型通りの流れが続いてパーティに入れば、いつもの部室／作業場での昔話や、欠席者のうわさ話が現れて賑やかな会場に生まれ変わりました。

今回の総会での話題には従来と若干違う点が見られました。部員のほぼ半数が近隣住民とのトラブルで↓学園／大学及び学

生々が苦勞した歴史に疎い事と、部活動を従前通りに戻したい等質問してくる事でした。

今後は最も大事と考えてきた現役への資金援助だけでは無く



OB会は学園内部との交流にも眼を向ける必要があると感じた次第です。

下川汪尚（政経・30年）

業界・企業のこぼい

日立グループ 桃李会



桃李会は、成蹊学園卒で日立製作所並びに関連会社に入社された方達の同窓会です。5月16日（金）夕刻に大手町の「日立かまくらクラブ」で総勢14名が参加して行われました。

初めは工学部のリクルート活動の一環として始まりましたが、現在では高校卒業生も含んだ成蹊学園の卒業生全体に広がり、名簿上の人数は158名に及ん

でいます。残念ながらこの会は一時期休会していて、つい最近復活したような状況です。従って当日の宿題事項は、「来年も



本会を開催する、引き続き仲間を増やすべく近場の声掛け運動を展開する」でありました。

今後は新たな仲間である新入社員を受け皿に、またリクルート活動に協力できる組織として活動を拡げて行こうと思つていきます。

「桃李会」事務局：
増田敏充（法・1991年）
toshimitsu.masuda.cz@hitachi.com
03-5471-2012（公社）

江波昌真一（高・50年）

山武けやき会



6月6日数寄屋橋ニユートーキョー・ロチェスターで年1回の総会兼新人歓迎会を開催し参加者は26名ありました。

今年の新会員は、相川和俊君、谷島健太君、井崎優希君の3人でした。

「山武けやき会」は既に退職された方々も全て会員ですが、現役72名OB35名で1000名を越す大所帯に成りました。

OBは的場君（S41工学部）にご参加頂きました。

又、山武ヨーロッパ事務所（フランス）の荻原君は成田空港より会場に直行して参加してくれました。

同じ会社に居ても事業所が違うと「けやき会」以外で顔を合わせる事は少ないのですが直ぐ和気あいあいとなれるのは「けやき並木」と「レンガの本館」と言う共通の良い思い出のお陰だと思います。

最後は学園校歌を高唱し解散となりましたが、別れ難く2次会にも多数参加者がありました。

池原正大（政経・36年）

成蹊の風景



は的場君にご参加頂きました。

山武ヨーロッパ事務所（フランス）の荻原君は成田空港より会場に直行して参加してくれました。

同じ会社に居ても事業所が違うと「けやき会」以外で顔を合わせる事は少ないのですが直ぐ和気あいあいとなれるのは「けやき並木」と「レンガの本館」と言う共通の思い出のお陰だと思います。

最後は学園校歌を高唱し解散となりましたが、別れ難く2次会にも多数参加者がありました。

池原正大

地域のつどい

オーストラリア・ クイーンズランド 成蹊会

第26回QLD成蹊会を2008年8月10日(日)12時にゴールドコースト市内の中華料理店(シヤークスフィン)で飲茶の昼食で5ヶ月振りに開催いたしました。真冬にしては朝7、8度、昼間は20度を超える暖かな一日でした。

こちらの冬の当会には避暑で来られている東京五日市の大悲願寺の住職、加藤章雄(S41工学部)さんが例年特別参加されますが、今回は、ゴールドコーストに来られていましたが都合により欠席となりました。康本健守さん(S40政経)が奥様と子供さんと一緒に参加していただきました。康本さん

は東京、香港、シドニーを拠点として仕事で多忙ですがここ1年半はシドニーベースで活躍されています。今後とも約1千キロ離れた当地成蹊会への参加を期待しております。中橋和夫(S35高校)さん夫妻が新年会に引き続き参加されました。ゴールドコーストにも住居を構えそしてクルーズなどで欧州、カナダなど世界各地を旅行されています。世界旅行話は参加メンバーにとって貴重な情報源となっています。織田健さん(S37政経)が久しぶりに(前回2005年8月)参加されました。

オーストラリア居住で日本パーンコックとボランティア活動を合せて多忙な日々を過ごしています。今回はヨーロッパ旅行に間もなく行かれるとのこと。幹事役の素子Donoghueさん(旧姓岡田素子S44政経)はロイヤルパイニンリゾート代表の

秘書・通訳を退職されてから久しく、現在は読書三昧とジムで水泳、自宅でのエクササイズなど相変わらず悠々自適の生活です。かなりの重量になる紙袋一杯の日本語の小説を両手に持参していただきました。Junko Van Dorenさん(旧姓高橋淳子S54文・英米文学科)は、珍しく体調不良のため不参加でした。本人は今まで体力に人一倍自信があり何でもこなせると思いつつ、無理をした結果だと

報告してきました。

嬉しいお知らせがあります。

当地州立大学に交換留学で来られていた鎌田由利恵さん(経済学部・経営学科)がオーストラリア旅行中のご家族(ご両親と妹さん)と一緒に2年前の2006年8月成蹊会に参加されました。その妹さんが今年の春に成蹊小学校に入学されたとのこと報告をいただきました。

さて、いま北京オリンピックが開催されています。テレビでみるスポーツ大国オーストラリアの代表選手は屈託のないあかるい表情で心から競技参加を楽しんでいる様子が印象的です。なお、当会では学園(小中高

校大学)の卒業生に限らず広くご家族、友人の参加も歓迎しておりますのでご連絡下さい。皆様もゴールドコーストに来られるときにはご遠慮なくご一報下さい。

Email: samnishijima@hotmail.com

Tel: 07-55947585

Mobile: 0418763717

西嶋 勇(政経・40年)

宮城成蹊会

9月6日平成20年度宮城成蹊会総会および懇親会をJALシティホテル仙台にて開催いたしました。

当日は成蹊会本部より高山知也成蹊会副会長をご来賓にお迎えし、岡田正昭会長はじめ16名の出席をいただきました。また今年発足しました福島成蹊会からも事務局の遠藤浩文様のご出席をいただきました。

はじめに岡田会長よりご挨拶をいただき宮城成蹊会現況そして今後の東北地区としての成蹊会活動などについてのお話の後、高山知也成蹊会副会長より成蹊会、学園の近況報告などご挨拶をいただきました。また、福島成蹊会事務局の遠藤浩文様からは福島成蹊会発足に至るまでのご苦労話などご挨拶をいただきました。懇親会では小田島司郎成蹊会東北支部長の乾杯に始まり、各会員の近況報告、今回初めて参

宮城

9月6日平成20年度宮城成蹊会総会および懇親会をJALシティホテル仙台にて開催いたしました。

当日は成蹊会本部より高山知也成蹊会副会長をご来賓にお迎えし、岡田正昭会長はじめ16名の出席をいただきました。また今年発足しました福島成蹊会からも事務局の遠藤浩文様のご出席をいただきました。

はじめに岡田会長よりご挨拶をいただき宮城成蹊会現況そして今後の東北地区としての成蹊会活動などについてのお話の後、高山知也成蹊会副会長より成蹊会、学園の近況報告などご挨拶をいただきました。また、福島成蹊会事務局の遠藤浩文様からは福島成蹊会発足に至るまでのご苦労話などご挨拶をいただきました。懇親会では小田島司郎成蹊会東北支部長の乾杯に始まり、各会員の近況報告、今回初めて参



同窓のつどい

加いただいた3名(戸田建設の長島孝様、日興コーディアル証券の中澤篤史様、石原康司様)には自己紹介を含め挨拶をいただきました。最後に恒例の校歌を全員で合唱しお開きとなりました。会員同士の交流の場、様々な情報の交換の場として大変有意義なお話しが出来たと思います。また、前日には岡田会長主催の親睦ゴルフ会も行われました。

今回の宮城成蹊会総会開催に当たり、成蹊会本部には多大なるご支援、ご協力をいただきましたこと大変感謝申し上げます。お願い・宮城在住の成蹊学園卒業の皆様、ご連絡をお待ちしております。

ソニー生命保険(株) 仙台ライ



フプランナーセンター第一支社
メール: syouzou@murata.com
sonylife.co.jp
電話 022-257-7878
村田昌三(法・52年)



平成20年度秋田成蹊会が、8月7日開催されました。今回は私が勤務しておりますアキタパークホテルでの開催となりました。当日は高橋基会長(S45年工学部)を始め、県内各地から



総勢21名の出席があり、それぞれが懐かしい成蹊での日々を思いを馳せながら、旧交を温めました。終始和やかな雰囲気の中で、最後に全員で声高らかに校歌を斉唱、成蹊学園の更なる発展を祈りつつ、お開きとなりました。

岡松英策(文・52年)



平成20年7月12日、つくば市に於きまして、総勢20名のご出席をいただき、「第13回茨城成蹊会」が開催されました。

私自身3回目の参加となります。初めはどんな人がいらつしやるのか緊張しておりましたが、約半分はお馴染みのメンバーもおられ、昔話や地元の話に花が咲き、今では年に一度の楽しみになってきました。

初めての方でも、「成蹊」という日常ではなかなか出会うことのないご縁のお陰で気軽に話ができる特別な場所です。毎回驚くのは、意外と身近に成蹊出身者がいらつしやり、ご



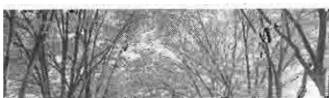
活躍されているということ。サークルやゼミとは異なる、世代を超えたこういう機会・ご縁を大切にしたいものです。

茨城では、水戸(県央)とつくば(県南)で交互に開催しています。名簿を見ると本当に多くの仲間がいらつしやるので、もつともつと多くの方にご参加いただくと嬉しいですね。特に、これからの社会を担う、私と同世代の20~30代の方には是非ご参加いただきたいですね。



来年はどんな方と出会えるか、今から楽しみです。

榎本崇宏(経・平11年)



牛はどん、ら楽しみ、榎本崇



福島成蹊会大発会

平成20年5月17日(土)午後0時30分から、福島県郡山市中町10-10 郡山ビューホテルアネックスにおいて、福島成蹊会大発会式が行われました。

- 大発会式には
- 成蹊会 常務理事 田上尚道様
- 成蹊学園 専務理事 橋本竹夫様
- 総務部担当部長 伊藤昌弘様
- 宮城成蹊会会長 岡田正昭様
- 秋田成蹊会会長 高橋 基様



福島成蹊会大発会

宮城成蹊会 永井周司様
岩手成蹊会 飯澤 匡様
を招き、福島県在住者成蹊OB43人(合計50人)が集まりました。

初めに設立総会において発起人を代表して、鈴木正博さん(昭和48年・経・現在福島成蹊会会長)が挨拶、次に田上尚道様から祝辞をいただき成蹊会旗を授与されました。次に祝賀会では岡田正昭様、橋本竹夫様から祝辞をいただき、高橋基様の音頭で乾杯。

出席したOBの方々には自己紹介をかねて思い出話や卒業後の経緯などについて語っていただきました。「ご夫婦で成蹊卒」というOBが2組、「夫婦親子で成蹊」というOBが出席され、みんなの注目を集めていました。

中には「今だから言えますが、実は大学の自己紹介に「実は私です。」という一人の自己紹介に「実は私もです。」という一人の自己紹介に「実は私もです。」と芋づる式に2、3人名乗りが上がり、笑いを誘っていました。

また、久しぶりに歌う校歌では、少々戸惑いながらも歌詞カードを見ながら何とか斉唱された方がちらほら。(いつまでも忘れないでいたいです。)

最後の締めは飯澤匡様の大好きな「万歳三唱」で幕を閉じました。

会の進行にあつては
根本紀太郎さん (昭和59年・法)
高橋利明さん (平成2年・法)
松澤洋治さん (昭和50年・経)
が司会や議長を務め、
また、祝賀会ではバックミュージックとして

- 阿部善武さん (昭和62年・法)
- 佐藤喜一さん (平成2年・経)
- 山島孝仁さん (平成元年・工)

にジャズ音楽演奏をお願いしました。

3人とも学生時代にジャズ研究会などで腕を慣らした経験を持つ方々で、少々緊張した様子でしたが、かなりの熱演で、出席されたOBからもかなり好評でした。

記念写真は「できるだけ端正な姿を記念に残したい」という思い(酔いがまわり過ぎてしまわないうちに)から祝賀会の前に全員で撮影しました。

そもそもこの発端は平成19年6月、本部成蹊会から「福島成蹊会を立ち上げて欲しい。」との連絡があったことから始まりました。

他の県にあつて本県にはまだないことを初めて知り、少々さびしい思いもあり、成蹊会を把握していた325名の本県在住の卒業生名簿から少しずつ声をかけてみることにしました。

何人かのOBと会って話しているうちに、これまで各地区で福島成蹊会を立ち上げようとしていた事実を知り驚きました。「成蹊のOB会をつくりたい。やってみよう」と思っていた方が意外と多かったのです。うれしい誤算でした。

各地区(会津若松、喜多方、猪苗代、福島、郡山、白河、南相馬、いわき)から2人位ずつ地元との連絡係を担当していただき、さらに郡山市内で数回にわたり発起人会を開いた頃、話がいつきに加速しました。

はじめに名簿を見た時は、面識のない方々ばかりで、どの誰から声をかけたらいいのかさっぱり検討がつかせませんでした。「素するより生むが安し。」とにかく時間の許すかぎりできるだけ多くのOBに会ってみたいことがよかったです。

福島県内にも各地区、各業界に多くの先輩後輩がいることを知り、改めて成蹊OB



成蹊大・高同窓生らが本県組織 郡山で福島成蹊会設立総会
福島成蹊会大発会
全員そろって記念写真に納まる同窓生
福島民報 3面 2008(平成20)年5月18日(日)

の活躍ぶりを実感し、元気づけられたたしだいです。

この度の大発会式につきましては、多くの方々のご協力、ご配慮により大盛会で迎えることができ、5月17日はこの上ない記念すべき一日になりました。青春時代に成蹊で過ごした思い出が、時を越えて今、さらに成蹊に対するよき深い思いとなつていくような気がいたします。

また、これまで未把握だったOBから「新聞で福島成蹊会発足を知り、入会したい。」との連絡が寄せられたり、大発会に出席されたOBのなかからは「今度の春はみんなで成蹊桜祭に行こう。」との声があがっています。

今後も交流を深め、成蹊のネットワークを拡げていきたいと考えています。最後にお力添えいただきました成蹊会事務局スタッフのみなさんにも厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いたします。
遠藤浩文(法・59年)



成蹊大・高同窓生らが本県組織 郡山で福島成蹊会設立総会
福島成蹊会大発会
全員そろって記念写真に納まる同窓生
福島民報 3面 2008(平成20)年5月18日(日)

「元気づけられたたしだいです。」
「この度の大発会式につきましては、多くの方々のご協力、ご配慮により大盛会で迎えることができ、5月17日はこの上ない記念すべき一日になりました。青春時代に成蹊で過ごした思い出が、時を越えて今、さらに成蹊に対するよき深い思いとなつていくような気がいたします。」
「また、これまで未把握だったOBから「新聞で福島成蹊会発足を知り、入会したい。」との連絡が寄せられたり、大発会に出席されたOBのなかからは「今度の春はみんなで成蹊桜祭に行こう。」との声があがっています。」
「今後も交流を深め、成蹊のネットワークを拡げていきたいと考えています。最後にお力添えいただきました成蹊会事務局スタッフのみなさんにも厚く御礼申し上げます。」
ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いたします。
遠藤浩文(法・59年)

群馬成蹊会



平成20年7月26日(土)に第8回群馬成蹊会を、2年ぶりに開催致しました。

今回も成蹊会にお願いして、群馬県内在任の成蹊OB・OGの宛先ラベルを提供して頂き、508名という多数の皆様が群馬県内各地で活躍されていることが判明し全員に開催通知を郵送させて頂きました。

当日は、群馬県伊香保温泉の「ホテル天坊」を会場に、成蹊会の高橋道哉事務局長を来賓として迎え、20名の出席で開催致しました。

また、大川会長から、群馬の書道家岡庭和人氏により「桃李不言下自成蹊」と書かれた掛け軸を貸与して頂き、総会・懇親会とともに、成蹊会の旗とともに、会場に飾らせて頂き、会の雰囲気が大変良いものになりました。総会では、大川会長(昭和24年アレメ)挨拶の後、高橋道哉事務局長から学園資料を基に最

近の成蹊学園の現状についてのお話を戴きました。

また、成蹊会からお借りした、「動画で見る成蹊大学」のDVDを全員で見せて頂き、最新の情報図書館等、学園建物の変貌には驚かされるとともに、久しぶりに見た、本館や榊並木の姿に昔の学生時代を懐かしく思い出しました。

総会終了後は、温泉にゆっくり入った後、浴衣に着替えていただき、全員リラックスした雰囲気の中、懇親会を行いました。懇親会最後には、2年後の次回群馬成蹊会の際には「今回の参加者全員が必ずあと1名の成



蹊OB・OGを連れて参加する」という目標を確認するとともに、「成蹊会」の旗の下、全員で肩を組んで校歌を歌い2年後の再開を互いに約束しました。尚、懇親会後の2次会にも参加者のほぼ全員が参加し、大カラオケ大会で盛大に盛り上がったことを付言しておきます。

羽鳥 亘(法・55年)

埼玉成蹊会



第5回埼玉成蹊会が去る10月10日(金) 18:30から、川口駅前中華料理店、江南春にて開催され、19名の参加を頂きました。江南春のマネジャーが京野裕三氏(S49経5)であるため、こちらで開催させて頂いております。

毎回成蹊会本部より、会長、副会長、事務局長などにご参加頂いておりますが、今年度は総務部長の長岡敏郎様(S47経済3)にご参加いただきました。長岡総務部長から成蹊の現状報告や、本部から頂いたパンフレ

ットや新聞などで、学園の発展の様子がわかりました。藤原尚様(S30政経4)の乾杯の音頭で会が始まり、おいしいお料理の後は皆様からの自己紹介となり、ご挨拶の途中いろいろな手がはいるなど、和気藹々の楽しい時間でした。最後は校歌斉唱でお開きとなりました。

また、参加者が20名前後と埼玉成蹊会への認識が広まっておりませんが、今後は年2回ほどの会を開いてなるべく多くの皆様にご出席いただけるようにしたいと思っております。埼玉在住の成蹊卒の皆様には、是非この会の存在を知っていただき、ご参会いただきたくお願い申し上げます。左記事務局宛、メール、ファックス、電話で、ご住所の登録をお願い致します。

次回は、平日仕事の関係で18:30の会合に出ることができない方々のために、一度土曜日開催に致したく、2009年3月14日(土) 18:00(場所未定)に決定しました。参加ご希望の方はご案内をさせて頂きますので、事務局までご連絡ください。事務局代表田中徳尚(S51経7) 332-0006 川口市末



千葉支部の近況



例年実施してきた春のイベントを今年は「小江戸」といわれる佐原、あやめ花盛りの水郷への小旅行を行った。

広1-11-2 セントラルグループ内
電話 048-222-1477
FAX 048-224-1355
田中メール: tokunao.tanaka@central-group.co.jp
事務局メール: secretariat@central-group.co.jp
(事務局担当 中村あやみ) 田中徳尚(経・51年)



千葉支部は今年7月には「小江戸」あやめ花盛りの水郷への小旅行を行った。



6月15日、雨続きであったが当日は初夏を思わせるような絶好の旅行日和、千葉支部会員の夫婦、親子、兄弟など27名の参加を得た。

JR千葉駅に集合した一行は安田敬一千葉支部長に見送られ一路、佐原へ。佐原駅で現地集合の会員と合流、大型バスに乗り換え水生植物園に。

園内には400種類150万本ものあやめが時を盛りに見事に咲き誇っていた。白、青、紫のあやめが名札をつけ並んでいる姿は壯観であった。

その後、サツパ舟にゆられながら十二橋舟めぐり。

再びバスに乗り江戸情緒の残る佐原へ。酒蔵での見学と試飲

のあと、日本庭園のすばらしい料亭・吉庭でのフランス料理による昼食と懇親会で至福の時をすごした。

今回は佐原方面に詳しい竜崇正幹事（千葉県がんセンター長／高13回）のお骨折りを頂き楽しい一日を堪能できた事を付記して謝意を表したい。

佐原囃子昂ぶるあやめ祭かな

鈴木茂樹（文・44年） 秀洋

千葉支部総会



千葉支部第57回総会並びに講演会・懇親会を盛大に開催！

演壇に大旗並びに小旗「お、成蹊!!」を飾る！

第1部・総会（15:00～15:45）

平成20年（2008）7月5日（土）千葉市中央区・千葉商工会議所14階・第2ホールにて第57回総会（別称・七夕の集い）が、学園より岸曉理事長を迎え、千葉県からは長浜純先生（財・

千葉県青少年協会理事長、太田務先生（社・千葉市観光協会専務理事）、石田文夫先生（社・千葉県観光協会事務局長）ご三方の来賓をいただき、総勢63名の出席を得て賑々しく開催された。

午後2時30分、受付開始。支部長、副支部長、顧問、相談役が特別室に勢揃いして岸理事長を出迎えて暫時懇談。学園創立100周年記念事業等の進展状況を伺い、年内に訪問視察会の立案が検討されることになった（里村洋一副支部長担当／高8回）。

定刻午後3時、司会者・鈴木茂樹幹事（文1回）により開会宣言。初めに初代支部長・香月秀雄先生及び元成蹊会会長・谷岡喜久蔵先生並びに例年ご出席いただいた落合和雄先生（日

19・12・19去（旧高13回）を偲び慰霊黙禱。来賓各位の紹介と総会資料の確認後、安田敬一支部長（財・千葉県青少年協会

長／財・安田教育振興会理事長／政経2回）より来賓・出席者一人ひとりに対して懇切なる謝辞が述べられ、続いて団体として千葉支部より成蹊学園創立100周年記念事業募金寄付目録が岸曉理事長に贈呈された。次に

岸理事長より、祝意を籠めた謝辞並びに学園の創立100周年記念事業の進行状況が具体的に報告され、記念事業募金活動の意義と一層の協力を懇請された。

続いて事務局より平成19年度の会計報告並びに千葉支部規約に付帯する役員構成についての説明があり合意された。

終わりに、報告事項として園田信行相談役（大連会会長、大連大学日本研究所客員研究員、大連市国際人材交流協会名譽理事／政経4回）の協力を得て、

起案された成蹊出身千葉支部関連医師グループを核とした学術交流団を編成して中国を訪問（5／31～6／3）、中国大連医科大学「旅順新校舎」にて開催された日本医学の最先端をゆく

学術講演会の壮挙について、幹事・竜崇正先生（千葉県がんセンター長／高13回）よりプロジェクト長・システムによる特別報告があり、千葉支部の人材によるユニークな活動の一端が紹介された。

第2部・講演会（15:50～16:50）

今回の総会のもう一つの核は、霜礼次郎先生（霜整形外科院長／銃砲史学会理事・中島流砲

術 千葉城鉄砲隊／オリンピックス射撃選手団監督並びにチームドクター歴任／著書に「メンタル・マネジメント」他多数／プロレメ8回）の講演。演題は「火縄銃と日本」

「火縄銃と日本」一砲術は勝つためのメンタルトレーニングであった。はじめに、我が国が経済大国といわれているその源流は海外文化の移入に始まることに触れ、16世紀に「海からのシルクロード」を経由して伝来した

「銃の文化」と火縄銃（和銃）との融合につながる伝承文化と日本の歴史の流れについて詳述。加えて火縄銃の实物を提示し、かつ、メンタルヘルスとメンタルトレーニングに言及され、大方の深い感動を呼んだ。

講演終了後、片山正樹事務局次長（工経4回）による出席者の記念集合写真の撮影。

第3部・懇親会（17:00～19:00）

同ビル9階「味工房」にて、満藤庸也幹事（経7回）の司会で進行。津田英彦副支部長（元千葉市医師会長／高5回）による懇切な開会の言葉につづいて、安田支部長より今春、旭日小綬章を受章された小出善二郎相談役（前・市原市長／政経2回）

千葉城鉄

撃選手団

ター歴任

マネジメ

8回）の

と日本



出された。感動)

に対し花束贈呈（介添え役として中部智子会員/TMフローラ代表/文14回）。小出相談役の感謝の念にみちた謝辞の後、当日の最長老・久我太郎顧問（旧高16回）の発声にて、安田支部長寄贈のシャンパンで乾杯。（久我顧問は体調不快で車椅子の来駕ながら、最近鬼籍に入られた渡辺誠介先生（旧高19回）を偲び、かつ出席者全員の更なる健康を念じ、おゝ成蹊!!を大声にて乾杯。暫時、歓談後退

会場のテーブルには中部先生の飾り付けによる清楚な生け花豊かな料理・飲物が並び、歓談・交流、片山カメラマンによるスナップ・ショット等々、至福の時が流れた。一方、司会の巧みなリードにより初参加の中村みどり氏（きさらずアートスタジオ/文13回）をはじめ初参加者各位の自己紹介や有志による近況報告など、大方の3分スピーチが続くなか、それぞれに交流し、楽しい親睦会となった。午後7時定刻、里村洋一副支部長（千葉大学名誉教授/高8回）の中締め言葉に続いて、全員による校歌斉唱、大塚克彦幹事（政経17回）の先導で、千葉開府882年の伝統ある千葉締め「シャンシャンシャン。シヤシヤシャンシャン。シャン」で結びとした。

尚、例年に勝る今回の盛会は学園・本部（当日、役員各位公私ともに不都合のため、前日に田上尚道常務理事が代表して安田支部長を表敬訪問された。）の絶大なるご協力、役員各位並びに若い世代の積極的な参加とチームプレーの賜であることを付記して謝意を表したい。

☆ 七夕や 再会約す掌の力

酒井四平（政経・28年） 秀洋

片山正樹（工・44年）

千葉支部 ゴルフの 千葉オープン

ことしも元気、賑やかな顔ぶれ
10月22日（水）、最高気温23度、秋晴れの最高のコンディション。

袖ヶ浦カンツリー倶楽部。新



袖ヶ浦コースには、わが「第4回成蹊千葉オープン」に参加した元氣な22名の面々がそろった。

『成蹊千葉オープン』は同窓会ならではの、参加者の年齢が70歳台から20歳台までにまたがる世代を超えたゴルフ会。

優勝は五木田さんで新ペリアもなんのその、ベスグロで2連覇。「こうなれば3連覇をねらいます」と強気のあいさつ。準優勝は山本さん、以下は小宮、河島、曾我、廣森のみなさんが続いた。

酒井四平（政経・年）

《成蹊出身医師グループ》 学术交流団を編成 して中国を訪問

〓大連医科大学創建六十周年と日中和平友好条約締結三十周年を記念して〓

昨年10月創建60周年を迎えた中国大連医科大学が「旅順」に新校舎を移転し、併せて日中和平友好条約締結30周年を記念しての交流について打診があり、これを受けて成蹊会千葉支部有志で起案、一年がかりで学術交

流訪問団を企画。本年五月三十一日から六月三日までの四日間、日本医学の最先端をゆく学術講演会を開催した。

(-)講演内容（順不同）

【少子・高齢化の時代を考える
『日本社会の中の医学、医療』
津田英彦先生（高5 元千葉市医師会長、医療法人・津田会会長）

【医療のIT化推進と医療制度】
里村洋一先生（高8 千葉大学名誉教授）

【3D画像診断を駆使した新しい肝臓の解剖と合理的肝手術
New liver anatomy based on 3-D image and rational liver surgery】
竜 崇正先生（高13 千葉県がんセンター・センター長）

【がんの免疫療法の現状】
樹状細胞療法について〓
近藤高志先生（高19 東京・中野 近藤クリニック院長）
園田信行（政経・30年）



回団を企画から六月

医学の最先端をゆく学術講演会を開催した。

【少子・高齢化の時代を考える
『日本社会の中の医学、医療』
津田英彦先生（高5 元千葉市医師会長、医療法人・津田会会長）

【医療のIT化推進と医療制度】
里村洋一先生（高8 千葉大学名誉教授）

【3D画像診断を駆使した新しい肝臓の解剖と合理的肝手術
New liver anatomy based on 3-D image and rational liver surgery】
竜 崇正先生（高13 千葉県がんセンター・センター長）

【がんの免疫療法の現状】
樹状細胞療法について〓
近藤高志先生（高19 東京・中野 近藤クリニック院長）
園田信行（政経・30年）



渋谷成蹊会



7月11日18時半より第42回渋谷成蹊会を、表参道「ダイヤモンドホール」で開催致しました。新入会員も8名有り、64名の参加者が有りました。

「渋谷成蹊会」も創立21年目を迎え、岸成蹊学園理事長をはじめ学園関係者や、様々な職業の方々、又平成卒の若い方々の参加も増えて大変バラエティに富んだ同窓会に成つて参りました。25周年に向けて一層盛会に成ります様成蹊会誌をご覧の方は是非ご参加頂きたく思います。来て良かったと思われる事と存じます。

恒例の学園校歌は米倉君（経済48年）を中心にグリーククラブのOBの方々と丹羽君（S44年）のリードで1・2・3番まで高唱しております。

記念の集合写真は、榎田君（高校42年）スナップは石黒君（経済54年）が担当し良い記念に成ると皆様に喜ばれております。



す。

今回で7度目ですが、会費の内から「成蹊学園創立100周年記念事業募金」に7万1千円を寄付させて頂きました。

今回は2月6日（金）に第43回の会を開催致します。新たに参加ご希望の方は野口修君まで

FAXで氏名、住所、電話、卒業年次、勤務先等をご連絡下さい。
FAX 03-333279101
池原正夫（政経・36年）

八王子成蹊会



昨年9月に設立総会を開いて、半年後の3月末に57名の方々のご出席をいただいて第2回目の八王子成蹊会を開催いたしました。

社団法人成蹊会相川一成会長のご挨拶につづき、横地孝先生に中村春二先生が、1912年に成蹊実務学校を開校して、今年が開校96年目で4年後には100周年を迎えるので、この歴史を大切にして欲しいというお話と、乾杯の音頭を取っていただきました。

また、あきる野市の大悲願寺加藤ご住職（工一回）の西多摩に成蹊会を設立したいというご挨拶を頂きました。中村春二先生の教育理念に基づいて同じ学舎で学んだ共通の輪が、近隣に広がってゆくことは大変素晴らしいことと嬉しく拝聴しました。懇親会は八王子の芸者さんの華やかな踊りを見ながら、旧交を暖め和気藹々の時間をもつことが出来ました。蛭沢さん（工一回）の先導により成蹊校歌を合唱し、なごやかに閉会しました。今回は来年3月頃開催の予定です。どうぞお誘いあわせてお出かけ下さい。



問い合わせ、連絡先は、
八王子エルシイ 八王子成蹊会
事務局
(042-623-2111)

小澤栄八郎（政経・34年）

新潟成蹊会



今年、九月二十一日(日)に、本部より相川成蹊会会長をご来賓として、お招きし恒例の新潟を代表する老舗料亭『行形亭』(平成二年経済学部、行形和滋さんが代表取締役を務める)にて、総勢二十三名で賑やかに開催されました。

冒頭、有沢会長（昭和三十三年政治経済学部）のご挨拶から始まり、相川会長より、学園近況報告、並びに参加者による自己紹介、そして開宴々校歌斉唱〜エールという次第で進行致しました。

この定例会を楽しみにしている方も多く、毎回自己紹介の部分がタイムオーバーとなります。それぞれの皆さんが、社会的地位も責任も重くなっているせ

問い合わせ
エルシイ
局
2162

小澤栄八郎

新潟

今年、九月二十一日(日)に、より相川を代表する老舗料亭『行形亭』(平成二年経済学部、行形和滋さんが代表取締役を務める)にて、総勢二十三名で賑やかに開催されました。

この定例会を楽しみにしている方も多く、毎回自己紹介の部分がタイムオーバーとなります。それぞれの皆さんが、社会的地位も責任も重くなっているせ

いか、会社の動向、業界の現状、子供の成長、健康問題等に熱弁を振るわれていました。

開宴中は、行形亭さんによる『秋の味わいコース』と地元新潟の銘酒『久保田翠寿』に舌鼓加えて古町芸妓衆による余興と新潟づくしを満喫し、大変な盛り上がりとなりました。

幹事として、毎年開催まで出欠の案内と確認、当日の段取り等で苦労しますが、皆さんの喜ぶ顔を拝見しますと、来年はもっともっと参加者を募ろうと思



ってしまいます。予算は結構オーバー(余興分)してしまいましたでしたが、まずはめでたし、めでたしの一日でした。

ご多忙の所、わざわざ東京からお越し下さいました相川会長に感謝申し上げます、来年もより多くの方々が、元気な姿でご参集下さいますようお願い申し上げます、取り急ぎ新潟成蹊会の報告とさせていただきます。

浜田忠博(経・52年)



梅雨明け間近の陽射しもまぶしい7月13日(日)、平成20年度の岡山成蹊会総会および家族懇親会を開催致しました。

毎回、場所を変えての楽しい企画が盛りだくさんの岡山成蹊会ですが、今年は倉敷の美観地区のランドマークである『大原美術館』を散策し、その後、歴史的にも由緒ある『旅館 鶴形』で会食というコースになりました。

本部より、田上尚道成蹊会常

務理事(S43政経)が初めて来岡され、参加者総勢18名と一緒に『大原美術館』を見学しました。

ご存知のとおり、『大原美術館』は倉敷を基盤に現在の(株)クラレ、(株)クラボウ、中国銀行を創設した大実業家・大原孫三郎翁が昭和5年(1930年)に日本で最初に設立した民間の西洋美術館です。エル・グレコ、ゴーギャン、モネ、マティスなど時代を超えた名だたる画家たちの作品を数多く収蔵しているので有名です。あの時代に、いち早く世界の超一級品を日本に運び入れた事を想像すると、その歴史的価値に圧倒されます。

本館入口で、学芸員の女性の説明を聞いていた時、なんと！現館長の大原謙一郎氏のご挨拶に参上してくれるという、うれしいサプライズがありました。

『最古参は最新鋭である』というお考えの大原氏は、「一番歴史が古いからこそ新しいものを取り入れることができる」と説明されました。なるほど、深いお言葉、ありがとうございます。

その後、場所を『旅館 鶴形』に移して総会、懇親会の始まりです。二階の大きな梁のあるお

座敷に、ゆったりとした椅子と一人一人塗りの御膳が用意され、まるで明治時代の文明開化のような雰囲気でした。

尾崎敏之会長(S41工)より『岡山成蹊会の会則である、相互の親睦を深め知的レベルを向上する』にはとてもよい機会でした」という挨拶に始まり、来賓の田上尚道常務理事より学園の現況、100周年事業の説明などがありました。高木文彦会長(S41政経)の乾杯の声がかかると、お料理が運ばれ、地元

の魚介類を中心にしたコースが始まり、しばしの歓談です。その後も会員の近況報告などで和やかに会が進みました。今回は国際色豊かに野崎泰彦先輩(S48高校)のご自宅にホームステイしているオーストラリア人学生のライアン君もご一緒され、流暢な日本語に一同びっくりでした。また今回久しぶりに出席して下さった土肥亜紀子先輩(S38医進)は未だ現役のお医者様で、岡山一三原間の遠距離通勤をされている本物のキヤリアウーマンでした。田上常務理事も、岡山市で幼少を過ごされたご縁で「岡山にはぜひ来たかった」というお話をして下



さいました。

最後に今回の企画は永久幹事の松田洋一先輩(S56法)の勤務先(出向元)の(株)クラレと関係が深いという事で準備、手配していただきました。VIPさながらの待遇に、いつときのセレブ気分を堪能いたしました。ご尽力に感謝致します。ありがとうございました。

川口史枝(文・63年)



ました。

最後に今回の企画は永久幹事の松田洋一先輩(S56法)の勤務先(出向元)の(株)クラレと関係が深いという事で準備、手配していただきました。VIPさながらの待遇に、いつときのセレブ気分を堪能いたしました。ご尽力に感謝致します。ありがとうございました。

川口由

「窓のついで」に
ご寄稿ください
字数 五百字(写真付の場合)
八百字(写真無しの場合)
締切 いつでも結構です。

「窓のついで」に
ご寄稿ください
字数 五百字
八百字
いつでも

中国支部総会 広島成蹊会

平成20年9月13日(土)午後5時30分から、広島駅前福屋11Fバンケットルーム「ルイエ」にて開催しました。総勢22名の参加でした。

鷹谷俊昭成蹊会中国支部元会長の挨拶後、相川一成(社)成蹊会会長から成蹊学園の現状報告、三宅敏文広島成蹊会会長・尾崎敏之岡山成蹊会会長から各地区の状況報告がありました。



の年に開催する。島根成蹊会の活動を支援する等を決議しました。

広島成蹊会総会において、100周年記念事業に5万円を寄付する。尾道より参加の沢田昌文・安保雅文、両氏が今後備後地区の成蹊会を立ち上げる。今後若い会員をどう呼び寄せるかを検討する等の事を決議しました。

懇親会は、相川会長と政経学部で一級先輩の堀江勉さんの乾杯で始まり、尾道出身で、東京より参加頂いた田頭信博さんの自己紹介、相川会長とキリンビール独身寮時代一緒にすごした、加賀博さんの話など、全員学生時代の思い出に花が咲き、やっと9時30分に成蹊校歌合唱でお開きになりました。

恒例の2次会も、ほぼ全員参加で行い。3次会も10名で理事会のように広島成蹊会について語り合いました。

三宅敏文(経・47年)



讃岐成蹊会

去る4月12日(土) 讃岐成蹊会総会及び懇親会が、瀬戸大橋が開通してちょうど20年の節目の年に、10年ぶりに高松市で開催されました。

午後5時よりロイヤルパークホテル高松において会員25名の出席のもと、成蹊会相川一成会長、伊東弘敦讃岐成蹊会前会長(JR四国相談役・在焼津市)に加え、愛媛成蹊会事務局福岡様、徳島成蹊会前会長代行にもご出席いただき執り行いました。

総会では千切谷讃岐成蹊会会長の挨拶、相川成蹊会会長の挨拶、伊東讃岐成蹊会名誉会長の挨拶に続き、会則・役員・会計監査が審議・承認され、場所を移して記念撮影を行いました。

懇親会では細深副会長の挨拶の後、乾杯となりました。相川会長の成蹊学園創立100周年のお話もあり、何か地域成蹊会として学園に協力できないかとの話になり、讃岐成蹊会より



平成20年度讃岐成蹊会総会 懇親会

成蹊学園100周年事業に寄付をすることが決まり、同窓生として少しは成蹊に貢献できるかな、などと考えております。中締めの後同ホテル内の小宴会に場所を移し2次会となり、旧知親交を温め時間の過ぎるのを忘れるほどでした。

今年には案内に不手際もあり、また準備不足で会員の皆様にご迷惑をおかけしましたが、来年以降は讃岐成蹊会を継続開催してまいりたいと考えております。香川県在住の成蹊同窓生の皆様、又今回出席出来なかつた皆様も次回は一緒に楽しい時間を過ごしましょう。(なお、平成

21年も4月中旬に総会開催を予定しています)

最後になりましたが、東京よりご出席いただきました相川会長、お忙しい中参加してくださった会員の皆様、今回の運営にご協力を頂きました幹事の皆様に御礼申し上げます。

中野昌一(法・52年)

も4月中旬に総会開催を予定しています)

後になりましたが、東京よりご出席いただきました相川会長、お忙しい中参加してくださった会員の皆様、今回の運営にご協力を頂きました幹事の皆様に御礼申し上げます。

中野

成蹊の風景



愛媛成蹊会



H20年度愛媛成蹊会総会を、H20年6月21日(土)に伊予鉄会館にて、開催を致しました。今回で7年目を迎えることができました。この日は4名の方が出席をされました。天候は曇りでありましたが、フランス料理のフルコースを食事しながら、楽しく懇親会を過ごすことができました。

転勤で愛媛にいない方、又は愛媛が地元で県外に転勤されている方で、愛媛成蹊会に参加しようと思う方がいましたら、是非ご参加下さい。



問い合わせ先

愛媛県松山市大可賀2-13-17
TEL 089-952-1111

担当 福崎太郎

右記へご連絡下さい。宜しくお願いたします。

福崎太郎 (法・平7年)

九州支部総会



平成20年9月27日(土) 18時より、福岡市博多駅近くのホテルレオパレス博多に於いて、平成20年の総会を開催しました。本部高橋事務局長より最近の学園の様子が紹介され、会員それぞれ樺の頌を思い出したところで、九州支部名物行事の会員の自己紹介スピーチで一層の会員相互の親睦が図られました。今年の新会員は渡辺成美(昭62年法18回)、戸張彰人(平8年経法27回)、土岐沢亮(平18年法37回)の3名です。記念撮影、校歌斉唱、万歳三唱と楽しい一時が流れ、自然散会後は別れ難くそれぞれ博多中洲の街へ繰り出したようです。



九州支部は2000年に50周年記念総会開催後、距離の差を和らげる意味で、福岡市と九州各県の交互開催を行っており、来年は大分開催を予定しております。また、再来年2010年は60周年記念総会ということで、支部長より準備委員長と若手委員数名が指名されました。

今後準備を進める中、会員各位には、気持ちよくご協力賜われれば幸いです。加えて九州支部会員未登録の方がいらっしやいましたら地域連絡先までご一報下さいませ。

安永啓一 (工・51年)

予 告

■第86回枯林忌追悼会

日時 平成20年2月21日(土)
場所

1 墓参(12時30分)

中村春二先生墓地

(巢鴨染井墓地一種イ九号二側)

2 追悼会(13時)

三菱スポーツセンター

会費 2,000円(昼食代)

申し込みはがきで成蹊会へ

■大学卒業10周年

平成11年卒業生(平成7年入学)

(工)34回 文)31回 経・法)30回

平成21年3月14日(土)

(於) 大学10号館12階

■大学卒業30周年

昭和55年卒業生(昭和51年入学)

(工)15回 文)12回 経・法)11回

平成21年5月16日(土)

(於) 三菱開東園

■第14回清和会総会

(中村清一ゼミ同窓会)

日時 平成21年2月28日(土) 午後1時から

場所 成蹊大学10号館12階ホール

参加費 6,000円

第40回埼玉寮歌祭

標記寮歌祭が猛暑の平成20年7月13日、さいたま市大宮区の「清水園」で開催されました。

第40回の記念事業の一つとして、プログラムに現旧実行委員30名の回顧の文集が掲載されました。垣生真一氏（松山高）の「花も実もある寮歌祭」と題する文中に、「声の大きい方」の一人として、旧実行委員で寮歌祭の雄故青木龍太郎兄の名を懐かしく見出しました。

今回の成蹊の参加者は、実行委員の野本兄の他、赤石、小林、西村、半田渡辺の諸兄と小生の7名でしたが、この中には他校の人から「声が大きい」と褒められる（？）者は残念ながらおりません。

ところで、この寮歌祭恒例の、辻建次氏（松本高）撰述の檄文には、毎回格調の高い寮歌の一節が引用されるのですが、今回は、それが、故青木兄の愛唱歌の一つ、成蹊の「開校十周年記念祭歌、春翠巒に」の第3節「嬰守十

年若草は吾が先人の夢の跡草創の時既に過ぎ雲に駕したる蛟龍の行手の途は難くとも斗牛を抜きて行かん哉」でした。あの世の同兄からの「大声で成蹊ガンバレ！」のメッセージのように感じられ、第1部で「校歌土の育む」、第2部で「寮歌膚を濡らす」を高唱しました。

「春翠巒に」は作詞・旧高文8回の渡邊佳英氏、作曲・文9回の朝川賞郎氏と田原良夫氏、当時の旧制高校生の気概を感じる行進曲調のメロディーの名歌です。寮歌祭関係の集まりで、故青木兄と他校の方に披露したことを思い出しますが、成蹊では現在はいく



われていないと言つてよいようです。

いつまで続けるかが話題となる寮歌祭が多いこのころですが、この寮歌祭にはまだその気配はなく、来年は7月26日に同じ会場で開催の予定です。

今回の参加者にはカメラの用意が無く、写真は武蔵野寮歌祭などでお付き合いのある橋爪英子姉（台北帝大予科関係者）に撮って頂いたものです。

島尾和男（旧高・20年）

復活第4回 東海学士会寮歌祭

表題の寮歌祭は2008年8月23日（土）、名古屋国際ホテルの大広間に約430名が集まり、華々しく開催された。今年は長野から谷喬君（旧高21）、千葉から岩崎洋一郎君（旧高23、旧制高校同窓会会長）が遙々応援参加して下さり、当地の旧高の常連3名（下

記）は欣喜雀躍。更に新制大学6名（下記）の応援もあり、総勢11名で校歌「土の育くむ」と寮歌「膚を濡らす」を声高らかに歌い上げた。また出演前後の約4時間は美酒に酔い料理に舌鼓を打ちながら、旧交を温め、親睦

を深めることができた。

なお今回の当地の参加者は次の通りであった（全員が愛知成蹊会会員、学部・学科別、卒業回順）。

旧制高校…3名

由比健郎（20理甲）、立松延廣（22文甲）、杉田精孝（23文甲）

新制大学…6名

水野康次（17政経）、斎藤政徳（36経済）、大江秀和（7電気、前島孝弘（18機械）、岩田賢一（17工経）、田中一徳（17工経）

由比健郎（旧高・22年）



きた。

（の参加者愛知成蹊回順）。

（理甲）、立子（23文

（経）、斎石田賢一（経）

健郎（旧



第42回 横浜寮歌祭

平成20年度の横浜寮歌祭は、会場を「みなとみらい」にあるパシフィコ横浜・アネックスホールに移しましたが、予約のタイミングで、初めての試みとなる月曜日の8月25日開催となり、正午より17時20分まで、参加校28校、人員約620人を集め、青春時代を偲んでの各校自慢の寮歌・校歌を会場いっぱい



に披露しました。会場の設営は昨年の

結果を踏まえて、磯子・横浜プリンス

に近い、横長の位置に舞台を設置する

こと、寮歌等は2部制にすること、お

よび丸テーブルを囲んでの飲食と歓談

ができる等の復元が配慮されたので、

活気あふれる寮歌祭となりました。

成蹊高校は、間際の体調不良で参加

できなかった3名の方を除き、10名の

常連に1名の応援が加わって11名が会

場の一卓で輪になって歓談をかわしな

がら、飲食を共にしたあと、舞台上に登

壇して、第1部の出演21番目では過去

から評判の良い「校歌」を斉唱し、第

2部の出演27番目までは、本年は趣向

を換えて、虹芝寮歌「山の友によせ

て」を斉唱して、会場より賞賛の拍手

を受けました。

なお、来年の第43回は、再び日曜日

開催に復して、8月30日に同じアネッ

クスホールでの開催を予定しております。

多数のご参加を重ねて要望いたし

ます。

井川舜喬（高・25年）

日本寮歌祭に参加して

本年の日本寮歌祭（平成二十年十月十三日開催）に参加してきました。成蹊からは十九人、ちなみに参加校五十三校、参加者八百十余人、場所は新宿NSビル地下の大イベントホールで極めて盛大に行われました。

寮歌祭とは旧制高校等の出身者が當時を懐かしんで集まり、各校が寮歌あるいは校歌などを歌って、交歓する会と云えましょう。成蹊でもこの寮歌祭にならない、春の校祭の際に「旧制高校による寮歌」と題して出演が行われております。

この機会に少しばかり説明させて頂きます。偏見とは思いますが、寮歌とは旧制高校に於ける寮で生まれた歌であると強調したいと思えます。明治、大正および昭和の半ばまで、帝国大学の予備校的存在であった旧高では寮が多かった様です。寮生活を通し、そこで生まれた歌は、多感な青年が、将来の夢と希望、あるいは思想の自由を掲げたものが多く、漢詩調に作られ、

見ても聞いても、まことに感銘深きを覚えます。

代表的なものとして、第一高等学校「嗚呼玉杯に」、第三高等学校「紅萌ゆる」、および北大予科「都ぞ彌生」等が名歌として知られています。これらは私は皆んなで歌って行きたいものだと思います。

この様に、旧制高校には寮と寮歌は缺くべからざるものであります。

さて、成蹊は如何であったでしょうか。これは「寮歌、膚を濡らす」の発祥」と題して「旧制成蹊高等学校創立八十周年記念誌」（二〇〇五・五・一五）に詳しく書いて置きましたが、一般の方は見てもらえないと思ひ、改めて簡単に紹介すると、昭和十二年

「……浅野校長に代り土田校長が来られると、気風を一新し、いわゆる旧制高校らしくあるべしと云うことになって来た。その一環として帽子に白線、次に寮生活の体験が採り上げられ、高等学校一年間は、全寮制が打出された。……明正学寮が新設されたのである。……

ところで、寮歌に適當なものが無いと云うことになったのか、とにかく

まことに

して、第

二高等学

科「都

れていま

つて行き

高校には

のであり

何であつ

膚を濡

制成蹊高

（二〇〇

て置きま

れないと

と、昭和

に代り土

を一新し

あるべし

その一環

生活の体

校一年間

……明正

……

歌に適當

なったの



く寮生で十二回文乙の霜山徳爾君が作詞したものに同期文甲の清水龍雄君が曲をつけ目出度く完成されたのが「はだえをぬらす」である……」。それ以来「膚を濡らす」は成蹊の代表寮歌として歌いつがれて来たわけである。以上の様な次第で土田誠一校長のお陰で、帽子に高校生の誇りとする白線も入り、寮歌もできました。寮歌が無くては肩身が狭くて寮歌祭にも参加できなかったでしょう。土田先生に

大いに感謝する所であります。

次に参考として紹介させてもらいます。今回の寮歌祭と別に武蔵野寮歌祭があります。これは、四高出身の市川定三氏が主催し、場所は成蹊、成城、武蔵および学習院の持廻りで春秋二回もちろん、その他の校も多数参加し、これ又、盛大に催されております。

これらの寮歌祭に於いて、私が気付いたことは、幹事役に成蹊が多いことです。更に実務は成蹊が負うところ大と聞き、私は極めて誇らしく思う次第で、深甚なる感謝の意を表したいと思えます。

以上、寮歌祭参加の報告と若干の所感を述べましたが、成蹊の寮歌グループに協力し、旧制高校生は勿論、その他の方々のご関心と寮歌祭へのご参加を、第一回明正学寮生の一人としてお願い申し上げます。

三好 榮 (旧高・16年)

追記：写真は井川舜喬 (高・25年) 撮影

卒業生の皆様へ —— 大学入試願書無料配布のお知らせ ——

書店等で販売中の2009(平成21)年度成蹊大学入学試験要項(願書)を、卒業生の皆様に無料でお送りいたします。下記の方法でお申し込み下さい。

1、願書請求方法：

電話、FAX、メールまたは郵便にて ①氏名 ②住所(*) ③電話番号 ④最終卒業校(大学は学部) ⑤卒業年 ⑥必要部数 を成蹊会までご連絡ください。(*)郵送先は成蹊会登録の住所となります。

<申込先>

電話：0422-51-2244 FAX：0422-54-6766

メール：seikeikai@jim.seikei.ac.jp

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

社団法人成蹊会 大学入試願書無料送付係 宛

2、受付期限：平成20年12月25日(郵便の場合には必着)

3、お問い合わせ：成蹊大学入試センター(電話：0422-37-3533)

加藤コミッシヨナー決定

「日本野球を勝者に」

プロ野球のオーナー会 加藤氏は秋田県出身。譲が十八日、東京都内で開かれ、加藤氏三前駐米大使(66)の新コミッシヨナー就任を正式に決めた。任期は七月一日から3年。昨年来続いていた球界のトップ不在という事態が解消される。選手が米移籍など、日本球界が直面する国際問題への対応の手腕が期待される。



コミッシヨナー就任が決まり、記者会見する加藤良三氏

加藤 良三氏(高・35年)

シヨナーは実行委員会に出席して意見を述べた。

「野球に対する情熱は、愛情の深さがうかがえる。人一倍だと思っている」と。

野球との最初の出会い。つがきで広範な知識から加藤氏の野球への父が打撃の神様、川上哲

「野球に対する情熱は、愛情の深さがうかがえる。人一倍だと思っている」と。

「野球に対する情熱は、愛情の深さがうかがえる。人一倍だと思っている」と。

「野球に対する情熱は、愛情の深さがうかがえる。人一倍だと思っている」と。

コミッシヨナーとは何か

■上

長年の外交経験を誇る加藤氏の手腕を生かすも、今後の支援態勢次第。コミッシヨナーをこれまでの巨人とヤクルトをこえたトップにしたい。米大リーグ機構(MLB)は日本のコミッシヨナーに「日本のコミッシヨナー事務局長の頭越しに巨人と交渉する。これが現実」と。元オリックス球団代表の井筒重隆・関西国際大教授は「オリックスと近鉄の合併問題に際し、根拠なきコミッシヨナー(現代版の私闘)には権限がない」の発言が巨人と相対するのが通例という。親会社の脱走新

オーナーの高い壁

コミッシヨナーを巡る主な動き(敬称略、カッコ内は在任時期)

▼吉岡 一郎(1989年3月-98年3月)
<1998年>
・脱退で有罪判決を受けた10選手に出場停止と制裁金の処分
▼川島 広守(98年3月-2004年1月)
<1999年>
・シドニー五輪(2000年)へのプロ派遣決定
<2000年>
・イチロー、マリナーズへ初のポストイニング移籍
<2001年>
・横浜の球団譲渡をきっかけに、フジサンケイグループによるヤクルトと二重出資が問題化
▼根来 隆周(04年2月-07年2月から代行)
<2004年>
・オリックスと近鉄の合併構想浮上。臨時オーナー会議でオリックス・近鉄の合併を承認
・選手会がストライキ、コミッシヨナー辞意表明
・明大・一場への金銭授受問題で巨人、横浜、阪神を処分
<2007年>
・ドラフト会議の希望枠を撤廃
・アマチュア選手への金銭供与問題で西武を処分
<2008年>
・パウエルの契約問題でオリックス、ソフトバンクの支配下選手登録申請取り下げ。両球団の契約の有効性判断には踏み込まず
・ドーピング違反でゴンザレス(巨人)に1年間の出場停止処分

権限発揮の妨げに

今後、野球協約を改正、ホルムを規制した田田武一オーナーたちとやり合って、コミッシヨナーの権限を拡大させるべく、野田は「野田はオーナーに課されたという経緯がある。コミッシヨナーは法外な過云、新人選手への要金供出を要し、研修の導入を提唱した内村祐之氏や「飛ぶ」となってきた面もある。オーナーとして八百長事件を收拾

「恩返し」の決意 難題挑む

「野球に対する情熱は、愛情の深さがうかがえる。人一倍だと思っている」と。野球との最初の出会い。つがきで広範な知識から加藤氏の野球への父が打撃の神様、川上哲

100歳の英文学者に学会賞

国際基督教大学「仕事はまだまだたくさんある」
清水名誉教授

英文学者で国際基督教大名義教授の清水護さん(100)(小平市)が、今年度の日本キリスト教文学会・学会賞を受賞した。大学の卒業論文をはじめ、昨年まで手を加え続けた25本を収録した論文集が高い評価を受けた。27日に都内で祝賀会が開かれ、「後の人のためにやっておいただけの仕事は、まだまだたくさんある」と今後の研究にも意欲満々だ。

(門間順平)



研究に衰えない意欲を持ち続ける清水さん

1908年、戦前の台湾・台中市生まれ。実父は牧師で、5歳の時、やはりキリスト教信者で警察官だった男性の養子に。東京帝大で英文学を学び、卒業後は成蹊高・成蹊大で長く教鞭をとった。戦後は米ハーバード大、英マンチェスター大への留学も経験。63年の英語教育協議会(ELIEC)の創設にかかわり、後に理事長も務めた。戦時下、英語は「敵性語」とされたが、勤務先の成蹊学園が「リベラルな雰囲気だった」(清水さん)せいもあって意に介さなかった。学生たちと避難した疎開先の箱根で英語を教えた。一方、聖書研究者として、空襲でヘブライ語の原典を失ったことが最も辛い思い出という。

今回、受賞対象となったのは、昨年10月に刊行した「英訳聖書の語学・文学・文化的研究(学術出版社)」。聖書とシェイクスピア作品の表現の共通点を指摘しているほか、旧約聖書に見る「再生の思想」を解説している。

清水さんは、99歳で研究の集大成を刊行したことを「たまたまだった仕事を片づけただけ」と照れ笑う。長く現役を続けていることについては、「よく病弱で神経質に見られるが、終戦後に栄養失調で肺炎を患ったぐらい」と健康への自信を強調。「焦らない性格だったから、こまめにやっていた」と話す。

27日に都内のホテルで開催された祝賀会には教え子ら約50人が集まり、自ら題名を決めたという記念誌「回顧即感謝」を受け取った。「やりたい研究はたくさんあるが、全部やれるとは思わない。誰にでもやり残した仕事はある」と後々とした様子で清水さん。「これだけでも成し遂げたことを感謝している」と控えめに喜びを話している。

清水 護 先生

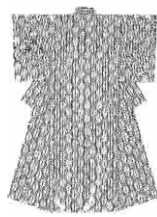
読売新聞 2008年(平成20年)10月28日付けより

新しい着物 絣で表現

日本伝統工芸展入選 八峰の山本さん

8月末に発表された第99回日本伝統工芸展(朝日新聞社など主催)の入選作の展示会が12、17日、仙台市青葉区の三越仙台店で開催される。県内からは八峰町の山本千秋さん(55)の染織部門から3人が入選した。山本さんは44歳で着物の世界に入り、4回目の挑戦で果たした初入選だった。

44歳で一念発起 専門学校で学ぶ



「絣」という伝統技術を使っ て新しい着物を表現したかった」と山本さん。絣とは部分的に染めた糸を織り上げることで十字や格子柄など、幾何学的模様を表現する技法。入選作の「天の河」は、

灰色や黄色に染めた絹糸を織り、夜空を流れる星を表現した。八峰町出身。大館市の高校、成蹊大を卒業し、東急ハンスのカーテンの仕入れ担当として、メーカーと共同企画を提案してきた。



「着物のデザインを考えていると時間を忘れる」と山本さん。八峰町八森中浜

る不安もあったが、「いずれは秋田に帰るつもりだったので、手に職をつけたかった」。

専門学校では10代の学生とともに、基礎から学び、卒業制作の着物が横浜市の作品展に入選した。これが励みになり、卒業後、本格的な制作活動に入る。「織機はボタン、ボタンと音がするから」と都内のアパートから千葉県の郊外の一軒家に引っ越して着物作りで没頭した。

04年に親の介護のために帰郷後、年間3〜4枚の着物を仕上げてきた。母親と2人暮らしをしている。

「天の河」の制作期間は約3カ月。染色はソバキの実や木の皮を煮た鍋で、束にした絹糸を染める。そして織機に1100本の糸を1本ずつ順番に並べる。たるんだり、順番を間違えたりすると、柄がずれてしまう。根気のいる作業だ。最後に1日8時間、3週間かけて織り上げた。

「着物のデザインを考える時間が一番楽しい。自分しか作れない着物を発表していきたい」と山本さん。

県内からは他に、秋田市の千貝弘さん、金工部門、林美光さん、同じく入選した。

山本 千秋氏

朝日新聞 2008年(平成20年)11月1日付けより

武蔵野スポーツ ノンフィクション

箱根路をかけたエースの激走

箱根駅伝出場をかけた全長20kmの予選会。仲間の気持ちに応えるため、成蹊大学のエースは最後の走りにすべてを懸けた。

昭和記念公園を走り抜け、立川市街に入る5km地点までは順調だった。成蹊大学のエース鈴木涼介（4年）はレース前、多少の身体重さを感じていたが、関東学連選抜に選ばれた目安、20km62分のペースはまだ十分に保っていた。

前夜のミーティングで確認し合った。10人の合計目標タイムは11時間20分。ひとり平均68分。そして「鈴木先輩を箱根に連れていく」。主将の末澤光一（3年）が仲間目を見て真剣に言った。末澤は鈴木を箱根駅伝出場を強く願っていた。自分たちの仲間が箱根に出場すれば箱根を身近に感じられる。成蹊大学を今以上に引き上げるため言い続けてきた言葉は10人に深く浸透していた。

鈴木は高校時代、陸上の古豪・鎌倉学園で関東大会に出場した実績があり、5000mは14分48秒の自己ベストを持つ。成蹊大学の陸上競技部に入学したとき、ひとりレベルが飛び抜けていた。現在の長距離担当コーチ・柿沼賢樹が4年、鈴木が1年だった。「陸上選手は練習に没頭し過ぎる真面目な選手が多いが、鈴木はオン、オフの切り替えがうまい」。鈴木は1000mの通過タイムを他の選手より5.6秒速く設定するほど、毎年チーム内で最も質の高いメニューをこなしてきた。例年夏場は菅平や川口湖で4泊5日の合宿を組み、陸上に集中できる環境に身を置いた。今夏、鈴木は合宿で主将の末澤とともに900kmの練習量をこなした。すべては関東学連選抜に選ばれ、箱根に出場するために。



だが10月に入っても調子が上がらず鈴木は焦った。軽いジョギングで流す時は常に「箱根」の二文字が頭をよぎった。これがラストチャンスだと思ふと必要以上に身体に力が入った。



ゴール後、倒れこむ成蹊大のエース鈴木涼介選手 (写真・武山智史)

けを追った。去年までは、苦しくて集中力が途切れると、さすがの思いで沿道の「成蹊大」の文字を探しながら、後悔の残るレースを続けてきた。苦しくて足が痛くて、このレースだけは絶対に集中したい。自分はチームのエースだ。学連選抜に選ばれなくても、エースとして絶対に諦めない、仲間のために自分がタイムを稼ぐ……。1時間4分20秒。鈴木は左足を引く振りながら成蹊大学のブルーシートに倒れこんだ。澄み渡った青空が目に飛び込んできたとき、すべてが終ったと感ぜられた。OBが歩み寄り、鈴木を慰め、涙が溢れて止まらなかつた。全力を出し切った充実感とわかつた。4年間で最もタイムは遅かつた。けれど、心のどこにも悔いはなかつた。成蹊大学は総合タイム11時間46分49秒、参加47校中36位だった。4年生3人が抜ける穴は米春の新入生で埋めなければならぬ。箱根路へ先は長い。

12月には学習院、横浜国立などスポーツ推薦のない学校が集まる十数校の対抗戦がある。鈴木涼介はこれが今年の成蹊大学の集大成だと決めている。「自分は言葉で言うのは苦手です。今までもそうだったように、卒業前にもう少しだけ、先輩たちに走りで見せませう」 (文・鈴木康浩)



武蔵野スポーツ新聞 2008年(平成20年)11月号

成蹊大 強豪との連戦で得た手応え

成蹊大は関東大学対抗戦Aグループに復帰して2シーズン目。レベルの高いリーグで強豪校を相手に厳しい挑戦を続けている。今季の序盤は明治大、帝京大にいずれも零敗。何としても勝ちたい、まずは得点がほしい。迎えた第三戦の相手は対抗戦7連覇中の強豪・早稲田大。それでも成蹊ファイティーンはひるまず、強豪・早稲田に対して低いタックルを繰り返して、徐々に点差が広がり、なかなか得点が奪えない。後半27分、成蹊大はついに早稲田陣に深く攻め入り、ゴール前5mで相手の反則を得た。ゴールを相手は確実に3点ももらえる。だが、主将・藤巻洋平の選択は「回せ」だった。



ベナルティ・キックではなく、トライを狙う。「球出しのオプションはいくらでもある。早稲田を相手に、自分たちのラグビーでトライを奪おう！」

素早く左サイドに展開し、主将の藤巻にボールが回った。瞬間、藤巻が早稲田のディフェンスをつかまった。決定的な得点機を逸した。悔しいが、あの選

関東大学対抗戦A 星取表

早稲田	明治	帝京	立教	日本体育	山梨学院	清泉女子	法政大学	成蹊	武蔵野	共立	国士	中央	東洋	流通経済	法政	法政	法政	法政	法政	法政
10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00	10/20 14:00

「早稲田に通用した部分もある。しっかりとタックルが入れば、ターンオーバーからトライに持ち込める」 (藤巻主将)

成蹊大にはスポーツ推薦の制度はないが、選手の3分の1が、花園(全国高校選手権)の経験者だ。次は11月の筑波大、日体大、立教大との3連戦に照準を絞る。最低2勝を目標に戦う。

成蹊陸上部 箱根予選会 昭和記念公園で激走

成蹊大は5000m17分の標準記録を10人がクリア。10月18日(土)、4年連続で箱根駅伝予選会出場を果たした。詳細は、「武蔵野スポーツ」ノンフィクション(4面)へ

扱を悔いてはいない。チーム全員が手応えも感じた。「身体を張って、みんなよくついて来てくれた」(ナ

「早稲田に通用した部分もある。しっかりとタックルが入れば、ターンオーバーからトライに持ち込める」 (藤巻主将)

～私の推める本～

『論語物語』

下村湖人著（講談社学術文庫、本体価格1,000円）

高橋章建（法・60年）

その頃、父の書棚には、史記や三国志、水滸伝、礼記、詩経といった本がびっしりと並べられていた。小学生低学年だった私は、漢字ばかりの題名と本の厚さ、そして何より表紙の古さに、何やら謎めいた印象を受けていたのを覚えている。その後次第に本の内容が分かるようになったものの、小さい頃の印象が深かったせいも、その表紙をめくることはなかった。

その後、高校生となった私に、父が勧めてくれた一冊の本があった。書棚の蔵ついで本ではなく、隙間に横積みされていた緑鮮やかな表紙の旺文社の文庫本であった。「論語物語」と書かれており、作者に見覚えはなかった。小学生の頃から運動部で毎日を送っていた私は、読書好きとは到底言えず、加えて「おもしろいから読んでみろ」と言った父の、元来からの口数の少なさもあり、強く勧めてくれたとも思わなかったためか、すぐに読み始めることはしなかった。

その本を手にするようになったのは宅浪時代、受験生必読と言われていた面白いとは言えない本を必要に迫られて読み漁っていた頃だった。

手にした本には、論語の一節を基に、孔子と弟子との人間味溢れた関係が、孔子との問答を通して描かれていた。特に孔子の子路に対する厳しくも暖かな師弟関係と深い絆が私の心を揺さぶった。本を一気に読み終えて一息つくると、その本を再び



読み始めた。浪人という精神的不安定さのせいも、物語のもつ魅力からか、再び異世界に浸っていった。

「論語物語」に描かれた子路の人間性に興味をもった私は、そのまま中島敦の「弟子」も手にした。そこには、孔子と子路とのまた別の師弟関係が描かれていたが、私の感じた師弟の絆の深さは同じであった。

それから「論語物語」は、私の座右の書となり、父から譲り受けた本は時間とともに茶色く変色し、表紙も傷んだため、茶皮のブックカバーを掛けた。28篇に及ぶ孔子と弟子達との物語は、自身の姿に照らして省みる本となった。

この物語が私の奥底に深く浸透して行ったためか、長男の誕生した日の深夜、書家、王羲之の「義」と子路の「路」をとり最初のわが子を義路と名付けた。

● お願い

同窓会の要は、まず名簿の整備に始まり、名簿の整備に終ります。

成蹊会では各中学校部の周年行事や各種同窓のつどい実施のご報告を戴く都度又ゼミナールや体育会文化会OB会地域成蹊会等のご協力を得て、住所不明者を少しでも減らすべく努力してまいります。

しかし、未だ二割程度の方々の住所が不明です。

一層充実した名簿と同窓会活動活性化の為に、ご存知の方の住所が漏れておりましたら、本部宛に是非お知らせ戴きたくお願い致します。

本部ではご本人に確認の上、会員データの更新を行います。

● 会員名簿取り扱い上のご注意とお願い

成蹊会の会員名簿には個人のプライバシーに関する重要な項目が盛り込まれています。

「会員名簿」の発行を続ける為には、その取り扱いに十分注意し、責任を持って利用されるよう、ご配慮をお願い致します。

特に古い名簿の廃棄処理は、廃品回収に出さずに、細断破棄して戴くか成蹊会宛にご送付ください。

まず名簿
終ります
校学部の
施のご報
育会文化
を得て、
く努力し

割程度の
簿と同窓
方の住所
に是非お
。ご確認
す。

取り扱
い注意

簿には個
な項目が

発行を続
分注意し
へご配慮

廃棄処理
破棄して
い。

会員動静

◎ 本会員動静は会員総会（平成20年6月開催）出席状の近況欄にご記入いただいたものです。 ◎

安達 彰（法54年）陸上自衛隊

帯広の北四十kmの鹿追で勤務しています。単身赴任が続きます。然別湖十東・西ヌブカウシヌブリと自然の中で勤務し定年前（三年）の総決算です。札幌の妻はたまに来鹿し別荘気分です。年離れた両親は川崎で、心配する年齢です。

赤石 定次（政経27年）

昭和23（一九四八）年、文甲二年の時、聴講中の講義の中で猪木正道教授が「21世紀は印度と中国の時代だ」とズバリ言つてのけた。米ソ二大強国冷戦のさなかに60年先を見越した発言、その洞察力はただただ驚嘆のほかはない。

赤星 國夫（旧高13年）

今秋満九十才を迎えます。時折心力を歌を音読し昔をしのんでいます。体力が年々低下しますが、ボケ防止にと毎日約二万歩、又老人ホームと自宅の間往復二十軒の安全運転につとめています。

秋山剛一郎（政経30年）

元気に年を順調に、人なみに一生懸命、とつています。

井上敬次郎（政経39年）

現在「成蹊グリークラブ」という、成蹊人ならどなたでも参加出来る男声合唱団でハーモニイを楽しんでおります。月に二回の夜の練習ですが、一人でも多くのお仲間を増員したく、ご参加下さい。

連絡先 042-583-9363

井上 哲彦（政経32年）

四川大地震の災を転じて福となそう。日本は地震に強い中国の再建に協力しよう。中国は軍備増強、反日教育を止めよう。空母建造撤回を言明しよう。日中は血を分けた兄弟。日本語の「愛する」は中国語の「我愛你」から来ている。

伊藤 眞一（政経32年）

人材紹介をしています。三菱重工にも何人が採用頂いています。ご用の節はお申し付け下さい。

池上 茂（フレメ29年入）原生荘病院

現役で病院経営・診療・看護教育に活動しています。体調は良好です。

池田 幸子（文49年）（旧姓多賀）

嵐の季節を通り過ぎると、ここ数年子供たちの結婚、孫の誕生と慶事が続き嬉しい限りです。自分の活動も充実させ、健康に留意して過ごさねばと思つています。

池原 正夫（政経36年）山武

今年古稀を迎えましたが、幸い健康に恵まれ毎週ゴルフを楽しんでおります。

石井 直樹（経50年）新日本空調

中央三井信託銀行約三十年勤務後、現在新日本空調(株)に勤務しております。

石谷 達夫（経48年）京王建設



関東インカレに4日間とも応援に行きました。

2年生の田中君が100m予選で10秒58の成蹊新記録を出すなど好調で、100mは優勝。200mも4位で、現役はもちろん、OB・OGも大いに楽しむことができました。

稲田 道明（経56年）SMBCセントラ

三井住友銀行を退職し、関連会社にて転籍致しました。

今泉 正夫（高40年）日本能率協会

現在の仕事に就いて三年になります。仕事柄出張が多いですが、いろいろな業界の経営者のお話を聞くのを楽しみに、全国を飛び回っています。

（政経36年）

迎えましてゴルフを

（経50年）

託銀行約 託(株)に勤

（経48年）

関東イ

とも応援

2年生

（経56年）

1)を退職

（高40年）

に就いて

多いです

のお話を

び回って

臼井 年胤 (政経31年)



三月に第一回家事検定受験。三ツ星はとれなかつたが八十七点の二ツ星。後期高齢族としては先ず先ずか。

久々にテニススクールに参加したが、眼にボールが当たりダウン。身の程を知る。

歌橋 一典 (旧高10年)

書初めに九十四体の寿字を軸装とし、一昨年世界一周船旅の折の水彩画スケッチと西行の歌を彩際会に出陳、陶芸では五月のチャリテイ展に兎の画と西行の歌を陶板として出品。俳句、謡曲もやっています。何れも果け防止策です。

梅林 正直 (高27年) 三重大学名誉教授



タイのチェンマイを基地として始めた山岳地帯の植樹ボランティア活動も十二年経過。梅約二万本、タイのマナオ約二万本を寄贈・植樹した。七夕植樹祭の方は八回目を迎えて、日本から二〜三十名も毎年参加されるようになった。

小倉美知子 (文47年) 千葉大学

5月にポーランドのアダム・ミックエビツチ大学から論文博士を取得しました。

た。これで28年前のPhDと今回のD Littの2つの学位により、正式にProt. Dr.をタイトルとすることが許可されました。これからも頑張ります。

小澤 利男 (旧高24年)

医師となつて老年医学を専門としましたが、自分が卒寿に近くなり、自身が観察対象となりました。二〇〇九年六月には、老年学会会長としてパシフィック横浜で学会を開催します。後期高齢者がひとつの課題となるように思います。

小田部 裕 (経47年) エムジー商品試験センター

本年三月から銀座松屋の子会社(株)エムジー商品試験センターへ転職しました。食品や衣料・雑貨等の各種検査を行なう企業です。現在大学剣道部のOB会長として学校へは時々顔を出し、学生達と清々しい汗を流しています。

小野寺久穂 (法・平3年) IBC岩手放送



平成三年卒、同期の皆様へ。仙台勤務を終え、地元の盛岡に戻ってきました。街中から抑々秀峰岩手山の美しさに、ふるさとのありがたさを実感しております。お近くにお越しの際は、ご連絡下さい。

小尾 幹男 (工43年)

一月二十五日〜三十日に、JAL機長武田攻良(機械科三回生)の操縦する飛行機で、中村園夫(機械科三回生)が大使を務めるパラオ共和国へ、機械科三回生十名で旅をしました。成蹊大、工学院大、芝浦工大で講義を継続中。

小山 忠男 (政経31年)

昨年上場までということ、手伝っていた会社を退任し全くフリーとなりました。専ら昔からの絵と下手法なエレクトーンの演奏で、画展出品、近くの老人ハウスでの演奏やらカラオケ伴奏等につとめております。メタボ化中心心配。

緒方四十郎 (旧高22年)

成蹊出身初の宰相の出処進退の見苦しさに失笑、成蹊教育に欠陥がなかったのか、心配しております。

大河原慎太郎 (工43年) インスジェネル企画

いつになったら、高齢者が安心して生活出来る、日本になるのか? もっとと、高齢者の声に聞くミミをもつてもらいたい。

大河原大次 (高29年) 日本橋大河原クリニック

日本橋で開業して2年になります。

耳・鼻・のどでお困りの事があれば御相談下さい。

大谷 久行 (工48年) ビー・アール・アイ

理工学部になってからの卒業生が活躍することで同窓会名も理工学部同窓会に変わりました。内容・活動も変えていかないとはいけません。学部卒業生の積極的な参画を望みます。また20代30代の方も加わるチャンスです。

大野伊智郎 (経61年) 鷗州コーポレーション

広島に来て二〇年以上の歳月が過ぎました。現在は鷗州コーポレーションという学習塾事業、AICJ鷗州学園という学校法人のそれぞれ役員をしております。広島にお寄りの際には、是非ご連絡ください。

大村匡一郎 (旧高13年) 資生堂

6月で満90才になった。S13年文科乙類の人間は小生ひとりになってしまった。誠に寂しいきわみである。酒と花と、オペレッタその他の多くの知人達の交流をたのしみに生きている。ひとり暮らしの老青年である。

岡田 正昭 (政経41年) ジエイエムオフイス

宮城成蹊会会長拜命して二年目盛會を期して行動を興している。二年目シンクス、勝負処は今年だなと考えている。

(工48年)

なつてか。会名も理。内容・。望みます。チャンス。

(経61年)

二〇年以。は鷗州コ。事業、A。人のそれ。島にお寒。さい。

(旧高13年)

才になつ。は小生ハ。寂しいき。レッタそ。たのしみ。老青年で。

(政経41年)

会長拜命。を興して。クス、勝。

東北六県を含めて全国に開かれた宮城成蹊会の運営を目指したい。学都社都温泉捧振郷食材豊富来仙大観迎。

奥田 淳 (工51年) 三菱重工環境エンジニアリング

齢五十を越え、平日より休日の方が忙しい生活になってきました。ゴルフも成蹊体育会時代より上達したような...

香椎健太郎 (政経38年)

面白き事も無き日を面白く過すべく一人で頑張つて居ます。今年には高校卒業五十周年の集りがありますので同学年の皆様ふるつてご参加下さい。後輩のジャズトランペッター市原ひかりさんを応援して下さい。

加藤 鈴幸 (アレメ34年入) 衣ヶ原病院

昭和34年から昭和36年の2年間、成蹊大学医進課程を修了。大阪医大を卒業、愛知県豊田市の衣ヶ原病院で、精神科医として理事長兼院長職をしています。「光陰如矢」で先日、所属の豊田加茂医師会より古稀のお祝いを受けました。

加藤善一郎 (政経35年)



卒業して48年。札幌に転居して10年、久し振りに4月に上京し、長男(成蹊大卒)と成蹊桜祭を楽しみまし

た。成蹊会北海道支部の集りも楽しみにしています。札幌では、妻と二人で週一回のゴルフを楽しんでいます。

笠原 修一 (法52年)

社会保険労務士をしております。また、年金記録確認第3者委員会の地方第3者委員を務めています。

金井 徹 (政経33年)

クラス会・OB会等の案内が多くなつたようで後期高齢者の域が近づいて来た感じですが。足腰丈夫で元気に暮しています。

金井 弘夫 (旧高24年) 東京環境工科学院

後期高齢者になり、体を使う仕事はそろそろ終りです。頭を使う仕事は元々しないから、定年のとき持ち帰って以来そのまゝの荷物の片付けでも始めようと思えます。

狩野洋太郎 (旧高17年)

本年四月にニューヨークから英国へ往復したクインメリー二世号の船旅はとてよ良かった。四月二十二日サザンプトンで、QE2及Qヴィクトリアとの三隻のランデブーが実現して、今想ひ出してもぞくぞくする思ひ出となつた。

釜谷 徹 (政経44年)

退職後、陸上部OBとして、マラソンに頑張つてます。当面の目標は、世界五大マラソンの完走です。(ニューヨーク、ボストン、シカゴ、ロンドン、ベルリン) 記録ではなく、あくまで、完走が目標です。健康のため走ります。

川口 尚 (政経43年) リバーリップス

39年の会社生活も終了。今は、週2回程都心の関連会社へ出ていますが、いよいよ第2の人生です。平穩無事で、健康な暮らしが一番だと思ふ年令になりました。

川口 弘展 (工49年)

サラリーマン人生最終章を頑張つていきます。

川嶋 一修 (経59年) 東武鉄道

昨年から新しい職場に移り、東京スカイツリー建設現場の横で働いています。日々移り変わる現場を見ながら完成時の勇壮な姿を思い浮かべ、大事業に携われる喜びを胸に仕事に勤しんでいます。

川村 次郎 (旧高16年)

地元の体操教室に週2回通っています。新しいお友達も出来まして、楽し

い教室です。桜祭のOB合唱にはこのところ連続出演です。色々と楽しみが増えました。

菅野 建雄 (政経39年)

一昨年から神奈川成蹊会の連絡係をしています。本年は十一月十四日にホテル・ニューグランド本館で開催。開会は十九時。次回出席希望の方は、会誌の同窓会連絡先一覧をご覧下さい。ロケーションも料理グー!で楽しい同窓会です。

城戸 喜子 (高30年)

19世紀の遺物とも言える闇の組織と闘争中。日本の未来を暗くするこの組織の徹底的打倒を目指して奮闘しております。毎日充実した生活です。

その他に30年近く習っているイタリア歌曲と取り組み、現役中余り知ることのなかった日本の文化について学んでいます。

北村 中也 (アレメ26年入) 口腔保健医療研究所

NPO法人の研究所を水道橋に設立して、はや七年になります。現在三十数名の先生方が在籍し、調査・研究、学会発表、学会誌に論文を掲載しています。成蹊出身の先生もおられます。関心のある方、一緒にやりませんか。

桜祭のOBです。

政経39年

神奈川成蹊会は今年十月十四日にホテル・ニューグランド本館で開催。開会は十九時。次回出席希望の方は、会誌の同窓会連絡先一覧も料理グー!

高30年

物とも言う未来を暗くするこの組織の徹底的打倒を目指して奮闘しております。毎日充実した生活です。

アレメ26

研究所に在籍し、学会誌に論文を掲載しています。成蹊出身の先生もおられます。関心のある方、一緒に

限部 清一 (政経38年)

卒業して四五年余お陰様で元気で頑張っています。

孫の相手をしたり旅行に出掛けたり楽しんでます。

黒崎 昭二 (旧高22年)

シコク88ヶシヨレイジヨウマイリノカワリニ、タマガワ88ヶシヨレイジヨウマイリヲココロザシ、デンシヤバスジテンシヤフリヨウシテモツカスイコウチュウイチバンハカワサキダイシ、ケンコウダイイチデゼヒタツセイシタイ。

桑田 直 (政経40年) i Test

仕事は週一回。体力維持の為のワークアウトを週五回と極めて健康的？な生活をしています。

桑山 晶次 (政経41年)

四十年余の国際通信事業への奉職を終わり、これからは自然と共に、と山歩き、スキー、孫とのキャンプ、釣と遊び惚けております。先日は、ESSの同期と旧交を銀座の飲み屋で暖めました。

小島 明 (政経30年)



高校地理研OBの中島啓雄君が旭日重光章受章。叙勲は石田穰一大先輩に

次ぎ二人目。当時の我々仲間ほろくに研究もせずいつも野球ばかりだったが、世に出て今や喜寿や古稀。未だに仲良く集っている。一貫教育の有難さです。

小嶋はるか (高・平5年)

文化財建造物保存技術協会

昨年ようやく一級建築士を取得しました。仕事でも責任ある立場となるための講習会を修了し、大きな一歩を踏み出したという感覚です。転勤も多く、女性の少ない職場ですが、これから道を切り開いていきたいと考えています。

神志那麻海 (法・平17年)

(旧姓鈴木) エム・ファイールド



今年の十一月に第一子が誕生する予定です。私が成蹊学園で学んだ

のは大学四年間のみでしたが、キャンパス内を顔を見つ赤にしながらマラソンをしていた小学生を思い出します。子供も成蹊学園で学んでくれれば、と思っています。

小林 敏久 (旧高24年)

旧制高校第二四回有志懇親会を毎年四月第一土曜日に開催。来年は四月四日に有楽町ニュートキョー九階で行

います。

連絡先、〇三・三七二四・五〇九二

小林 宗 (政経42年)

昨年6月末三菱ケミカルG会社を退社。本年9月アフリカ最高峰キリマンジャロ登頂にむけて特訓中。

小林 弘明 (政経35年)

70才を過ぎると同窓会誌を見ていても、物故者の欄に目が行ってしまう。今回も大学時代に親しかった友人が載っていて驚いた。いつまでも若いつもりでいても、いつのまにか老人の仲間に入っている。残された余生を楽しく生きよう。

紺野 眞一 (経59年) 保険

元気です。皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

後藤 直記 (経53年) 曙ブレイキ工業

早いもので今年で勤続三十年。会社からのお祝いとしてJTBの旅行券三十万円分をいただきました。二人の子供たちの学費の支払いに追われ生活は苦しく、久しぶりの旅行にどこへ行こうかと嬉しい悩みの今日この頃です。

佐藤 洋史 (政経43年)

住まいが学校の近くですので、桜祭釋祭に行ってます。同級生、先輩に会

えるのが楽しいです。騒ぎすぎとの声もありです。吉祥寺は都会でもあり、緑も多くよい街だと思います。散歩していると同窓生に会います。

齋藤 明美 (文55年)

(旧姓星野) 群馬県桐生市立広沢小学校

成蹊桜祭の折に訪れた新しい図書館芽吹き始めた樺の緑のさわやかで美しくなったこと。

混声合唱団のなつかしい仲間との再会、愛唱歌の合唱。そしてフォーシーズンズのライブを夫と共に楽しみました。来年は、ぜひ、一緒に。

斉藤 邦彦 (高28年) 外交知識普及会

幸い新しい仕事も出来て元気に暮しております。ゴルフは楽々と100を超えようになりました。一月に酔っぱらって顔に火傷をしてからしばらく酒量を控えていましたが、もう元に戻りました。

齋藤 悠 (政経43年)

成蹊会を退職し今年三月に学園理事の仕事も離れ介護中心の暮らします。次世代にバトンを継続する年代となり、同窓会を通して現役学生を支援する同窓会活動は私の年令に最適だったと実感しているこの頃です。

酒井 四平 (政経28年) 安田教育振興会

千葉支部は今年で57回総会を迎え後

います。吉祥寺は街だと思生に会い

(文55年)

折に訪れ樺の緑の

のなつか台唱。そを夫と共、ご一緒

(高28年)

仕事も出ゴルフはなりまし火傷をしいました

(政経43年)

職し今年介護中心を継続して現役学の年令にの頃です

(政経28年)

今年で57

期高齢者の参加の激減に時代の流れを思うこの頃。安田支部長も小生も喜寿を迎え新体制づくりが喫緊事です。一昨年手術した前立腺がん、小線源治療も奏効しQOLに心がけております。感謝。

坂口 哲茂 (法50年)

年金受給年令に達するまで何年かありますが、無理に求職しないことにしました。

品川 和彦 (政経44年)

今、想い出として、今から何年前になるのでしょうか？

成蹊学園のDNAをもった同志が、友となり、社会を啓発していかないと、会社をリタイアした今、思っている次第です。

日本よがんばれ！、成蹊よ、がんばれ！

島村 隆一 (政経44年)



縁あつて青森県行政のお手伝いをして1年、青森三菱自動車社長の佐々木さん(お父上が青森市長)とは明日の青森を熱く語り合っている。どこにあつても成蹊人が活躍している事は嬉しい限りだ！

白井 長生 (法63年) 餃子計画



兵庫の地に七年あつと、いう間に四十を過ぎ、時が過ぎるのに驚くばかり。

シラーの至言「矢のように早く」飛び去る時間を学園生には思い残す事なく青春を過ごしてもらいたい。私は今、愛馬を持つ為に頑張っています。

甚田 和幸 (法49年) 金沢市

金沢市役所に入庁して三十四年が経ち、時の流れの早さに年齢を感じています。二年目まで金沢二十一世紀美術館に勤務した関係で現代アートに興味が出てきています。八月まで開催された「ロン・ミュエク展」最高でした。

杉原 泰馬 (高27年) 国際大学

話題をさらっている後期高齢者の一員としてガンバッテ元気になっています。

杉村 春日 (高45年) セラヴィ新橋ク
リニツク

各種健診、人間ドック、治験などいたしております。

杉山 伸悟 (法46年) 静岡県労働金庫

定年退職まで、あと10ヶ月程となりました。継続雇用を選択するか、新たな職場で就職を求めるか、迷っています。いずれにしても、年金が満額出る

64才までは働かねばならない世の中になつてきたように考えています。

鈴木 勉 (経47年) ワークアクト

今年の7月で新潟の2社は引退して相談役です。30年がんばりました。あと仙台、東京は4年位かかりそうです。60才引退を夢みていましたが、もう少しかかりそうです。

関谷 美幸 (経53年)

毎年、暮の第九も恒例となり、元気に過しております。来年は、ハイドン『天地創造』に挑戦します。

千秋 健 (法53年) 城南信用金庫

ゴリラの鼻くそを製造販売している(株)岡伊三郎商店の岡和正君は、二年留年して昭和五十四年に卒業(やつと)。今は島根県ではなく全国的にも有名な人になりました。人間わからないものです。

園部 宵子 (文44年)

定年退職し、のんびりしております。ボケない様に何か始めなくてはと思っております。

田子 葉子 (高35年)

お陰様で毎日元気で楽しく生活しております!! 初孫航太郎が四月より幼稚園に入りました。四年間、両親の深

い愛を一身に受け安定した日々を過ごし、時が来てさつさと自立して行きました。

ほつとして、少しホロリ...です。

田辺 恵三 (高53年) 西華産業

皆様お元気でお過ごしでしょうか。吉祥寺に移り住んで早や9年、四季の彩りと、成蹊の息吹を間近に浴びて、家族共々元気に生活しております。

田淵 正昭 (工43年)

一月に機械工学科三期生有志十人で同期の武田攻良君が操縦する日航機に乗り、同じく中村園夫君が大使を勤めるパラオ共和国に行つてきました。南国の楽園で旧交を暖めながら素晴らしい思い出ができました。

平 武俊 (経55年) 共立航空撮影

調布飛行場で航空写真の撮影をやっています。社名は共立航空撮影です。小学校〜大学までの同窓会や渋谷成蹊会など年々成蹊OB諸氏との交流が活発になっていきます。桜祭では毎年新井ゼミOBでおでん屋をやっています。

高田 聰 (ラメ29年入) 高田整形外科
科内科医院

目黒線西小山駅下車徒歩2分の地で医院を開業して約28年になります。成蹊高校の同窓生の色々な健康相談のつております。多少役立っているかな

受け安定さつさと

少しホ

(高53年)

お過ごし早んで早の息吹を生活し

(工43年)

士学科三長君が操縦園夫君に行つて旧交を

(経55年)

航空写真共立までの同窓OB諸君です。桜祭をん屋を

ラメ29

出駅下車約28年の色々な色々多少役

と思っております。日本の医療は小泉竹中宮内氏により崩壊させられました。

高橋 章建 (法60年) 成蹊大学

今年には茶道部五十周年で幹事役として、何かとあわただしく過ごしてきました。OB稽古、記念誌の発行記念パーティー、史料館での記念展示と盛りだくさんの一年でした。OB、現役一致団結した一年でした。

高橋 宣道 (経・平9年) ニチレイロジグループ

都内百貨店のデパートの食品売場への共同配送をしています。ニチレイロジグループを宜しく願います。

高柳 慎一 (経45年)

六十一歳となり、会社を辞めて二年目となり、会社で働いていた時にないさまざまな楽しさを実感しています。今までにない好きな趣味以外にも、歩けるさまざまな場所、天気の変りやすさなど、生活には楽しさがいっぱいあります。

力石 浩 (法47年) リキ・インターナショナル

エネルギーコンサルタントとして独立し4年目に入りました。還暦を過ぎたのあちらこちらに多少問題は出て来ましたが、それらを何とか乗り越え元気に毎日を過ごしております。

辻 至 (経49年) みずほビジネスサービス

高校時代のバンド仲間五人が集まりオヤジバンドを再結成しました。歌とギターは藤村君、奥村君、ベースは赤羽君、ドラムは鈴木君、ギターは私です。月一回ロックンロール、プレスリを練習し来年の桜祭をめざし頑張っています。

寺澤 廣一 (高40年) 東京大学

東京大学産学連携本部に特任教授として着任してから三年が経ち、今年から海外企業との長期的且つ戦略的な共同研究の創出を目指し毎月の様に海外出張しておりますが、本郷にお出掛けの際は是非お立ち寄りください。

徳光 健 (工・平1年) ダウ・ケミカル日本

勤務先自動車材料事業部の品質担当責任者を任命され7年の海外駐在から日本に帰任して参りました。欧州在住中はロンドン成蹊会の藤田先輩に公私とも大変お世話になり、成蹊会の恩恵を受けさせて頂きました。有難うございます。

中島 朝彦 (旧高16年) 同文館出版

どこかといって不工合のところもなく至極元気です。できるだけ身体を動かし、体力の維持につとめています。

中曾根純也 (政経44年) EMIミュージック・ジャパン

ギリギリ現役、元気です!

中村かつ美 (文52年) (旧姓野原)

四月から息子が一人暮らしを始め、ホッとした反面、何となく寂しい毎日です。

十年ぶり位で人間ドックを受け、これからは自分の健康に注意しながら、おおいに楽しんで生きたいと思えます。

中村 公一 (高29年)

10年ほど前から始めたジョギングはまだ続けています。今年はずれでしたが19年2月に東京マラソンも走りました。ゴルフは止め、テニスで瞬発力のおとろえを防ぐとあがいています。今のところ、まだ働いています。

中村 敬 (法51年) 資生堂

本年4月より特別専門職として、いよいよ定年に向け3年間という期間を非常に優遇されて終えようとしています。日々精進。

二階堂裕行 (法53年) 日本製粉

五月二十四日に大学卒業三十周年記念の同窓会がありました。なつかしい友人達と旧交をあたためることができ、楽しい一時をすごすことができました。成蹊を通して多くのよき友人を得られ

たことを心からうれしく思っています。

新島 健 (政経37年)

今秋、大久保捨蔵先生を師匠に発足した大学茶道部が五十周年を迎え、記念パーティー、学園史料館での特別展示協力、「茶味」特集号発行、現役・OB合同茶会、墓参会など、広く皆様のご協力を得て記念すべき年となりました。

西原 誠 (旧高17年)

身体は一応元気にすごしており、週に一乃至二回のテニスは今も続けております。

一方脳の働きは半分衰え、特に人様の御名前を思ひ出せず、失礼しております。

野口 睦木 (高・平20年)

今年四月に成蹊大学に入学し、経済学部で日々勉学に励み、また柔道部に所属し、週五日の練習にも励んでいます。総会に参加できませんが今後とも宜しくお願い致します。

野澤 昭雄 (高・平1年) 明星大学

図らずも成蹊と縁の深い学校に職を得ました。久しく忘れていた「凝



念」と「心力歌」の精神を思い出ししました。言葉では伝わり難い事です。体

うれし

(政経37年)

保捨蔵先生が五十周年を記念して、学園中へ「特集」墓参会を記念す

(旧高17年)

元気にすのテニス

きは半分ひ出せざる

(高・平20)

成蹊大学に励み日

(高・平1)

図らずも久しく「心力歌」の特

は伝わり

を張って自ら実践し、若者を挑発して
います。

野澤 幸弘 (法57年) バコーポレーシ
ョン

本年度は、成蹊小学校PTA会長を
仰せつかり、新校舎竣工を迎える中、
仕事の合間を利用して役割を楽しんで
おります。また、秋には高校卒業30周
年同窓会、大学法学部創立40周年記念
行事と成蹊にどっぷりの一年です。

野々村美史 (高・平20年)

現在大学の体育会陸上部に所属し、
日々鍛錬しております。あと勉学も。

長谷川 要 (旧高17年) 長谷川技術士事
務所

秋の彼岸と言うのに汗が止まらない。
私は去年の六月から三ヶ月に一回、肝
臓癌の治療で血管を塞いだり、放射線
で焼いたり、普段は中野哲学堂公園で
弓道、老人介護施設で唱歌や体操、技
術士会で後輩技術者応援の暮らしです。

長谷川美弥子 (文46年) (旧姓志賀)



昨春、一人娘が結婚し
遠くに住んでいるので
少々淋しくなりました。

又秋には初めて入院生活も体験して健
康の有り難みを感じています。今年はい
よいよ還暦の年、元気に生活してい
こうと思います。

葉山 彰 (政経35年)

元気で居られる体をくれた両親、祖
先に感謝をしつつ仕事を続けておりま
す。

花村 典之 (高28年)

大学を退職して15年が経過し、現在
は母親(95才)の介護に追われており
ます。老後には大変お金のかかる事
を思い知らされました。皆様お身体御大
切に。

原 一郎 (政経28年)

毎週日曜日、地元のラグビースク
ールのコーチ役として、子供達とふれあ
うことにより、これが健康の保持に役
立っております。

原田 喜倫 (政経37年) 日本エマソン

千代田化工建設成蹊会が年二回行な
われている。我々引退組も招待いただ
き現役社員と楽しい交流の場がかれこ
れ四十五年も続いている。

互に助け合いながら成長していく彼
達の姿を見ると頼もしくも、うれしく
もある。

春山 貞彦 (政経31年) エイチエヌシー
サービス

五月東京国立博物館の「薬師寺展」
に参りました。佐々木ゼミで奈良京都
の寺、庭園巡りを懐しく想い出しまし

た。五十四年前の事なんですね。

玲瓏さ秘めし(日光、月光) 菩薩立
像は明眸の眼差投げて何を見詰める。

菱川 聖一 (政経34年)

昨年4月を期に脱サラして32年やっ
てきた会社を後継者にゆずり漸く自由
の身となりました。

兵藤 濟 (法56年) 日本学生支援機構

転勤で久し振りに東京へ戻って参り
ましたが、移り変わりの激しさに目を
白黒させつつも、どうかかこうにか乗
り越えていこうと考えている今日この
頃です。

平田 順一 (高49年) ひらた小児・矯正
歯科

岡田ジャパンが、南アフリカ二〇一
〇に向かって突き進んでいます。この
成蹊会誌が発行される頃には、その結
果も明確になつているのかもしれない
ん。どちらにせよ、サッカー日本代表
のサポートは、ずっと続けてゆきま
す!!

廣瀬 元夫 (政経28年) 廣瀬ビルディン
グ

20年春、林業振興功労で旭日小綬章
をいただきました。木質系燃料の啓蒙
につとめました但関係の方々のお蔭と
思っております。

藤井 義雄 (工50年) 三菱日立製鉄機械

本年より監査役となり、営業担当時
より時間の余裕が出来たので、ここで
もう一度自己啓発を考えております
が、なんとなく営業前線の状況が気
になる毎日です。成蹊時代の友人と頻繁
に会うことにします。

藤倉信一郎 (高50年) アルファ・イデー
ア・インターナシ
ヨナル

五月に高校C組クラス会が開催され、
お元気な浅野先生と二十人が集まり、
四次会までその盛り上がりは収まりま
せんでした。翌日は妻のA組の仲間と
巨人戦の応援につきあつて騒いで、ま
たまたま高校時代にタイムスリップでし
た。

藤田 千尋 (文44年) フジセン・コー
ポレーション

私事、昨年は横浜市より東京の日本
橋に移転致し、人生の後半生を自然を
求めるといふより、活気と変化のある
都会生活で若がえりを目標にしていま
す。

昨今は同窓会、同期会などで旧友に
会うのが大きな楽しみです。

藤野 豊 (政経38年)

66才で現役を退き早2年、自由な毎
日の生活にもようやく慣れてきた。オ
ープンキャンパスでのテニス、勉学、
楽器練習はとても楽しい。世界50ヶ国

(工50年)

倉役とな
恰が出来
啓発をと
く営業前
成蹊時
します。

(高50年)

し組クラ
先生と二
の盛り上
翌日は妻
につきあ
いにタイ

(文44年)

は横浜市
人生の
より、活
かえりを

云、同期
は楽しみ

経38年)

を退き早
ようやく
ハスでの
しも楽し

訪問、欧米ア4ヶ国での現地勤務生活、毎日いろいろ夢を見る。世界の幸せと繁栄を切に祈っている。

福田 俊俊 (旧高24年)

ご無沙汰いたしております。

母校との縁は遠くなるばかりですが、旧高理乙クラス会(小学校クラス会も)は毎年忘れずに開催し、その都度在校当時の思い出話に花を咲かせています。

御会の御発展をお祈りいたします。

福原 重雄 (旧高18年)

おかげ様で七回目の年男です。顧みれば、戦争と平和に身を委ねてきましたが、なかでも学徒出陣が強烈な印象です。

最近戦死した仲間先輩を憶うこと切なるものあり。

今や後期高令者。明るくたのしく毎日を満喫します。

船木 宏祐 (高36年)

品川神社の祭りのおいらん道中に公式報道員としてプロ写真家の小林誠君に来てもらいました。ついでに成蹊高校の同級生小島君、森田君も来て沿道に席を設け飲み食いを楽しみました。来年の桜祭の写実会の展示を期待して

古河 拓 (政経37年)

存続がきまった府立大型児童館。ビッグバンにて月二三回程子供の相手をしております。その他、パソコンを高令者に教えたり、留学生に日本語を教えたりとまずまず充実しております。

堀尾 駿吉 (政経44年) 農業

私は果樹農業、あんぼ柿・柿酢・ジヤムの加工品製造、そして今年からインターネット通販にも手を出し「六次産業」を実践しています。HP「ほりお農園」をご覧くださいれば喜びです。

本多 正志 (法・平5年) 群馬県

県庁人権男女共同参画課配属3年目です。今年度は法務局と協働しての人權啓発事業を行ったり、庶務経理、予算、文書、議会対応など担当しています。県内の団体の方々との調整等もあり、勉強の毎日です。

間世田稔穂 (政経44年)

メディアブレーン
シン・インターナショナル

現役時代を超えてROCKに磨きが一合間を見つけては薩摩藩&和歌山藩の御先祖探検。この頃成蹊の良さが分かります。美術部のモトカノと結婚すべきだったとも。本部のご尽力に成蹊の輪を、今こそイエイト!

前田 則一 (工41年) 大学宇宙工学
ンソーシウム

第1回生として工学部を卒業して以来35年宇宙用大型ロケットの開発に携わり、リタイア後もNPOを通じて宇宙を目指す大学生を支援しております。宇宙を次世代の産業として育生する為皆様の暖かい御支援をお願い致します。

前原 一雅 (政経38年)

藤沢に住み、倅も成蹊を選ばなかった故、年四回の高校理科コースのクラス会と年一回のOB会以外には成蹊との縁も無くなっていました。ラグビー部がAブロックに昇格したためグラウンドに応援に行っています。頑張れラグビー。

松田 泰昌 (高37年) 科学技術振興機構

科学技術振興機構で、大学等の研究者の特許支援業務に従事し、成蹊中学時代に始めたトランペットを続けており、アマチュアオーケ等での音楽活動、練馬区青少年育成ボランティア活動等々で忙しくも楽しい毎日を通していきます。

松平 直寿 (旧高19年)

一昨年より別荘老人用マンションに入居し、満面縁に囲まれた部屋で満足しております。

松本 晴次 (政経31年)

加令と共に成蹊時代をなつかしく思っています。昨年は胆石の手術を受け、すっかり老人らしくなった様に思えます。何とか頑張つて孫が結婚する迄生きて居たいものです。皆々様の御健康と御多幸を御祈り申し上げます。

三浦 幹男 (旧高24年) ケイエムプラニ
ング

最近写真集「魅惑の世界鉄道記行」(ネコ・パブリッシング)、大図鑑「世界の高速列車」(ダイヤモンド・ビックス社)、「世界のLRT」(JTBパブリッシング)を出しました。興味をお持ちの方はぜひ見てください。旅をしたくなるはずですよ。

三橋信一郎 (高42年) クロノス

HOYAの吸収合併により、ペンタックス常務取締役を退任し、銀行のお世話で平成20年6月より㈱クロノス代表取締役社長に就任致しました。

三原由起子 (文55年) クリエイティ
ン グコミュニケーションズ

大学を卒業してから28年もの時が過ぎつつあります。

光陰矢の如しを実感する日々です。帰国高生生の学びと悩みと共に歩みながらの一本道。日本文学の精神と、研究と教育の基本を、成蹊でこそ擧げ木の下でこそ学び得たと思えます。

(政経31年)

成蹊時代。昨年は老人らしく頑張るための御祈りを御祈り

(旧高24年)

「魅惑のLRT」を出してひ見てください。

(高42年)

吸収合併後、取締役を退任し、銀行のお世話で平成20年6月より㈱クロノス代表取締役社長に就任致しました。

(文55年)

大学を卒業してから28年もの時が過ぎつつあります。光陰矢の如しを実感する日々です。帰国高生生の学びと悩みと共に歩みながらの一本道。日本文学の精神と、研究と教育の基本を、成蹊でこそ擧げ木の下でこそ学び得たと思えます。

学び得た

三矢 正士 (政経38年)

法学部にお世話になった長女が今年
社会人となり、肩の荷を半分降しまし
たが、郷里を離れての一人暮らしは続
くので、健勝を祈る毎日です。

山形成蹊会は、酒井忠久会長を守り
立てながら、親睦を深めています。

箕作 元秋 (旧高22年)

終戦直後の頃、尚志寮という寄宿舎
(旧柔剣道場) があり五十人ばかりが
おりました。この四月八十二才で寮O
B会幹事を引受けました。我ながらお
目出たい人間だと思っています。でも
人生ネアカの方が楽しい。

水本 桂子 (文57年) (旧姓横手)
日本語教師



カウラの元交換留学生
のヘザーが友人と共に来
日したので3人で京都、

奈良、伊勢志摩、熱海へ一週間行きま
した。初めて日本に来た友人の希望で
3人で布団を並べて寝て、温泉に食事
にと修学旅行の様に楽しくパワフルな
旅行でした。

宮本 雅史 (経47年) 三井物産

今年には神輿担ぎに加え、体育会バレ
ーボール部創部六〇周年、経済学部創
設四〇周年等、記念行事の準備に忙し
い日々を送っています。

武藤 公明 (経57年) 東洋インキ製造

中村春二先生の教えを拝読致しまし
た。素晴らしいと思います。「国家も
人なり」で人材育成が最重要課題と考
えます。原点に戻り、日本ならではの
教育、文化の継承をしていく事が、歌
舞伎同様御後が宜しい様でと相成ると
思います。

村瀬 鎮雄 (フレメ29年入) 樺島病院

整形外科医として現役で働いていま
す。股関節疾患を専門として、股関節
手術件数は7000をこえ、日本では
最も多いと思います。72才ですが健康
な限り頑張りたいと思っています。

毛利 任宏 (法55年) マルハニチロ食品

成蹊会理事竹内克之さん(政経16)
が急逝され落胆致しました。亡くなる
一ヶ月前の理事会ではいつも通り活発
なご発言をされていたのに。謹んでお
悔み申し上げます。

森 裕之 (経59年) 講談社

営業で関東東部、北部を巡りつつ、
各地の祭りや伝統に触れつつ過ごして
居ます。

森村 進 (政経40年)

リタイアして数年経過。海外旅行、
百姓、孫の相手と相応に忙しくしてお

ります。もうすぐ2才になる男の孫は
私に似て大の鉄道ファン。毎日私のと
ころへ来ては新幹線だの地下鉄、はて
は信号トンネル等と写真を見て大声を
発しています。

森本 隆 (旧高17年)

成蹊を出てから六十六年、旧高十六
回文科の会も集まるもの僅か六人。増
田、澤田、小林、山手、西原、皆元気
で夫々楽しんでる様子。久我、佐藤
立松は欠席、病氣回復を祈っています。

八木沢尚子 (大学院工・平20年) 共栄社
化学

5月中は新人研修という事で、各部
署をまわって内容を勉強しています。
立ち仕事が多いので、週末は自転車
近所の散策やショッピングで心身のリ
ラックスを心がけています。来週には
配属が決まるので、内心ドキドキの毎
日です。

矢野 岳 (旧高24年)

大学の学部、学科分科の後輩の西崎
氏が法学部長に就任。心からの祝詞呈
上。大学の文科理科系の区分は明治以
降の後進性解消のつまらない方策と理
解していたが、黒川清氏もこの区分に
反対と判った。国際化を一層推進すべ
きだ。

安田 敬一 (政経28年) 安田教育振興会

成蹊会も益々御発展され、相川新会
長とともに総数八万人、本場に素晴ら
しいことです。

千葉支部は、七月五日に総会が開催
され、ゴルフ会佐原旅行会等極めて意
気軒こうです。

母校の御発展を心から祈念します。

安富 有恒 (旧高24年)

去る6月3日、吉祥寺等一ホテルで
旧高22回理甲のクラス会が開かれまし
た。出席者は13名でしたが、一年振り
に旧交を温めてわかれしました。また来
年も元気で会おうと、握手をして、お
互い励ましあいました。皆傘寿の年で
す。

柳井 道夫 (高28年) 日本世論調査協会

約四年間勤めた(財)大学基準協会を三
月末で辞し、四月から成蹊学園百年史
の編纂にかかわらせていただいております。

(財)日本世論調査協会の会長職と、文
部科学省の大学設置審議会の中の委員
は今年度も続けております。

山内 文裕 (経47年) 日本貿易振興機構

ジェットロ名古屋(日本貿易振興機
構)で中小企業の貿易支援をしていま
す。特に駐在経験の長い米国及び中国

(政経28年)

御発展
八万人

七月五

云佐原旅

辰を心か

(旧高24年)

口、吉祥

のクラス

13名でし

くわかれ

おうと、

いました

(高28年)

めた(財)大

四月から

ひらせて

調査協会

子設置審

りており
古屋(日
米の貿易
試験の長

を中心です。

日本に帰り、体育会陸上競技部（成蹊陸友会）の交流が楽しみのこのごろです。OB戦が楽しみで走っています。

山口 双葉（文46年）（旧姓高橋）

来年三月の「柏市民コンサート」でオペラ「カヴァレリア・ルステイカーナ」を上演する事になり、村の女達の一人として参加するべく、松戸市民ですが練習に励んでいます。良い還暦記念になればと思っております。

山口 能弘（工・平12年）山口組

埼玉県秩父市で大地をいじる仕事をしています。

道路、トンネル、橋、上下水道と地域の人々の助けになるように、日々努力しています。

山崎 英也（旧高20年）

まだ80才の世界一に挑戦して走っています。体調も回復し100m15秒前半のタイムを狙います。

なお5月の関東大学選手権大会で成蹊大学田中選手が1000m優勝、200mも4着の快挙を達成しました。

山下 規嘉（政経31年）

この二年間は心臓病やバイパス手術などいたし、いま療養中です。薬の副作用で転倒をしたり散々ですが、ちょ

つぱり元気が回復した様です。

山中 隆（政経40年）店 アフラック代理

前期高令者です。保険料が年金から天引されております。成蹊会総会を毎年楽しみにしている1人です。役員の皆様ご苦勞様です。

山本成一郎（高28年）

先日江東区から中央区へ引越しました。19階から37階になりペランダからの眺望も変わりました。隅田川↓東京湾、屋形船↓汽船、相生橋↓レインボーブリッジ・月島運動場↓浜離宮。一段と広くなった朝夕の眺めを楽しんでいます。

由比 健郎（旧高22年）

満81・5才を超えましたが、まずは元氣です。成蹊会としては桜祭など東京および当地で7〜8件の集いに参加して、縦横に旧交を温めています。

依田 武（政経36年）

グリーOB諸兄へ 月二回、懐かしい愛唱歌やヒット曲を新しい編曲で約三十名のOBが集い、四月の桜祭、十一月の東京男声合唱フェスティバルに出演、十月の箱根寮でのハモる会にて男声合唱の醍醐味を楽しんでいます。

横尾 寿（経56年）イーサーサービス 東急フアシリテ

仕事のかたわら、文筆活動をしています。

横田 一也（政経41年）三井住友海上安心ステーション

長男と長女が就職して経済的には独立していましたが、今年三月に二人共通勤の都合で各々独居となりました。四人家族が夫婦二人だけの暮らしに一変してしまいました。仕事はそのまま同じ業務を続けています。

吉岡 博（法科・平19年）財務省

二年六か月の貴法科大学院での生活は夜間コース、社会人ということでも苦しくもあり楽しい経験でした。

現在、新司法試験に向けて仕事との両立の中、勉強に励んでおります。こちらも苦しいですが夢に向かって全力投球です。

吉河 一郎（旧高23年）新技術情報

都内の大崎に転居してから六年目に入りました。当初予想もしなかった湘南新宿ライン、西京線、臨海線の大崎駅停車、新幹線の品川駅開業により、交通の便が非常に良くなりました。

吉田 英男（法57年）東急コミュニテ

この四月から品質管理の仕事をしております。五月に四九才となりました。

まだまだ、人生色々とありますが、がんばっていかうと考えております。成蹊の同窓の皆様も一緒にがんばっていきましょう。

吉益 裕二（経46年）監査法人トーマツ

監査法人において十数年間ほとんど現場を離れて人事担当をしていましたが、ようやくと本来の公認会計士の職務の監査業務に戻る事になり、金融機関を担当しています。

吉本 弘遵（文52年）龍海寺

卒業して、早や三十年が経ちました。長男は今春から渋谷の大学にお世話になっております。そろそろ、年代的にも定年の話題がですが、生涯修業の世界では複雑な思いと、課せられた重みを感じるこの頃です。合掌

和久井憲子（法57年）弁護士

気がつけば、卒業してはや四半世紀がたちました。パソコン、携帯電話は学生時代には考えられなかった道具です。時代のスピードについて行けないと感じています。年をとったものです。



和田 保（政経38年）

元気に生きています。成蹊会の益々の発展をお祈りします。

人生色々、こうと考
皆様も一
（経46年）

においてし
人事担当
と本来
に戻る
ています

（文52年）
早や三十
ら渋谷
。そろ
でます
。思い
頃です。

（法57年）
気が
はや四
た。パ
には考
ンスピ
ます。

（政経38年）
ていま
々の発

和田 雅明 (経・平1年) ミナミ

昨年10月に義父が脳梗塞で倒れ、半年の入院とリハビリが終わり、現在は私の自宅で療養中です。左の脳に梗塞ができたため、言語障害と右半身不随となり介護は大変ですが、家族と一緒にいることで回復も早まっていると思います。

我妻 大希 (高・平19年)

成蹊高校から成蹊大学に進学し、一年が経過しましたが、二年生になった現在、一年生の時の講義を基盤とした幾つかの発展的な講義、少人数でのゼミ学習等に楽しみながら取り組んでいます。

渡辺 厚夫 (高41年)

四月末に三井物産を退職し国学院の史学科に学士入学しました。在職中は食料部門でアンボン駐在、沿海州やネパール出張等貴重な経験をしましたが、今度は自分の子供より若い学生達と共に歴史学全般や考古学実習をしています。

会員動静(2)投稿ください

会員動静は会員総会(毎年6月開催) 出欠席状に会員動静欄(字数一〇〇字以内)を設けております。貴方の近況を会員の皆様にお知らせ下さい。

ここに謹んで哀悼の意を表します

物故会員

(平成20年5月1日〜平成20年10月31日までにご連絡のあった方を掲載いたしました。ご逝去の年月日が不詳の方については、確認できている年月のみ掲載しております。)

川崎 倉恒男 (旧高19) 平成12年7月18日	田中 英穂 (旧高17) 平成20年2月16日	祖父江利郎 (政経3) 平成20年9月28日
井上 雄二 (高14) 平成16年6月11日	今井 昭 (旧高22) 平成20年2月24日	大久保睦夫 (高1) 平成20年9月29日
前田 礼正 (政経17) 平成17年4月8日	佐々木幸男 (法1) 平成20年3月3日	柴田 和武 (高39) 平成4年
馬場恒三郎 (中11) 平成17年10月24日	谷口 久夫 (旧高23) 平成20年3月20日	佐場 行雄 (政経7) 平成17年11月
五十嵐英郷 (工3) 平成17年11月6日	古西 大也 (小17) 平成20年4月16日	土田 裕章 (経19) 平成20年5月
石井 素子 (文22) 平成19年1月9日	伊藤 丈夫 (政経2) 平成20年4月26日	渡辺 誠介 (旧高19) 平成20年
小林 嗣宜 (工4) 平成19年1月16日	田中あつ子 (高7) 平成20年5月6日	宮村 静子 (女13)
太田 久美 (政経16) 平成19年2月9日	岩橋 正明 (政経16) 平成20年5月7日	三原 一 (旧高5)
清水 旭 (政経15) 平成19年2月14日	貫洞 一夫 (旧高17) 平成20年5月11日	青木 淳 (旧高22)
松本 英一 (法13) 平成19年3月14日	小松 勝彦 (政経17) 平成20年5月31日	山地 一平 (旧高24)
田中 信行 (旧高12) 平成19年4月15日	嘉悦 敬之 (政経14) 平成20年6月1日	井出 耕也 (政経17)
祁答院成昭 (フ1) 平成19年4月20日	和田 重昭 (政経6) 平成20年6月10日	大道龍之助 (政経17)
八森 誠 (政経4) 平成19年6月30日	服部 斐子 (女20) 平成20年6月25日	横山 喬 (工3)
吉場 広 (フ6) 平成19年7月25日	真野 俊明 (経7) 平成20年6月25日	山地 一平 (旧高24)
阿部 恭子 (小16) 平成19年9月30日	沢登 治 (政経14) 平成20年7月20日	井出 耕也 (政経17)
鈴木 秀雄 (旧高19) 平成19年10月1日	岩崎 寛彌 (旧高23) 平成20年7月23日	大道龍之助 (政経17)
小林 道雄 (小16) 平成19年10月10日	池垣 亮一 (旧高23) 平成20年8月1日	横山 喬 (工3)
白子 順一 (政経4) 平成19年11月21日	深田 義 (旧高14) 平成20年8月15日	高橋 勝彦 (工3)
林 嘉彦 (法12) 平成19年11月22日	八田 昌明 (旧高15) 平成20年8月16日	宮地照三郎 (工3)
幡谷 修史 (政経15) 平成19年11月30日	早坂 浩一 (旧高19) 平成20年8月17日	宮地照三郎 (工3)
横尾 栄治 (政経13) 平成19年12月4日	松浦 昌子 (女17) 平成20年8月18日	本間由紀雄 (工3)
有賀 久雄 (政経17) 平成19年12月15日	赤松 明 (旧高11) 平成20年8月31日	鈴木 悟士 (工13)
奥野 幸生 (政経11) 平成20年1月18日	久保 達哉 (経12) 平成20年9月1日	鳥越 隆士 (工13)
猪俣 美子 (女28) 平成20年2月4日	細村 博之 (政経8) 平成20年9月7日	松山 英之 (法9)
松村 勲 (政経17) 平成20年2月9日	磯野 昌蔵 (旧高13) 平成20年9月21日	

●特別委員会活動状況

育英奨学委員会	委員長：立花昌雄（高6）	委員会規程の目的：奨学生の選定等成蹊会定款第5条第2号（経済的に困難な学生に対する学資の給貸与）の事業を行う
	現在の委員数：9名	
	<p>【活動状況】 昭和30年制定の成蹊会育英奨学金規程により同31年に貸与手続きを開始。平成19年までの51年間に728人へ3億2,391万円を無利子貸与。今年度は、1,800万円の事業計画予算で成蹊大学学生、同高校生の継続者17人に計1,008万円、同大学生・院生の新規13人に計792万円を貸与（大学生・院生月額5万円、高校生同4万円）。大学、高校から推薦された候補者を委員会が検討、選定する。19年度貸付金残高9,656万円、うち未納入残高2.8%（前年5%）。16年度卒業生から返還を成蹊会カードにより自動引落とし。貸与・返還事務は成蹊会事務局が担当。</p> <p>【今後の取組み・課題】 一昨年度から大学の協力を得て、大学の奨学金または支援機構の無利子貸与決定から外れた学生に改めて当会への募集案内を出すことで、枠を上回る応募、また高校生の応募もあり18年度新規枠18人に対し29人の適格申込者。19年度は8人に27人、20年度13人に30人の適格申込者あり。課題は、貸与開始年次（現在は2年次）、貸与基準（家計の困窮度の取扱い）、新規枠の年度による凹凸の是正等との指摘あり。長期的には、「10年分会費」の全面実施により会の事業規模が広がることに伴う当事業の規模とあり方、すなわち、学生の奨学金需要、最近見直された成蹊大学奨学金制度との関係とともに、学業成績・功績の顕著な学生、海外留学生、学生のボランティア活動等への支援の検討。これらは「成蹊会活動検討プロジェクト委員会」で審議される事項と思われる。</p>	
	学術・教育助成委員会	委員長：城戸毅（高5）
現在の委員数：9名		
	<p>【活動状況】 助成事業には学術研究・教育振興・国際交流の三部門がある。各学校（大学、中学・高等学校、小学校）の申請内容を審議し予算の配分を行う。本年度の計画（実績）：①学術教育研究助成金（大学50万円、中高120万円、小学校80万円：小学校は平成16年度より40万を80万円に改定）、②学術教育振興助成金（小学校40万円：平成16年度より80万円を40万円に改定）③国際交流助成金（高校90万円）。</p> <p>【今後の取組み・課題】 公益性のある事業として、金利情勢はまだまだ厳しいが、これまでの規模を継続していきたい。学術教育研究助成をした対象教員の研究内容の報告は「成蹊会誌」に掲載しているが、会員からさらに詳しい内容の報告を求める意見が寄せられており、本年度の報告書では、さらに分かり易く詳しい報告を求めるとし、また、報告内容の公開性を高めるために、HPにも掲載することとした。さらに隔年で実施している成蹊会学術賞（昨年度が実施年度：大学教員2名に授賞、副賞各25万円）の水準を維持し、向上を図っていくことも必要と考えている。</p>	
	財務委員会	委員長：丹治誠（高3）
現在の委員数：9名		
	<p>【活動状況】 公益法人の資産の管理・運用については「元本が回収できる可能性が高く、かつなるべく高い運用益が得られる方法で行うこと」が求められている。（公益法人の設立許可及び指導監督基準）成蹊会においても「安全性を最優先とする収益確保」を基本姿勢とし、具体的には国債、有力銀行の定期預金等を中心に運用を行っている。そのため、今回のグローバルな株価暴落等の金融混乱においても、少額保有している株式の株価は簿価を下回ることもなく、前期末に比べ含み益が僅かに下落するにとどまっている。なお、在学生からの入会金・10年分会費預り金については、昨年より国債を定期的買い増し、長期的に安定した収益確保を目指している。</p> <p>【今後の取組み・課題】 長引く超低金利の結果、資産運用収益が激減していることが悩みの種。今回のグローバルな金融混乱のような変動を考慮し、「元本の安全性優先」の基本姿勢を今後も堅持していく。金利が底離れしつつあったが、今回の金融変動により現状水準が当面続く可能性が高くなったとの前提で、少しでも高い収益を上げるべく、普通預金残高を資金繰り上の必要額に止め、定期預金・MMF（安全性の高い投資信託）等利率の有利な商品へのシフトを図っていく。今後も金融情勢を常時注視し、より安全で有利な資産選択に努めて行く。</p>	
	成蹊クラブ委員会	委員長：貴島健治（政経12）
現在の委員数：9名		
	<p>【活動状況】 「成蹊クラブ」は、成蹊会が直接運営する「成蹊倶楽部」における小会合の場の提供と、ロビー機能を通じてニュー・トーキョービル各階の店舗を利用して開催する同窓会開催を支援している。現在、運営の月経費が24万円程度（家賃55,676円、共益費38,808円、光熱水道料11,000円、人件費130,000円、商品仕入原価）。この他にニュー・トーキョーの「成蹊会会員特別割引カード」利用の事務手数料及び吉祥寺第一ホテル内一部店舗の販売協力金を成蹊クラブの収入として計上している。</p> <p>【今後の取組み・課題】 「成蹊倶楽部」は成蹊会会員の親睦の場、或いは小会合の場としての利用に供しており、平成19年度決算においては前年度の欠損額が減少し、利用者が増加しているものの、全体としてまだまだ利用頻度が少ないのが現状。会員の成蹊倶楽部への認識が低いと、さらに成蹊倶楽部ロビーの利用及び成蹊倶楽部を通してのニュー・トーキョー各店の利用方法につき更に広報するとともに、ゼミ、各運動部・文化部、また各部のOB会、企業成蹊会幹事等の方への利用案内を行うことで利用促進・手数料の増加を計る必要があると考えている。成蹊会の収益事業としての位置づけのため、本来的には経費と同額程度の利用をはかる必要があり、課題である。</p>	

委員会

一部店舗の販売協力金を成蹊クラブの収入として計上している。

【今後の取組み・課題】 「成蹊倶楽部」は成蹊会会員の親睦の場、或いは小会合の場としての利用に供しており、平成19年度決算においては前年度の欠損額が減少し、利用者が増加しているものの、全体としてまだまだ利用

広報 委員会 	委員長：高井昌史（法1） 現在の委員数：11名	委員会規程の目的：成蹊会の広報活動及び刊行物の編集を行う
	【活動状況】 1、成蹊会誌 年2回発行。編集方針の大枠は委員会では決め、取材、原稿依頼、編集作業、発行は事務局。100号から小～高在在校生にも併せて配布。2、ホームページ メンテナンスは下部委員会のWeb小委員会（上田委員長）が担当。新機能として同窓会活動支援プログラムの案内を追加。3、会員名簿 平成16年に合冊本の名簿を発行。今後の発行については、個人情報保護の運用実態を見極めながら検討する。4、在校生父母へのアプローチ 学園広報に成蹊会記事を掲載 【今後の取組み・課題】 学園の広報課をはじめ広報関係部署と連携し、会員並びに在校生・父母に対し多角的な広報活動への取り組みが課題。また成蹊会誌に若い会員層からの記事掲載を図っているが、若い会員層を意識した編集についても課題としている。	
スポーツ 振興 委員会 	委員長：西川 廣（政経18） 現在の委員数：11名	委員会規程の目的：成蹊学園のスポーツ団体及び個人に対する支援を行う
	【活動状況】 小・中・高・大（体育会本部）各学校の申請に基づき「スポーツ助成金」を、この他に大学学内陸上及びレガッタへの援助、中・高・大の全国大会出場個人、団体への援助として「スポーツ振興金」を交付している。 （1）スポーツ助成金20年度実績①小学校15万円（長半纏32枚）②中・高30万円（中学水泳大会計測機器、高校サッカー・ミニゴール等）③大学体育会10団体75万円（ヨット12、フィギュアスケート12、ライフセービング8、男子ラクロス8、アーチェリー6、チアリーダー6、弓道5、水泳5、ハンドボール3、体育会本部10）総額120万円。（2）スポーツ振興金20年度実績（9月末日まで）①大学学内陸上・レガッタ15万円②成蹊テニス会5万円③全国大会出場団体・個人等38万円。総額53万円。 【今後の取組み・課題】 スポーツ振興事業を通して、現役の活動を支援し、卒業生と在校生の結びつきを強く出来るように努力しているが、今後は当委員会の総意を結集し、各クラブに山積する諸問題を、それぞれ共有したり、長期的・大局的視野に立って、改善案を提言できるようなOB会長を集めて意見交換する場を設けたい。なお年々、成蹊会からの援助が受けられることの周知が高まったせいもあり、スポーツ振興金が予算を上回る状況にあり、予算の増額を検討する必要がある。	
成蹊桜祭 委員会 	委員長：高橋龍一（法6） 現在の委員数：12名	委員会規程の目的：成蹊会桜祭の事業を行う
	【活動状況】 学園の協賛を得て、毎年4月第一日曜日に実施。9月より来年4月にむけて、月一回の頻度で委員会を開く方向で始動しました。一回目は、31回（今年）桜祭について、各委員からの反省点、問題点 次回の希望等を聞き、それについて解決策、方法などを話し合い、おおまかな方向性を決めました。 【今後の取組み・課題】 ①ごみ問題（ゴミ箱、分別、回収等）②模擬店の位置（入場者の流れ）③ステージ出演者及びステージの運行④桜（ソメイヨシノ）の養生⑤小中高大、OB、OG、近隣へのアプローチ⑥入場者、出店者、出演者等の安全確保	
総務企画 委員会 	委員長：香川成史（経2） 現在の委員数：8名	委員会規程の目的：成蹊会事業活動全般に関わる企画立案を行う
	【設置経緯と目的及び機能】 この委員会は岩崎元会長の発案により、2000年4月にスタートした「チーム21」を母体に、2001年10月に成蹊会会長の諮問委員会として発足した。現在、成蹊会の健全化並びに活性化のために事業活動全般に関わる企画立案機能を持った委員会として活動している。具体的には、成蹊会活動のあらゆる問題点について過去の慣習にとらわれず、合理性を求めて審議し、改善案を成蹊会会長に提言する役割を担っている。 【現在までの主な活動実績（「チーム21」時代を含む）】 ①年会費徴収方法の改善（夫婦会員制度の廃止、2年分一括納付の廃止、在校生からの徴収）②役員・委員の選任ルールの改定及び明文化（再任制限、任期の統一、推薦委員会設置）③会員への新サービスの開発（会合設定支援、成蹊会カードの改善）④事務局の会計・事務処理の改善（管理規程見直し）⑤定期的アンケートの実施⑥年次総会の改善（学園内で土曜に開催）⑦大学卒業時に4学部合同年次会の結成⑧大学4学部合同の卒業10周年、20周年、40周年同窓会の発足 【現在審議中、並びに今後の課題】 ①全卒業生の80%を占める大学4学部同窓会活動の活性化②新卒会員情報受領方法の改善、および会員情報の管理と更新方法の改善③年会費の納入率向上策の検討④会員への新サービス開発⑤公益法人制度改革への対応⑥支部同窓会の在り方策定⑦学園・在校生との連携強化	
推薦 委員会 	委員長：山根祥利（政経15） 現在の委員数：9名	委員会規程の目的：成蹊会会長の指示に従い、成蹊会理事候補者および学園評議員候補者の推薦を行う
	【活動状況】 成蹊学園評議員（2号評議員）候補者を理事会に推薦（H20.1） 【今後の取組み】 成蹊会理事候補者を評議員会に推薦（H21.6）	
活動検討 プロジェクト 委員会 	委員長：高山知也（文8） 現在の委員数：8名	委員会規程の目的：会長の諮問機関として「成蹊会のあるべき姿」について検討し、平成20年12月に会長へ答申する。
	【活動状況】 昨年8月に第1回を開催し、現在までに17回を数える。成蹊会のあるべき姿についてはほぼ出揃っており、中間報告も行った。現在、会長への答申に向けて、詳細を検討中。主な検討事項は、会員親睦の強化、学生および教育研究支援の強化、組織の強化である。	
活動検討 プロジェクト	委員長：高山知也（文8） 現在の委員数：8名	委員会規程の目的：会長の諮問機関として「成蹊会のあるべき姿」について検討し、平成20年12月に会長へ答申する。

成蹊会の母校支援事業にご協力を

本会は成蹊学園創立(1912年)以来の卒業生団体であり、昭和30年社団(公益)法人となり、それ以来下記のとおり、母校の学生・教員への支援を事業として行っております。何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 育英奨学事業 (基金 22,212万円・19年度実施額 1,788万円)

昭和31年以降、育英奨学金制度を設け、成蹊大学生・高校生を対象に毎年奨学金を貸与しております。社会の要請に対応したより良い奨学金制度を目指しながら、この事業の拡充に努めております。現在の貸与額は大学生は年額60万円、高校生は年額48万円です。

平成19年度は高校生1名、大学生26名、大学院生3名に貸与しました。

2. 学術・教育助成事業 (基金 4,945万円・19年度実施額 340万円)

昭和49年以降、学術・教育助成制度を設け、小学・中学・高校・大学の教員に研究助成金を、小学校に教育振興助成金を贈呈しております。また、平成2年度より成蹊会学術賞を設け、学術研究上顕著な業績をおさめた成蹊大学の教員に対して賞状と副賞(賞金)を贈呈しております。

3. 国際交流事業 (基金 2,723万円・19年度実施額 90万円)

昭和50年以降、国際交流基金を設け、成蹊高校と米国・濠州の高校との交換留学生交流諸費に充てております。日本の国際的地位の向上とともに、真に国際的に通用する人物の育成に寄与したいと考えております。

4. スポーツ振興事業 (基金 2,691万円・19年度実施額 178万円)

平成2年度よりスポーツ振興基金を設け、小学・中学・高校の体育施設やクラブ活動の充実と大学体育会所属団体の支援のため助成金を贈呈しております。また、優秀な成績をあげた成蹊学園のスポーツ団体及び個人に後援金を贈呈しております。

5. 文化振興事業 (基金 3,946万円・19年度実施額 593万円)

平成12年度に旧「谷岡基金」の全額を移して文化振興基金を設け、成蹊学園の支援を得ての「成蹊桜祭」の実施及び大学の櫻祭、中・高校の蹊祭、大学の文化団体に後援金を贈呈しております。

○各事業の助成実績

単位：万円

	育英奨学事業	学術・教育助成事業	国際交流事業	スポーツ振興事業	文化振興事業	合計
13年度以前	21,951	6,585	1,485	1,395	932	32,348
14年度	1,860	280	90	156	430	2,816
15年度	1,788	340	90	159	443	2,820
16年度	1,788	290	90	171	458	2,797
17年度	1,440	340	90	*557	486	2,913
18年度	1,776	290	90	171	515	2,842
19年度	1,788	340	90	178	593	2,989
合計	32,391	8,465	2,025	2,787	3,857	49,525

* 高校ラグビー部全国大会出場支援募金額385万円を含む

上記の各事業はご寄付及び基金から生じる運用収益金により賄われております。

これらの事業の健全な発展のため、卒業生・ご父兄並びに関係法人のご高配を切にお願い申し上げます。

- 上記基金のうちいずれかをご選択(各基金1口1万円以上)指定いただければ当該基金に繰入れさせていただきます。
- 巻末の払込用紙(ご寄付金用)をご利用下さい。
- ご寄付金に対する税法上の優遇措置はございませんのでご了承下さい。
- 本件につきましてのおたずねは成蹊会で承ります。

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 0422-51-2244

社団法人 成蹊会

● 上記基金の口座振替をご利用(各基金1口1万円以上)指定いただければ当該基金に繰入れさせていただきます。

● 巻末の払込用紙(ご寄付金用)をご利用下さい。

成蹊会活動報告

〔自平成20年5月1日
至平成20年10月31日〕

一、通常総会

■第53回通常総会(20・6・21)(於・成蹊学園講堂)

- (1) 平成19年度事業報告および決算報告ならびに剰余金処分案承認の件
- (2) 平成20年度事業計画および収支予算案承認の件
- (3) 社団法人成蹊会同窓会規程の一部改正の件

二、会議

■理事会

第174回理事会(20・5・12)

- (1) 第53回成蹊会通常総会付議事項審議の件
- (2) 成蹊会特別会員(教職員)推薦の件

第175回理事会(20・10・28)

- (1) 特別委員会委員(補充)選任の件

■評議委員会

第67回評議委員会(20・5・9)

- (1) 第53回成蹊会通常総会付議事項審議の件
- (2) 社団法人成蹊会同窓会規程の一部改正の件

第68回評議委員会(20・10・28)

■特別委員会等

総務企画委員会(20・5・22/7・3/9・25)

財務委員会(20・6・16)

育英奨学委員会(20・5・27)

成蹊クラブ委員会(20・6・2)

学術・教育助成委員会(20・5・27)

スポーツ振興委員会(20・6・3)

広報委員会(20・8・6/10・31)

桜祭委員会(20・5・14/6・27/9・17)

推薦委員会(20・6・17)

活動検討プロジェクト委員会(20・5・1/5・20/6・10/7・7/8・26/9・5/9・30/10・14)

総会実行委員会(20・6・9)

■同窓会委員会

高等学校(旧制)同窓会委員会(20・10・22)

- 理工学部同窓会委員会(20・6・21/9・30)
- 文学部同窓会委員会(20・6・21)
- 経済学部同窓会委員会(20・7・23/9・18)
- 法学部同窓会委員会(20・7・22/10・21)

■周年行事

- 大学卒業30周年記念同窓会(20・5・24)
- 高校卒業20周年記念同窓会(20・9・20)
- 高校卒業45周年記念同窓会(20・9・28)
- 高校卒業10周年記念同窓会(20・10・11)
- 小学校卒業30周年記念同窓会(20・10・25)

■支部・地域成蹊会

- 福島成蹊会(20・5・17) 遠州成蹊会(20・6・14)
- 愛媛成蹊会(20・6・21) 千葉支部総会(20・7・5)
- 渋谷成蹊会(20・7・11) 茨城成蹊会(20・7・12)
- 岡山成蹊会(20・7・12) 群馬成蹊会(20・7・26)
- 山形成蹊会(20・8・31) 宮城成蹊会(20・9・6)
- 阪奈和成蹊会(20・9・13)
- 中国支部総会(兼広島成蹊会)(20・9・13) 九州支部総会(20・9・27)
- 新潟成蹊会(20・9・21)
- 埼玉成蹊会(20・10・10)

三、その他

- 学術・教育研究助成説明会(20・6・11)
- 育英奨学生説明会(20・6・17)
- スポーツ振興助成金(大学)贈呈式(20・6・23)

四、人事

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| (新任) 成蹊クラブ委員会 | 松本 尚樹(文17) | (H) 20・10・28 |
| 推薦委員会 | 新見 多可(文9) | (H) 20・10・28 |
| (退任) 成蹊クラブ委員会 | 鈴木 豊(政経18) | (H) 20・10・28 |
| 推薦委員会 | 煙谷 慶子(文2) | (H) 20・10・28 |
| 財務委員会 | 小林いずみ(文13) | (H) 20・10・28 |

五、刊行物

成蹊会誌第107号(20・7・1)

平成20年1月1日 発行所 社団法人 成蹊会 発行人 相川 一成
 企画・編集 成蹊会広報委員会・成蹊会事務局 印刷・製本 株式会社 光 邦
 〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766
 メールアドレス seikeikai@jim.seikei.ac.jp ホームページ http://alumnet.ne.jp/

成蹊会の事業活動は あなたの会費に支えられています



成蹊会は同窓会事業とともに、母校の発展に寄与すべくさまざまな公益事業を行っております。公益事業費は昭和31年に育英奨学事業を開始して以来、事業総額約4億9千5百万円の多きに達しております。これもひとえに会員の皆様の多大なご協力の賜物であります。

しかしながら、これら同窓会事業・公益事業の主要財源である年会費のここ数年の納入状況は、会員数は毎年約3%増加していますが、納入者数・納入率とも減少し憂慮すべき状況にあります。

成蹊会の事業活動の維持発展のため、年会費のご納入になにとぞご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

年会費のご納入をご案内する方には、払込人住所・氏名・金額を印刷した払込用紙を同封させていただいております。

年会費のご納入はつぎの3つの方法からご都合に合せお選び下さい。
預金口座振替制度（詳細次頁）を是非ご利用下さい。

年会費ご納入方法	ご納入額	
①預金口座振替	3,000円（1年分）	
②成蹊会DCカード	5,600円（2年分）	成蹊会年会費400円割引。カードご利用額の一部が成蹊会に還元され、事業に活用。お申し込みは成蹊会まで。
③振込用紙	3,000円（1年分）	郵便局に加え、コンビニエンスストアを利用しての振込みが可能です。

住所変更された方は成蹊会へお知らせください

現在会員数約79,600名のうち約18,600名（23%）の方が住所不明となっております。

判型も大きくなり、内容の充実は勿論のこと情報量もますます豊富になりました『成蹊会誌』を一人でも多くの会費納入者にお届けするため、また、周年行事など人的交流の広がり等のお役に立てていただくためには、住所・電話番号・姓名等の情報が正確であることが不可欠です。

お届けいただいている内容に変更があった方は必ず成蹊会にお知らせ下さい。（お知り合いの方が住所不明となっておられましたら、ご本人にご連絡をいただくとともに成蹊会へもご一報下さい。）

成蹊会ホームページに住所・勤務先等変更届けがあります。

<http://alumnet.ne.jp/>

*電話 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766 でも受け付けます。

お届けいただいている内容に変更があった方は必ず成蹊会にお知らせ下さい。（お知り合いの方が住所不明となっておられましたら、ご本人にご連絡をいただくとともに成蹊会へもご一報

年会費の預金口座振替のお願い



成蹊会年会費のご納入につきましては、預金口座振替にてお支払いいただけます。これは年会費を所定日に、ご指定の金融機関の口座から、自動引落しによりお払込みいただくもので、皆様にお手数をお掛けしない便利なものです。是非ご利用下さいますようお願いいたします。

預金口座振替のあらまし

1. お手続きの方法

(1) 本誌終面の「預金口座振替依頼書」の太枠の中に所要事項（会員名、会員番号〈宛名ラベル氏名、下6ケタの番号〉、預金者名、金融機関名、支店名、口座番号）をご記入いただき、金融機関届出印をご捺印の上、成蹊会までご返送ください。（捨印もお願いいたします。）

(2) ご利用いただける金融機関は、つぎのほぼ全金融機関です。

- 全国都市銀行
- 全国労働金庫
- 全国地方銀行
- 全国農業協同組合
- 全国信託銀行
- 全国信用組合（一部提携外の組合有り）
- 全国第二地方銀行
- ゆうちょ銀行
- 全国信用金庫

2. 預金口座振替の方法

(1) 振替方法 お届けの「預金口座振替依頼書」により、ご指定の預金口座から年会費を自動引落としさせていただきます。

(2) 振替金額 3,000円（1年分——平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

(3) 口座振替日	振替依頼書受付日	1回目振替日	2回目以降振替日
	1月16日～6月15日	7月27日	
	6月16日～8月15日	9月27日	毎年7月27日
	8月16日～1月15日	2月27日	

● 予め振替日と振替金額をお知らせしますので、口座振替日の前日までにご指定の口座にご入金くださいますようお願いいたします。

(4) 預金通帳の表示 通帳等には「DF・セイケイカイカイヒ」と印字されます。（「三菱UFJファクター」は当会が委託している三菱東京UFJ銀行グループの収納代行会社です。）

「預金口座振替」或いは「預金口座振替依頼書」記入その他何かご不明な点などございましたら、成蹊会（TEL 0422-51-2244 FAX 0422-54-6766）迄ご連絡下さい。

(4) 預金通帳の表示 通帳等には「DF・セイケイカイカイヒ」と印字されます。（「三菱UFJファクター」は当会が委託している三菱東京UFJ銀行

 **第32回 成蹊桜祭** のご案内 

日時：平成21年4月5日（日）〔雨天決行〕
午前11時～午後4時

会場：成蹊学園構内

主催：社団法人 成蹊会（成蹊桜祭実行委員会）

後援：学校法人 成蹊学園

URL：<http://sakurafest.nok.ac.jp/>

後援：学校法人 成蹊学園